

データヘルス計画（第2期）

年次報告書

[令和5年度]

最終更新日：令和6年12月11日

丸全昭和運輸健康保険組合

STEP 1-1 基本情報

組合コード	46576
組合名称	丸全昭和運輸健康保険組合
形態	単一
業種	運輸業

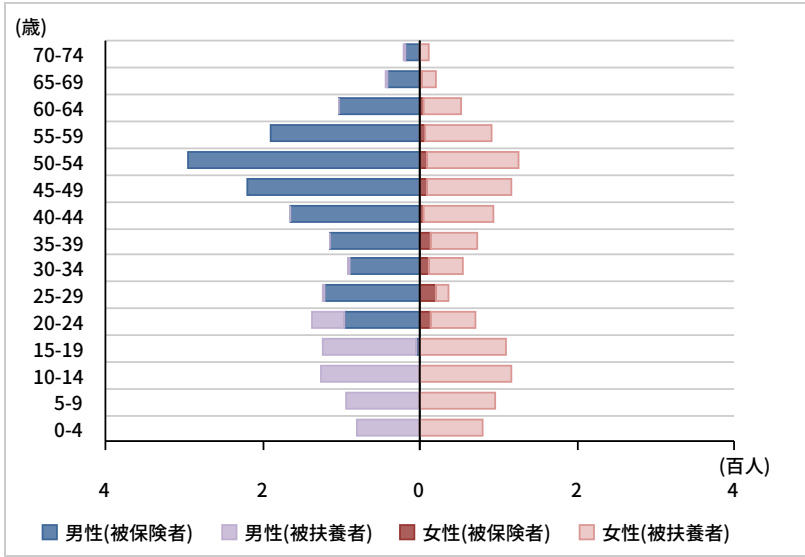
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保険者を除く	1,552名 男性93.8% (平均年齢45.5歳) * 女性6.2% (平均年齢38.2歳) *	1,547名 男性93.4% (平均年齢45.4歳) * 女性6.6% (平均年齢38.3歳) *	1,564名 男性93.2% (平均年齢45.4歳) * 女性6.8% (平均年齢37.7歳) *
特例退職被保険者数	0名	0名	0名
加入者数	3,078名	3,026名	2,940名
適用事業所数	4カ所	4カ所	4カ所
対象となる拠点数	153カ所	152カ所	154カ所
保険料率 *調整を含む	100%o	100%o	100%o

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	0	0	0	0
	保健師等	0	0	0	0	0	0
事業主	産業医	0	3	0	3	0	3
	保健師等	1	0	1	0	1	0

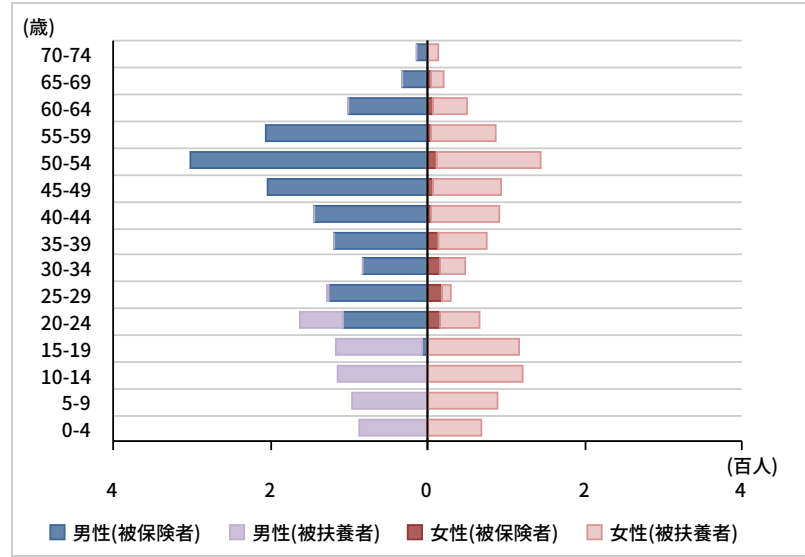
		第2期における基礎数値 (平成28年度の実績値)	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数÷ 特定健康診査対象者数)	全体	1,071 / 1,531 = 70.0 %	
	被保険者	1,035 / 1,035 = 100.0 %	
	被扶養者	199 / 496 = 40.1 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数÷ 特定保健指導対象者数)	全体	103 / 351 = 29.3 %	
	被保険者	103 / 171 = 60.2 %	
	被扶養者	0 / 180 = 0.0 %	

		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	3,252	2,095	3,292	2,128	3,288	2,102
	特定保健指導事業費	5,142	3,313	5,136	3,320	5,136	3,284
	保健指導宣伝費	2,953	1,903	2,955	1,910	3,355	2,145
	疾病予防費	23,038	14,844	21,093	13,635	24,468	15,645
	体育奨励費	2,734	1,762	3,896	2,518	3,857	2,466
	直営保養所費	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0
	小計 …a	37,119	23,917	36,372	23,511	40,104	25,642
	経常支出合計 …b	1,150,895	741,556	1,155,744	747,087	1,227,533	784,868
	a/b×100 (%)	3.23		3.15		3.27	

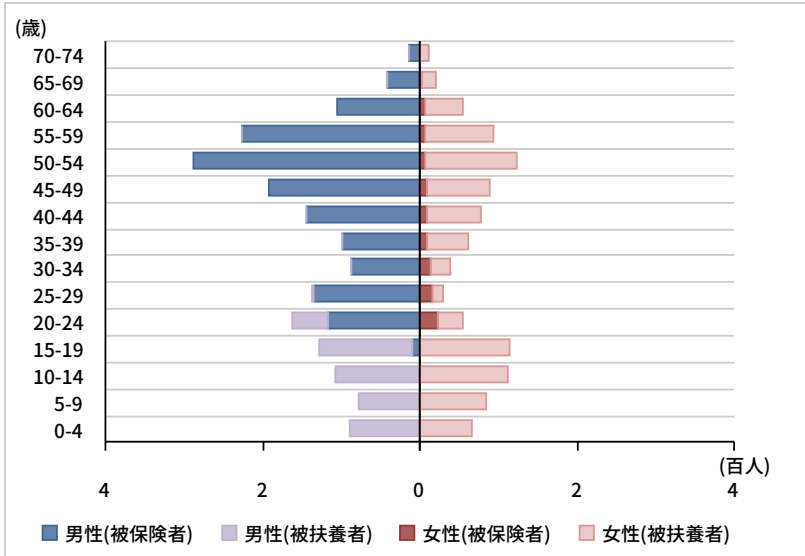
令和3年度



令和4年度



令和5年度



男性（被保険者）

令和3年度				令和4年度				令和5年度			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	0人	5～9	0人	0～4	0人	5～9	0人
10～14	0人	15～19	4人	10～14	0人	15～19	6人	10～14	0人	15～19	10人
20～24	96人	25～29	122人	20～24	107人	25～29	125人	20～24	116人	25～29	134人
30～34	89人	35～39	115人	30～34	83人	35～39	120人	30～34	88人	35～39	99人
40～44	164人	45～49	220人	40～44	145人	45～49	204人	40～44	143人	45～49	193人
50～54	295人	55～59	189人	50～54	302人	55～59	206人	50～54	289人	55～59	226人
60～64	102人	65～69	41人	60～64	101人	65～69	33人	60～64	105人	65～69	41人
70～74	18人			70～74	13人			70～74	14人		

女性（被保険者）

令和3年度				令和4年度				令和5年度			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	0人	5～9	0人	0～4	0人	5～9	0人
10～14	0人	15～19	0人	10～14	0人	15～19	0人	10～14	0人	15～19	0人
20～24	14人	25～29	21人	20～24	17人	25～29	18人	20～24	22人	25～29	17人
30～34	11人	35～39	14人	30～34	16人	35～39	14人	30～34	14人	35～39	10人
40～44	5人	45～49	8人	40～44	4人	45～49	7人	40～44	9人	45～49	10人
50～54	10人	55～59	6人	50～54	11人	55～59	5人	50～54	7人	55～59	7人
60～64	5人	65～69	3人	60～64	6人	65～69	4人	60～64	7人	65～69	3人
70～74	0人			70～74	0人			70～74	0人		

男性（被扶養者）

令和3年度				令和4年度				令和5年度			
0～4	80人	5～9	94人	0～4	87人	5～9	95人	0～4	89人	5～9	78人
10～14	126人	15～19	119人	10～14	115人	15～19	109人	10～14	107人	15～19	118人
20～24	42人	25～29	3人	20～24	55人	25～29	2人	20～24	45人	25～29	3人
30～34	3人	35～39	1人	30～34	1人	35～39	1人	30～34	1人	35～39	1人
40～44	1人	45～49	0人	40～44	1人	45～49	0人	40～44	1人	45～49	0人
50～54	0人	55～59	0人	50～54	0人	55～59	0人	50～54	0人	55～59	1人
60～64	1人	65～69	2人	60～64	1人	65～69	1人	60～64	0人	65～69	1人
70～74	3人			70～74	1人			70～74	1人		

女性（被扶養者）

令和3年度				令和4年度				令和5年度			
0～4	80人	5～9	96人	0～4	68人	5～9	90人	0～4	66人	5～9	84人
10～14	117人	15～19	110人	10～14	121人	15～19	117人	10～14	111人	15～19	114人
20～24	56人	25～29	17人	20～24	50人	25～29	12人	20～24	32人	25～29	14人
30～34	44人	35～39	59人	30～34	31人	35～39	61人	30～34	24人	35～39	52人
40～44	88人	45～49	107人	40～44	86人	45～49	87人	40～44	69人	45～49	80人
50～54	116人	55～59	84人	50～54	132人	55～59	82人	50～54	117人	55～59	87人
60～64	47人	65～69	18人	60～64	44人	65～69	16人	60～64	49人	65～69	19人
70～74	12人			70～74	13人			70～74	12人		

基本情報から見える特徴

1. 小規模な健保組合である
2. 運輸業のため女性の被保険者が非常に少ない
3. 全適用事業所の内、本社のある首都圏に被保険者の約3分の2が所属している
4. 事業所の拠点が全国に点在しており、拠点の規模も小さい
5. 40歳以上に加入者構成が偏っているため、平均年齢も高い
6. 当健保組合には、医療専門職がない

STEP 1-2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴

- ・特定保健指導対象者の人数が、なかなか減少しない。
- ・特定保健指導対象者の、特定保健指導受診率が向上しない。
- ・ホームページを開設したが、閲覧率がなかなか向上しない。
- ・事業主の人事部と連携して、衛生講演会の実施、健康増進推進委員会を開催することで、社員のヘルスリテラシー向上を図っているが、難しい状況となっている。

事業の一覧

職場環境の整備	
予算措置なし	健診データの確実な収集
加入者への意識づけ	
その他	加入者への情報の提供と啓蒙
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健康診査事業（被保険者）
特定健康診査事業	特定健康診査事業（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導事業
保健指導宣伝	重症化予防事業
保健指導宣伝	健診費用補助（被保険者向け）
保健指導宣伝	健診費用補助：配偶者向け：30歳未満）
保健指導宣伝	健診費用補助（被扶養者向け：30歳～39歳）
保健指導宣伝	事業主との健康施策相互支援
保健指導宣伝	健康増進推進委員会
保健指導宣伝	ホームページによる健康増進等の情報提供
保健指導宣伝	医療費通知の送付
保健指導宣伝	育児教育冊子の配付
疾病予防	インフルエンザの予防接種と費用補助
疾病予防	禁煙サポートプログラム
体育奨励	「健保だより」の掲載（社内報）
体育奨励	プール、アイススケート利用
その他	ジェネリック薬品切り替え促進
その他	適正服薬通知
事業主の取組	
1	健康経営優良法人認定の継続
2	健康ポータルを利用した情報提供、健康取組増進とインセンティブ制度
3	禁煙サポートプログラム

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備													
予算措置なし	1	健診データの確実な収集		被保険者 被扶養者	全て	男女	18～74	全員	--				-
加入者への意識づけ													
その他	2	加入者への情報の提供と啓蒙	被保険者、被扶養者に対してヘルスリテラシーの向上を図る。	被保険者 被扶養者	全て	男女	18～74	全員	--				-
個別の事業													
特定健康診査事業	3	特定健康診査事業(被保険者)		被保険者	全て	男女	40歳～75歳未満	基準該当者	--				-
	3	特定健康診査事業(被扶養者)		被扶養者	全て	-	40歳～75歳未満	基準該当者	--				-
特定保健指導事業	4	特定保健指導事業		被保険者 被扶養者	全て	男女	40歳～75歳未満	基準該当者	--				-
保健指導宣伝	4	重症化予防事業		被保険者	全て	-	18歳～75歳未満	基準該当者	--				-
	3	健診費用補助(被保険者向け)		被保険者	全て	男女	18歳～75歳未満	全員	--				-
	3	健診費用補助: 配偶者向け: 30歳未満)		被扶養者	全て	-	18歳～30歳未満	基準該当者	--				-

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費 (千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	3	健診費用補助 (被扶養者向け：30歳～39歳)		被扶養者	全て	男女	30歳～39歳	基準該当者	--				-
	5,6	事業主との健康施策相互支援		被保険者	全て	男女	18歳～75歳未満	全員	--				-
	5	健康増進推進委員会		被保険者	全て	男女	18歳～75歳未満	全員	--				-
	5	ホームページによる健康増進等の情報提供		被保険者 被扶養者	全て	男女	18歳～75歳未満	全員	--				-
	5	医療費通知の送付		被保険者 被扶養者	全て	男女	18歳～75歳未満	全員	--				-
	5	育児教育冊子の配付		被保険者 被扶養者	全て	女性	18歳～75歳未満	基準該当者	--				-
疾病予防	3	インフルエンザの予防接種と費用補助		被保険者 被扶養者	全て	男女	18歳～75歳未満	全員	--				-
	5	禁煙サポートプログラム		被保険者	母体企業	男女	20～75歳未満	基準該当者	--				-

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
体育奨励	5	「健保だより」の掲載(社内報)		被保険者 被扶養者	全て	男女	18歳～75歳未満	全員	--				-
	8	プール、アイススケート利用		被保険者 被扶養者	全て	男女	18歳～75歳未満	全員	--				-
その他	8	ジェネリック薬品切り替え促進		被保険者 被扶養者	全て	男女	18歳～75歳未満	基準該当者	--				-
	8	適正服薬通知		被保険者 被扶養者	全て	男女	18歳～75歳未満	基準該当者	--				-







注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 訪問指導 8. その他


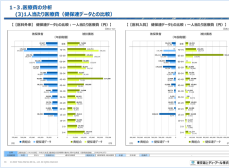





注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%






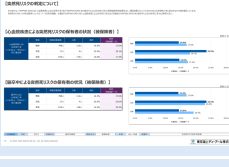

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
健康経営優良法人認定の継続		被保険者 被扶養者	男女	18 ～ 75 歳 未 満				-
健康ポータルを利用した情報提供、健康取組増進とインセンティブ制度		被保険者	男女	18 歳 ～ 75 歳 未 満				-
禁煙サポートプログラム		被保険者	男女	18 歳 ～ 75 歳 未 満				-




STEP 1-3 基本分析

登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		被保険者・加入者の人数構成	加入者構成の分析	-
イ		健康診断受診状況	特定健診分析	-
ウ		問診のリスク状況	特定健診分析	-
エ		メタボリックシンドロームの状況	特定健診分析	-
オ		特定保健指導の実施状況	特定健診分析	-
カ		医療費の状況	医療費・患者数分析	-

キ		医療費分析3要素分解分析	医療費・患者数分析	-
ク		1人当たり医療費（健保連データとの比較）	医療費・患者数分析	-
ケ		疾病大分類別医療費構成割合	医療費・患者数分析	-
コ		資格カテゴリ別の医療費分析	医療費・患者数分析	-
サ		重複受診の状況	医療費・患者数分析	-
シ		頻回受診の状況	医療費・患者数分析	-
ス		ジェネリック医薬品使用状況	後発医薬品分析	-

セ		歯科レセプトの状況	医療費・患者数分析	-
ソ		医療費の経年比較	医療費・患者数分析	-
タ		疾病区別の医療費	医療費・患者数分析	-
チ		糖尿病と治療の状態変化	健康リスク分析	-
ツ		喫煙習慣と医療費	健康リスク分析	-
テ		脳心臓疾患による突然死リスク	健康リスク分析	-
ト		メンタルヘルス疾患について	健康リスク分析	-

ナ		睡眠時無呼吸症候群（SAS）について	健康リスク分析	-
ニ		インフルエンザについて	健康リスク分析	-
ヌ		がんについて	健康リスク分析	-

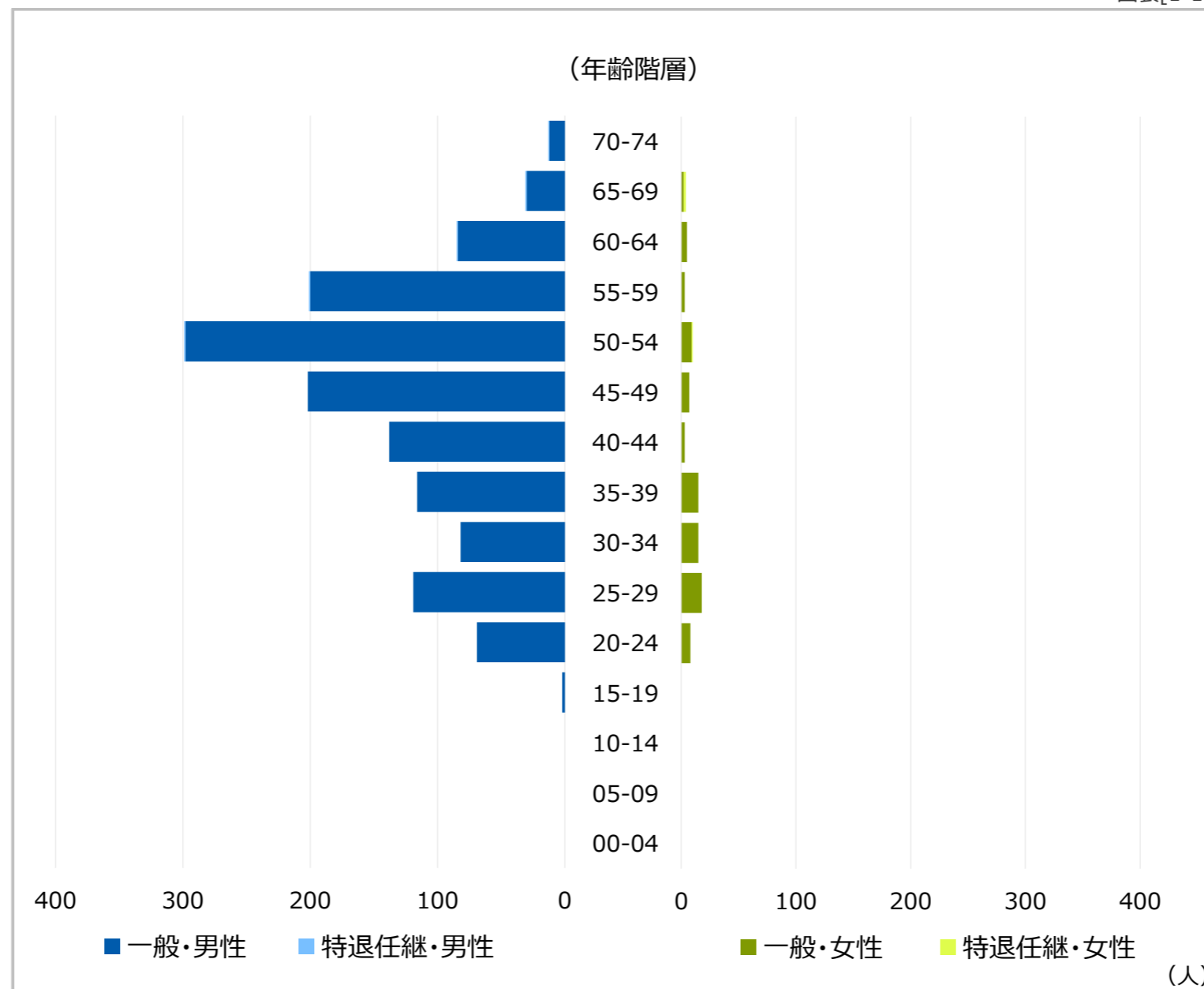
1-1.基本分析

(5) 被保険者・加入者の人数構成（被保険者）

【年齢階層別人員構成（被保険者）※特退任継含む】

図表[1-1]9

年齢階層	資格区分	
	一般	特退任継
70-74	12	1
65-69	30	1
60-64	84	1
55-59	200	1
50-54	298	1
45-49	202	0
40-44	138	0
35-39	116	0
30-34	82	0
25-29	119	0
20-24	69	0
15-19	2	0
10-14	0	0
05-09	0	0
00-04	0	0
合計	1,352	5
40歳以上	964	5
40歳未満	388	0



年齢階層	資格区分	
	一般	特退任継
70-74	0	0
65-69	2	2
60-64	5	0
55-59	3	0
50-54	9	1
45-49	7	0
40-44	3	0
35-39	15	0
30-34	15	0
25-29	18	0
20-24	8	0
15-19	0	0
10-14	0	0
05-09	0	0
00-04	0	0
合計	85	3
40歳以上	29	3
40歳未満	56	0

【性別ごとの人数および平均年齢表】

対象	人数	平均年齢
被保険者全体	1,445	45.5
男性	1,357	45.9
女性	88	39.0

対象	人数	平均年齢
被保険者（一般）	1,437	45.4
男性	1,352	45.9
女性	85	38.0

対象	人数	平均年齢
被保険者（特退任継）	8	61.6
男性	5	61.4
女性	3	62.0

対象範囲	年度	2021	在籍区分	通年在籍者（特退任継含む）	被扶区分	被保険者	年齢	全年齢	他要件	-
------	----	------	------	---------------	------	------	----	-----	-----	---

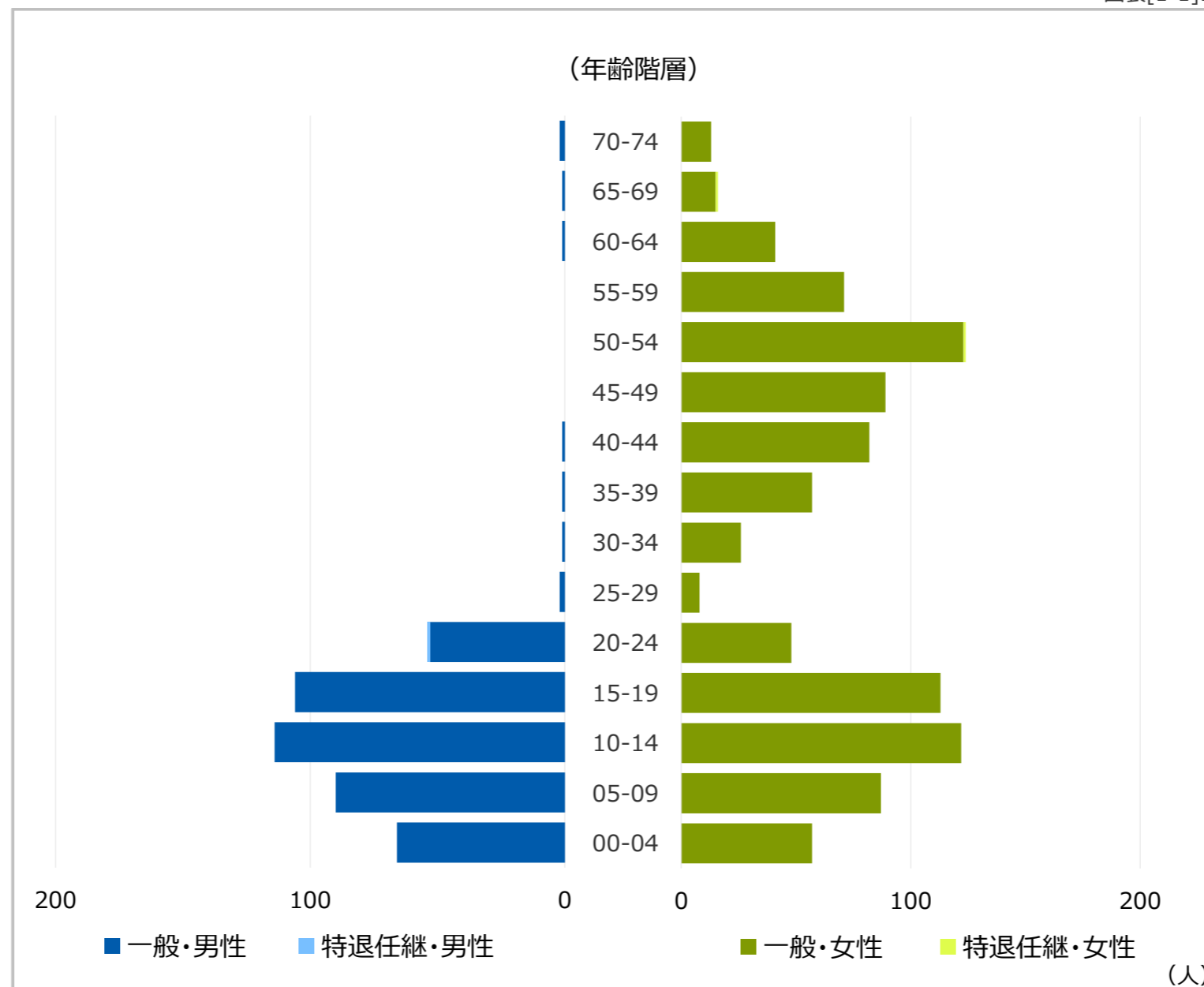
1-1.基本分析

(5) 被扶養者・加入者の人数構成（被扶養者）

【年齢階層別人員構成（被扶養者）※特退任継含む】

図表[1-1]10

年齢階層	資格区分	
	一般	特退任継
70-74	2	0
65-69	1	0
60-64	1	0
55-59	0	0
50-54	0	0
45-49	0	0
40-44	1	0
35-39	1	0
30-34	1	0
25-29	2	0
20-24	53	1
15-19	106	0
10-14	114	0
05-09	90	0
00-04	66	0
合計	438	1
40歳以上	5	0
40歳未満	433	1



年齢階層	資格区分	
	一般	特退任継
70-74	13	0
65-69	15	1
60-64	41	0
55-59	71	0
50-54	123	1
45-49	89	0
40-44	82	0
35-39	57	0
30-34	26	0
25-29	8	0
20-24	48	0
15-19	113	0
10-14	122	0
05-09	87	0
00-04	57	0
合計	952	2
40歳以上	434	2
40歳未満	518	0

【性別ごとの人数および平均年齢表】

対象	人数	平均年齢
被扶養者全体	1,393	26.6
男性	439	13.7
女性	954	32.5

対象	人数	平均年齢
被扶養者（一般）	1,390	26.1
男性	438	12.6
女性	952	32.3

対象	人数	平均年齢
被扶養者（特退任継）	3	46.7
男性	1	20.0
女性	2	60.0

対象範囲	年度	2021	在籍区分	通年在籍者（特退任継含む）	被扶区分	被扶養者	年齢	全年齢	他要件	-
------	----	------	------	---------------	------	------	----	-----	-----	---

1-2. 特定健診・特定保健指導の分析

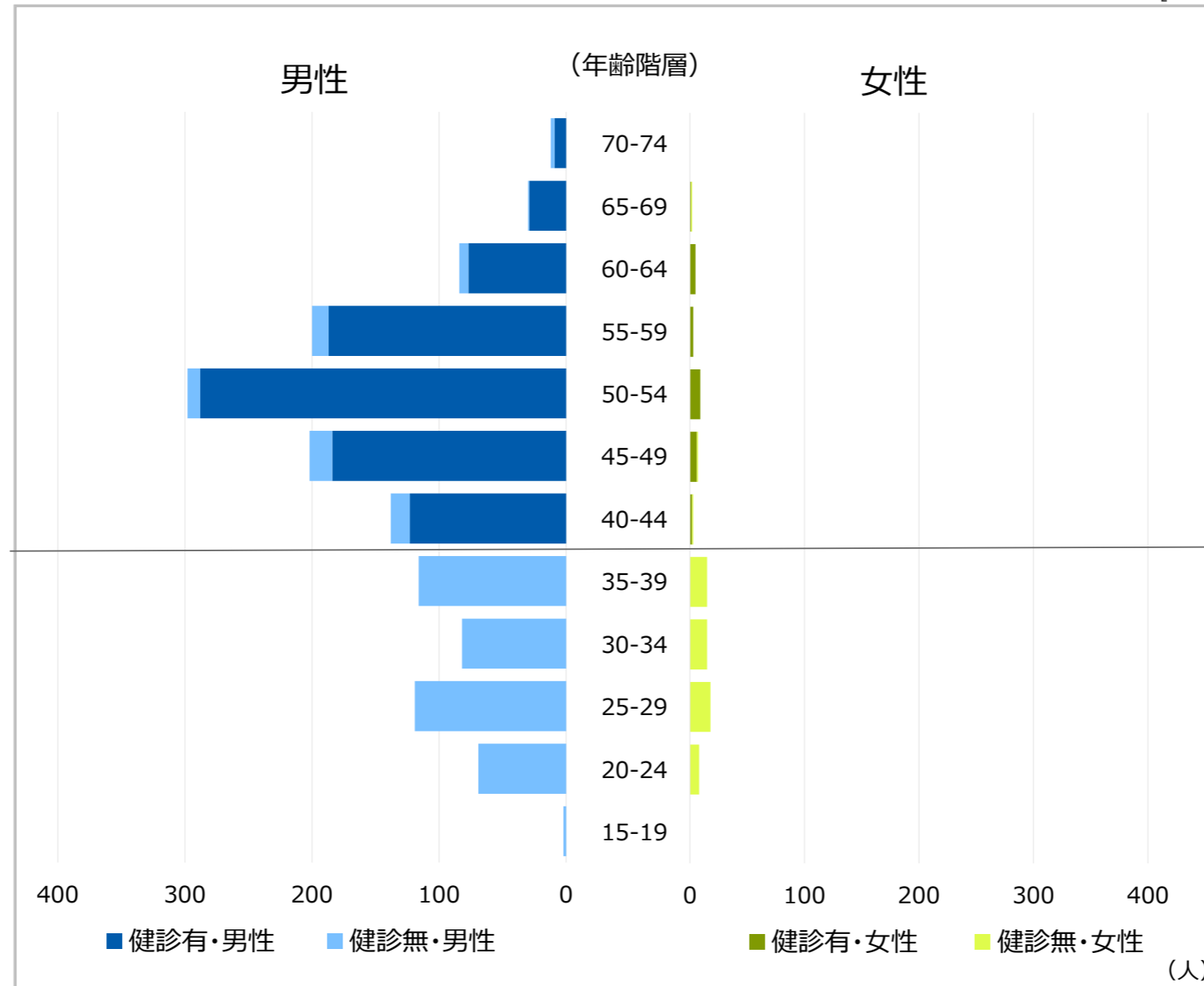
(1) 健診受診状況（被保険者）

【性別年齢階層別健診受診状況〔被保険者〕】

図表[1-2]1

年齢階層	健診受診区分	
	受診	未受診
70-74	9	3
	75.0%	25.0%
65-69	29	1
	96.7%	3.3%
60-64	77	7
	91.7%	8.3%
55-59	187	13
	93.5%	6.5%
50-54	288	10
	96.6%	3.4%
45-49	184	18
	91.1%	13.0%
40-44	123	15
	89.1%	10.9%
35-39	0	116
	0.0%	100.0%
30-34	0	82
	0.0%	100.0%
25-29	0	119
	0.0%	100.0%
20-24	0	69
	0.0%	100.0%
15-19	0	2
	0.0%	100.0%

合計	897	455
	66.3%	33.7%
40歳以上	897	67
	93.0%	7.0%
40歳未満	0	388
	0.0%	100.0%



年齢階層	健診受診区分	
	受診	未受診
70-74	0	0
	-	-
65-69	1	1
	50.0%	50.0%
60-64	5	0
	100.0%	0.0%
55-59	3	0
	100.0%	0.0%
50-54	9	0
	100.0%	0.0%
45-49	6	1
	85.7%	14.3%
40-44	2	1
	66.7%	33.3%
35-39	0	15
	0.0%	100.0%
30-34	0	15
	0.0%	100.0%
25-29	0	18
	0.0%	100.0%
20-24	0	8
	0.0%	100.0%
15-19	0	0
	-	-

合計	26	59
	30.6%	69.4%
40歳以上	26	3
	89.7%	10.3%
40歳未満	0	56
	0.0%	100.0%

1-2. 特定健診・特定保健指導の分析

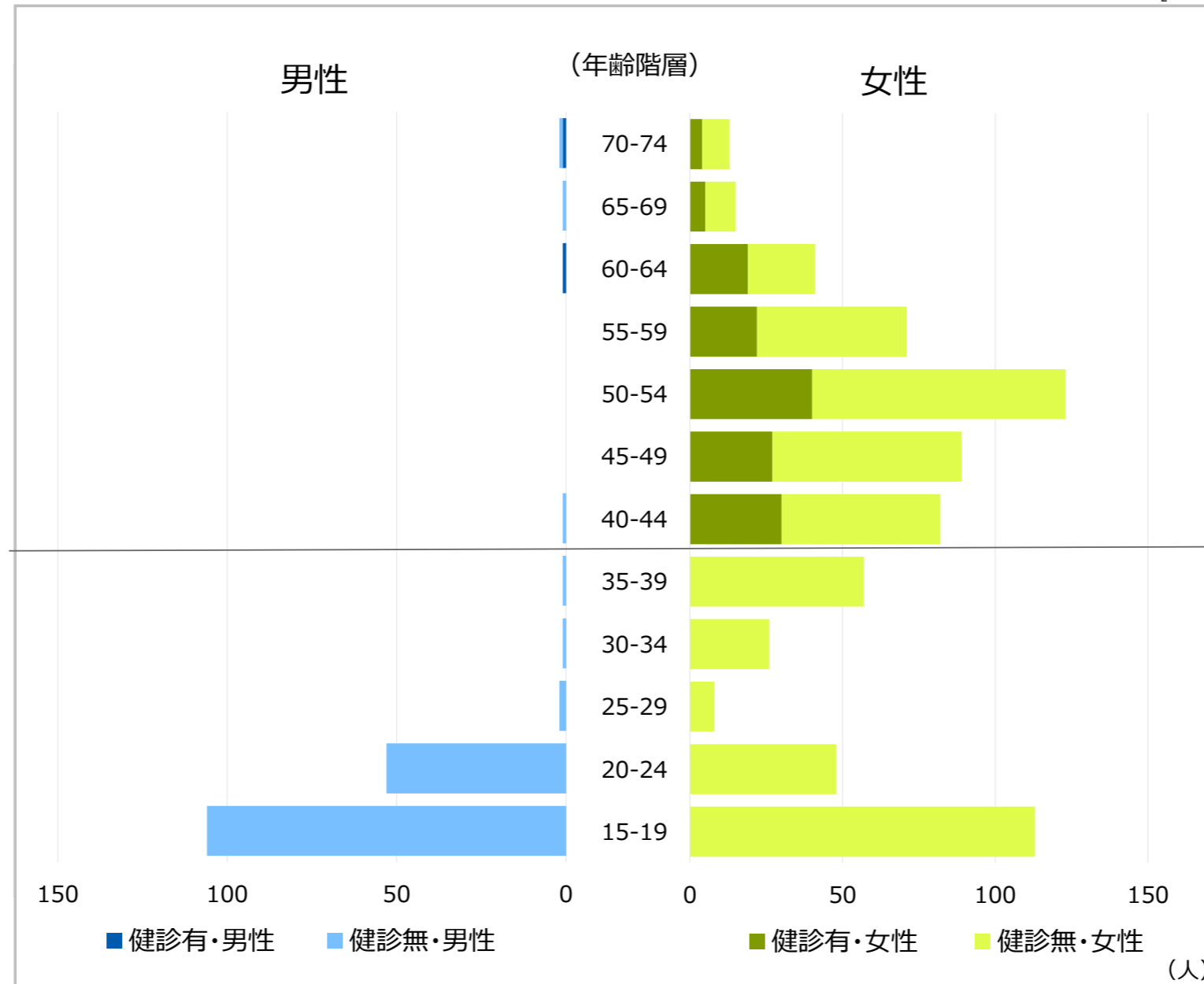
(1) 健診受診状況（被扶養者）

【性別年齢階層別健診受診状況〔被扶養者〕】

図表[1-2]2

年齢階層	健診受診区分	
	受診	未受診
70-74	1	1
	50.0%	50.0%
65-69	0	1
	0.0%	100.0%
60-64	1	0
	100.0%	0.0%
55-59	0	0
	-	-
50-54	0	0
	-	-
45-49	0	0
	-	-
40-44	0	1
	0.0%	100.0%
35-39	0	1
	0.0%	100.0%
30-34	0	1
	0.0%	100.0%
25-29	0	2
	0.0%	100.0%
20-24	0	53
	0.0%	100.0%
15-19	0	106
	0.0%	100.0%

合計	2	166
	1.2%	98.8%
40歳以上	2	3
	40.0%	60.0%
40歳未満	0	163
	0.0%	100.0%



年齢階層	健診受診区分	
	受診	未受診
70-74	4	9
	30.8%	69.2%
65-69	5	10
	33.3%	66.7%
60-64	19	22
	46.3%	53.7%
55-59	22	49
	31.0%	69.0%
50-54	40	83
	32.5%	67.5%
45-49	27	62
	30.3%	69.7%
40-44	30	52
	36.6%	63.4%
35-39	0	57
	0.0%	100.0%
30-34	0	26
	0.0%	100.0%
25-29	0	8
	0.0%	100.0%
20-24	0	48
	0.0%	100.0%
15-19	0	113
	0.0%	100.0%

合計	147	539
	21.4%	78.6%
40歳以上	147	287
	33.9%	66.1%
40歳未満	0	252
	0.0%	100.0%

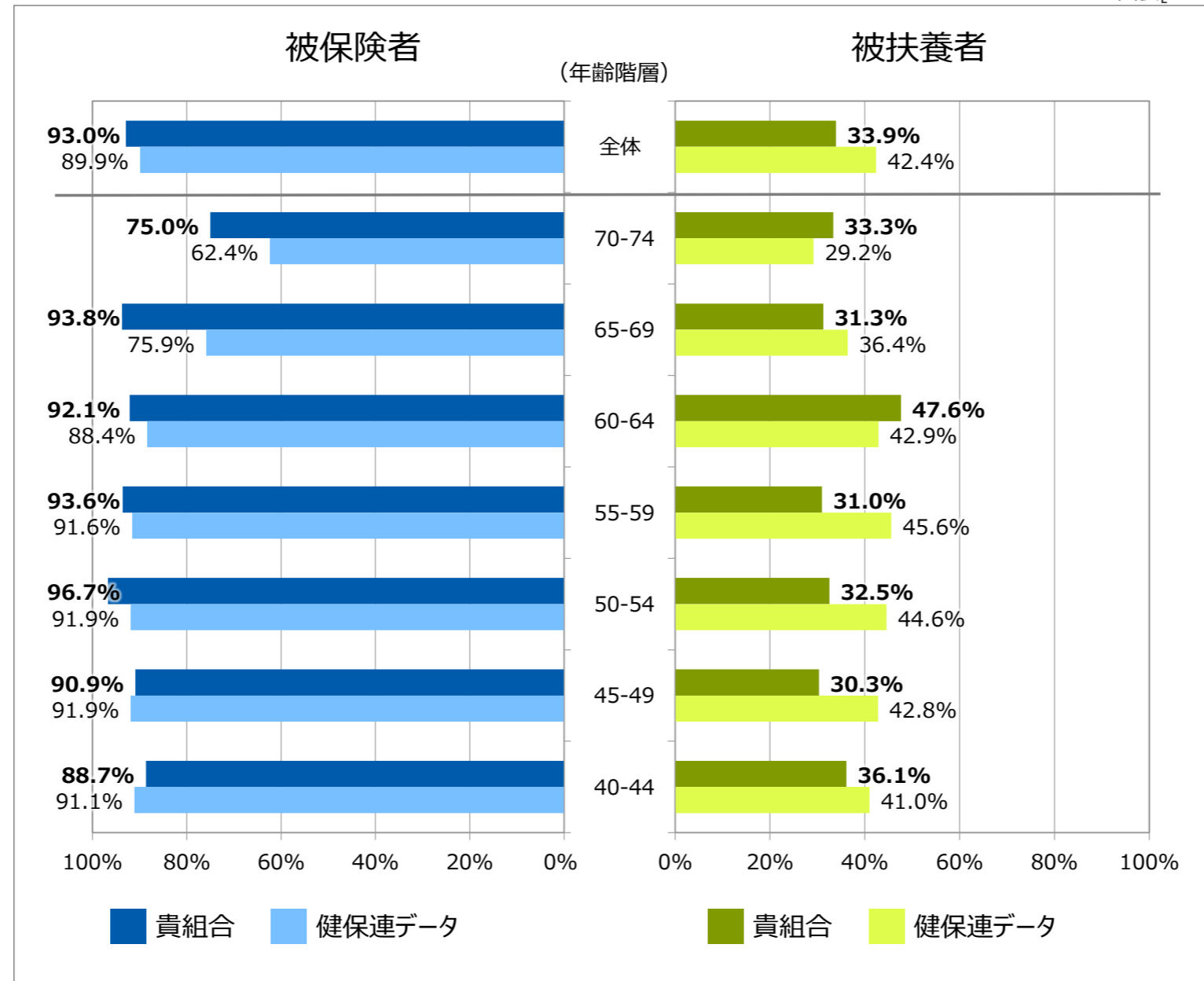
1-2.特定健診・特定保健指導の分析

(1)健診受診状況（特定健診）

【健診受診状況：健保連との比較】

図表[1-2]3

年齢階層	健診受診区分	
	受診	未受診
全体	923 93.0%	70 7.0%
70-74	9 75.0%	3 25.0%
65-69	30 93.8%	2 6.3%
60-64	82 92.1%	7 7.9%
55-59	190 93.6%	13 6.4%
50-54	297 96.7%	10 3.3%
45-49	190 90.9%	19 9.1%
40-44	125 88.7%	16 11.3%



年齢階層	健診受診区分	
	受診	未受診
全体	149 33.9%	290 66.1%
70-74	5 33.3%	10 66.7%
65-69	5 31.3%	11 68.8%
60-64	20 47.6%	22 52.4%
55-59	22 31.0%	49 69.0%
50-54	40 32.5%	83 67.5%
45-49	27 30.3%	62 69.7%
40-44	30 36.1%	53 63.9%

出典	【健保連データとの比較】令和2年度 特定健診・特定保健指導の実施状況（令和4年8月）									
対象範囲	年度	2021	在籍区分	通年在籍者	被扶区分	被保険者・被扶養者	年齢	40～74歳	他要件	-

1-2. 特定健診・特定保健指導の分析

(4) 問診回答の状況 (リスク者率)

【リスク者率 (被保険者/被扶養者別・40歳以上)】

区分	年齢階層	運動リスク						食事リスク						喫煙リスク			飲酒リスク						睡眠リスク											
		30分以上の運動			身体活動			歩行速度			食事時間			就寝前の食事			間食			朝食抜き			たばこを吸っている			飲酒頻度			飲酒量			睡眠で休息		
		回答者	リスク者	割合	回答者	リスク者	割合	回答者	リスク者	割合	回答者	リスク者	割合	回答者	リスク者	割合	回答者	リスク者	割合	回答者	リスク者	割合	回答者	リスク者	割合	回答者	リスク者	割合	回答者	リスク者	割合			
被保険者	70-74	9	5	55.6%	9	4	44.4%	9	5	55.6%	9	0	0.0%	9	2	22.2%	8	1	12.5%	9	0	0.0%	9	2	22.2%	9	2	22.2%	9	3	33.3%	9	1	11.1%
	65-69	29	24	82.8%	29	23	79.3%	29	18	62.1%	29	2	6.9%	29	6	20.7%	28	2	7.1%	29	2	6.9%	30	9	30.0%	29	17	58.6%	29	4	13.8%	29	4	13.8%
	60-64	80	59	73.8%	79	52	65.8%	80	45	56.3%	80	18	22.5%	79	22	27.8%	79	9	11.4%	80	7	8.8%	82	26	31.7%	80	37	46.3%	80	19	23.8%	79	23	29.1%
	55-59	186	150	80.6%	186	137	73.7%	186	110	59.1%	186	63	33.9%	186	93	50.0%	179	28	15.6%	186	39	21.0%	190	82	43.2%	186	81	43.5%	186	41	22.0%	186	62	33.3%
	50-54	294	216	73.5%	293	191	65.2%	294	176	59.9%	294	82	27.9%	294	148	50.3%	289	43	14.9%	293	82	28.0%	297	112	37.7%	294	114	38.8%	293	58	19.8%	294	118	40.1%
	45-49	188	139	73.9%	188	129	68.6%	188	122	64.9%	188	65	34.6%	188	90	47.9%	180	30	16.7%	188	53	28.2%	190	96	50.5%	188	63	33.5%	188	50	26.6%	186	63	33.9%
	40-44	122	103	84.4%	123	85	69.1%	123	73	59.3%	122	45	36.9%	123	70	56.9%	122	18	14.8%	123	44	35.8%	125	57	45.6%	124	49	39.5%	123	26	21.1%	122	42	34.4%
合計		908	696	76.7%	907	621	68.5%	909	549	60.4%	908	275	30.3%	908	431	47.5%	885	131	14.8%	908	227	25.0%	923	384	41.6%	910	363	39.9%	908	201	22.1%	905	313	34.6%
被扶養者	70-74	3	2	66.7%	3	1	33.3%	3	2	66.7%	3	1	33.3%	3	1	33.3%	3	1	33.3%	3	1	33.3%	5	2	40.0%	5	0	0.0%	3	0	0.0%	3	1	33.3%
	65-69	4	3	75.0%	4	2	50.0%	4	2	50.0%	4	2	50.0%	4	0	0.0%	4	0	0.0%	4	0	0.0%	5	1	20.0%	4	0	0.0%	4	0	0.0%	4	1	25.0%
	60-64	19	12	63.2%	19	12	63.2%	19	10	52.6%	19	3	15.8%	19	0	0.0%	19	9	47.4%	18	2	11.1%	20	2	10.0%	19	2	10.5%	19	0	0.0%	19	4	21.1%
	55-59	21	13	61.9%	21	7	33.3%	21	10	47.6%	21	6	28.6%	21	4	19.0%	22	6	27.3%	21	1	4.8%	22	1	4.5%	21	4	19.0%	21	1	4.8%	21	4	19.0%
	50-54	37	28	75.7%	37	16	43.2%	37	22	59.5%	37	9	24.3%	37	1	2.7%	40	13	32.5%	37	1	2.7%	40	3	7.5%	37	2	5.4%	37	0	0.0%	37	15	40.5%
	45-49	27	23	85.2%	27	13	48.1%	26	15	57.7%	27	8	29.6%	27	3	11.1%	27	12	44.4%	27	5	18.5%	27	3	11.1%	27	1	3.7%	27	0	0.0%	27	6	22.2%
	40-44	28	24	85.7%	28	8	28.6%	28	14	50.0%	28	5	17.9%	28	5	17.9%	29	9	31.0%	28	2	7.1%	30	2	6.7%	29	5	17.2%	28	3	10.7%	28	4	14.3%
合計		139	105	75.5%	139	59	42.4%	138	75	54.3%	139	34	24.5%	139	14	10.1%	144	50	34.7%	138	12	8.7%	149	14	9.4%	142	14	9.9%	139	4	2.9%	139	35	25.2%
総計		1,047	801	76.5%	1,046	680	65.0%	1,047	624	59.6%	1,047	309	29.5%	1,047	445	42.5%	1,029	181	17.6%	1,046	239	22.8%	1,072	398	37.1%	1,052	377	35.8%	1,047	205	19.6%	1,044	348	33.3%

【リスク者率 (男性/女性別・40歳以上)】

性別	年齢階層	運動リスク						食事リスク						喫煙リスク			飲酒リスク						睡眠リスク											
		30分以上の運動			身体活動			歩行速度			食事時間			就寝前の食事			間食			朝食抜き			たばこを吸っている			飲酒頻度			飲酒量			睡眠で休息		
		回答者	リスク者	割合	回答者	リスク者	割合	回答者	リスク者	割合	回答者	リスク者	割合	回答者	リスク者	割合	回答者	リスク者	割合	回答者	リスク者	割合	回答者	リスク者	割合	回答者	リスク者	割合	回答者	リスク者	割合			
男性	70-74	9	5	55.6%	9	4	44.4%	9	5	55.6%	9	0	0.0%	9	2	22.2%	8	1	12.5%	9	0	0.0%	10	3	30.0%	10	2	20.0%	10	3	30.0%	9	1	11.1%
	65-69	28	23	82.1%	28	22	78.6%	28	17	60.7%	28	2	7.1%	28	6	21.4%	27	2	7.4%	28	2	7.1%	29	9	31.0%	28	17	60.7%	28	4	14.3%	28	4	14.3%
	60-64	76	55	72.4%	75	50	66.7%	76	44	57.9%	76	18	23.7%	75	21	28.0%	75	9	12.0%	76	7	9.2%	78	26	33.3%	76	36	47.4%	76	18	23.7%	75	23	30.7%
	55-59	183	148	80.9%	183	136	74.3%	183	108	59.0%	183	63	34.4%	183	92	50.3%	176	28	15.9%	183	39	21.3%	187	82	43.9%	183	81	44.3%	183	41	22.4%	183	61	33.3%
	50-54	285	208	73.0%	284	183	64.4%	285	173	60.7%	285	80	28.1%	285	144	50.5%	280	39	13.9%	284	79	27.8%	288	112	38.9%	285	113	39.6%	284	58	20.4%	285	110	38.6%
	45-49	182	135	74.2%	182	124	68.1%	182	118	64.8%	182	64	35.2%	182	88	48.4%	174	27	15.5%	182	50	27.5%	184	95	51.6%	182	62	34.1%	182	49	26.9%	180	60	33.3%
	40-44	120	101	84.2%	121	83	68.6%	121	72	59.5%	120	45	37.5%	121	70	57.9%	120	17	14.2%	121	44	36.4%	123	57	46.3%	122	48	39.3%	121	25	20.7%	120	41	34.2%
合計		883	675	76.4%	882	602	68.3%	884	537	60.7%	883	272	30.8%	883	423	47.9%	860	123	14.3%	883	221	25.0%	899	384	42.7%	886	359	40.5%	884	198	22.4%	880	300	34.1%
女性	70-74	3	2	66.7%	3	1	33.3%	3	2	66.7%	3	1	33.3%	3	1	33.3%	3	1	33.3%	3	1	33.3%	4	1	25.0%	4	0	0.0%	2	0	0.0%	3	1	33.3%
	65-69	5	4	80.0%	5	3	60.0%	5	3	60.0%	5	2	40.0%	5	0	0.0%	5	0	0.0%	5	0	0.0%	6	1	16.7%	5	0	0.0%	5	0	0.0%	5	1	20.0%
	60-64	23	16	69.6%	23	14	60.9%	23	11	47.8%	23	3	13.0%	23	1	4.3%	23	9	39.1%	22	2	9.1%	24	2	8.3%	23	3	13.0%	23	1	4.3%	23	4	17.4%
	55-59	24	15	62.5%	24	8	33.3%	24	12	50.0%	24	6	25.0%	24	5	20.8%	25	6	24.0%	24	1	4.2%	25	1	4.0%	24	4	16.7%	24	1	4.2%	24	5	20.8%
	50-54	46	36	78.3%	46	24	52.2%	46	25	54.3%	46	11	23.9%	46	5	10.9%	49	17	34.7%	46	4	8.7%	49	3	6.1%	46	3	6.5%	46	0	0.0%	46	23	50.0%
	45-49	33	27	81.8%	33	18	54.5%	32	19	59.4%	33	9	27.3%	33	5	15.2%	33	15	45.5%	33	8	24.2%	33	4	12.1%	33	2	6.1%	33	1	3.0%	33	9	27.3%
	40-44	30	26	86.7%	30	10	33.3%	30	15	50.0%	30	5	16.7%	30	5	16.7%	31	10	32.3%	30	2	6.7%	32	2	6.3%	31	6	19.4%	30	4	13.3%	30	5	16.7%
合計		164	126	76.8%	164	78	47.6%	163	87	53.4%	164	37	22.6%	164	22	13.4%	169	58	34.3%	163	18	11.0%	173	14	8.1%	166	18	10.8%	163	7	4.3%	164	48	29.3%
総計		1,047	801	76.5%	1,046	680	65.0%	1,047	624	59.6%	1,047	309	29.5%	1,047	445	42.5%	1,029	181	17.6%	1,046	239	22.8%	1,072	398	37.1%	1,052	377	35.8%	1,047	205	19.6%	1,044	348	33.3%

本分析では、問診の回答について、リスクの有無を判定し集計しています。リスク判定については 定義04「問診リスク判定基準」をご参照ください。

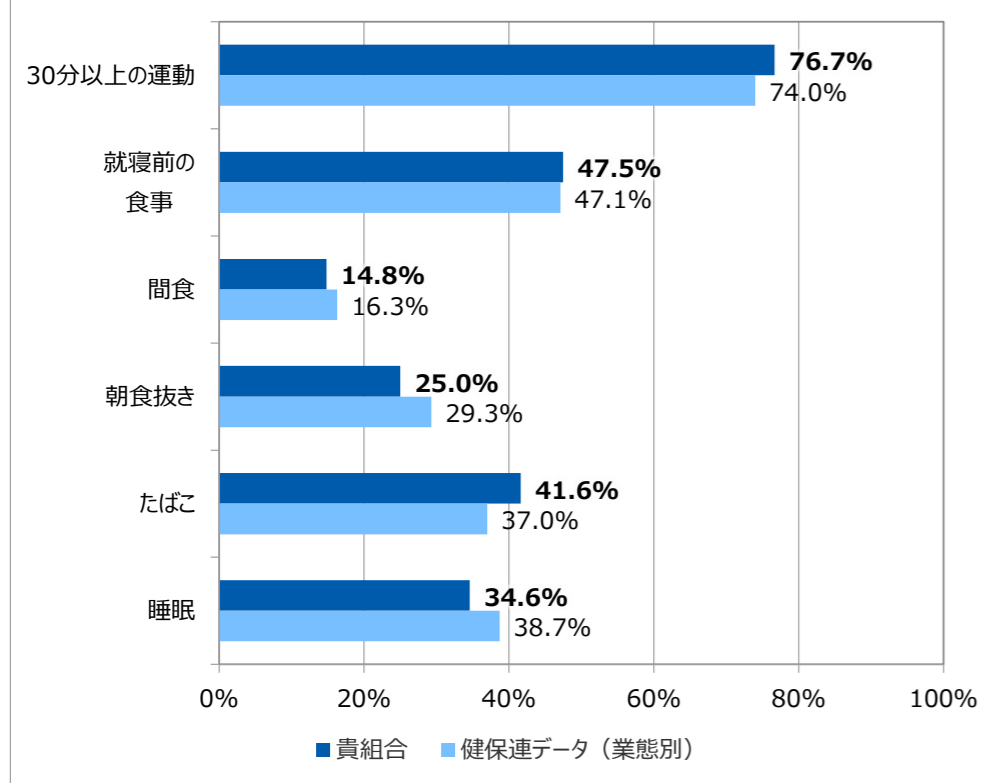
対象範囲	年度	2021	在籍区分	通年在籍者	被扶区分	被保険者・被扶養者	年齢	40～74歳	他要件	健診受診者・該当問診データ保持者
------	----	------	------	-------	------	-----------	----	--------	-----	------------------

1-2. 特定健診・特定保健指導の分析

(4) 問診回答の状況（健保連データとの比較）

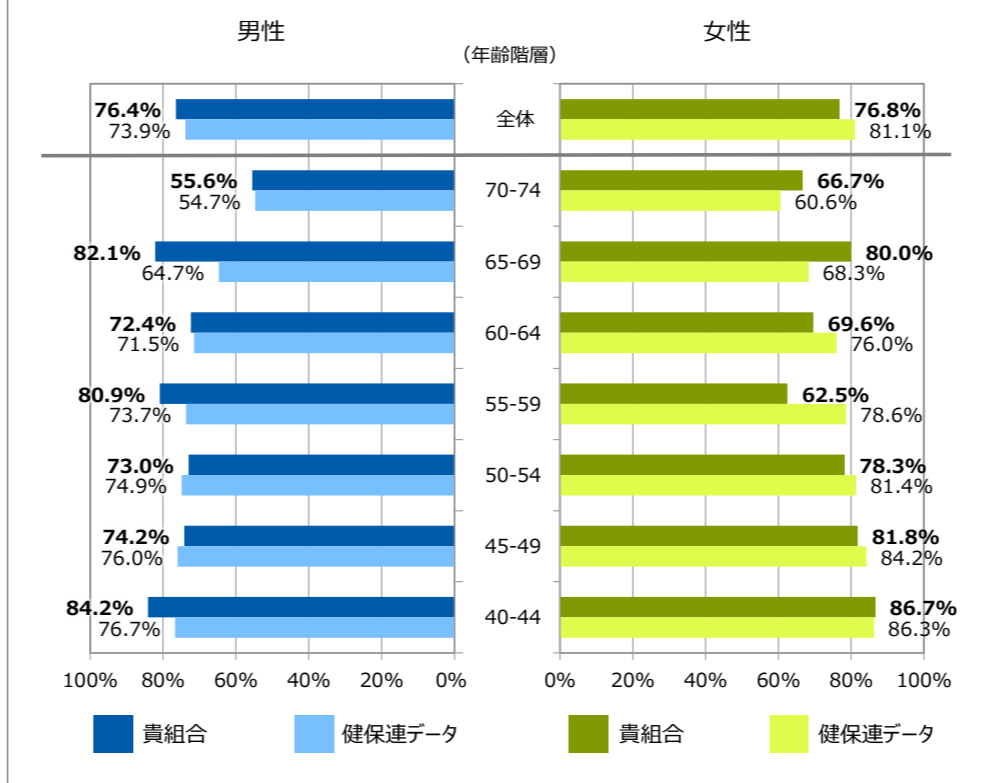
【同業他社（運輸業）との比較（被保険者）】

図表[1-2]13



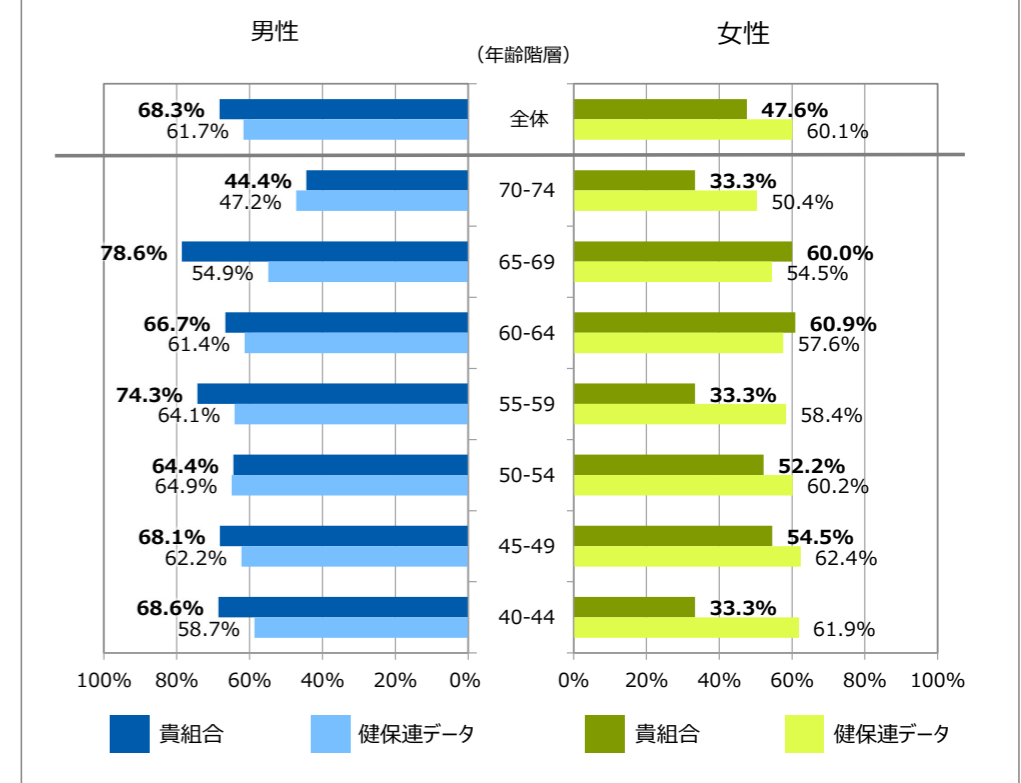
【健保連データとの比較：30分以上の運動（いいえ）】

図表[1-2]14



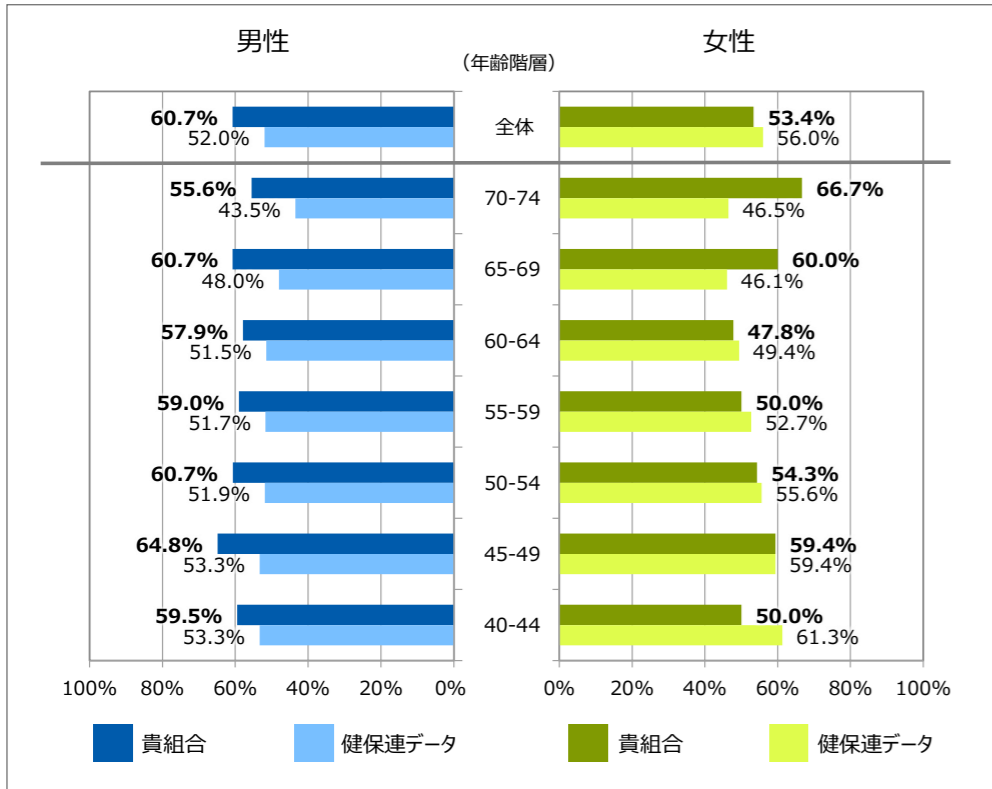
【健保連データとの比較：歩行または同等の運動（いいえ）】

図表[1-2]15



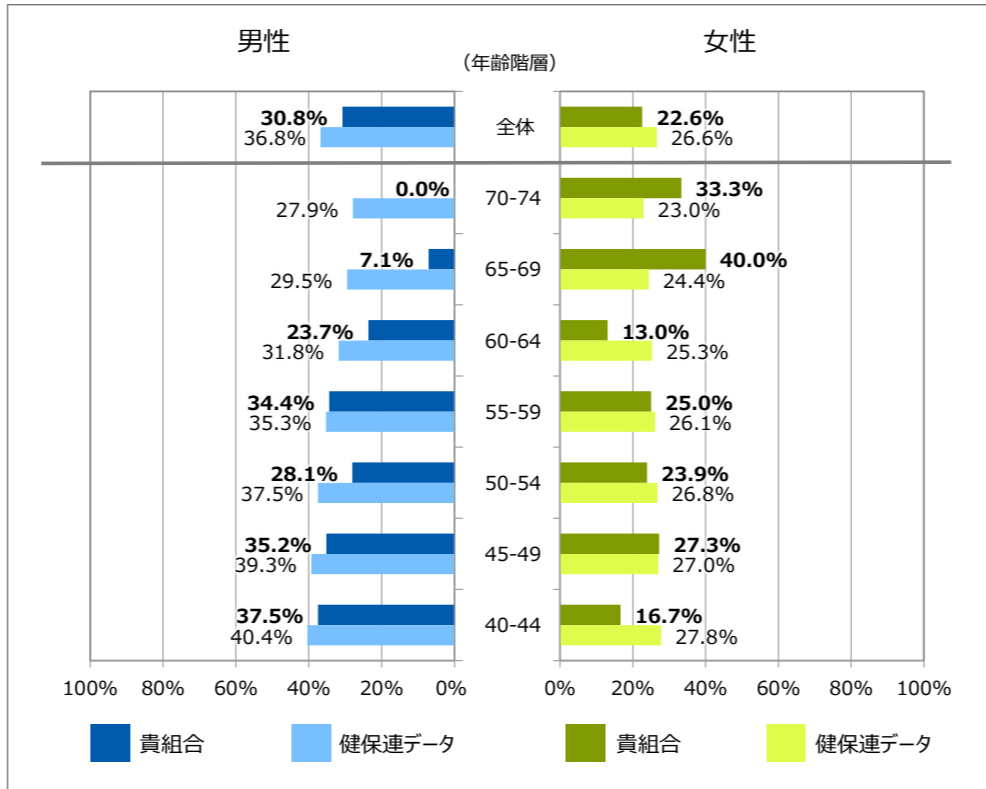
【健保連データとの比較：歩く速度の速さ（遅い）】

図表[1-2]16



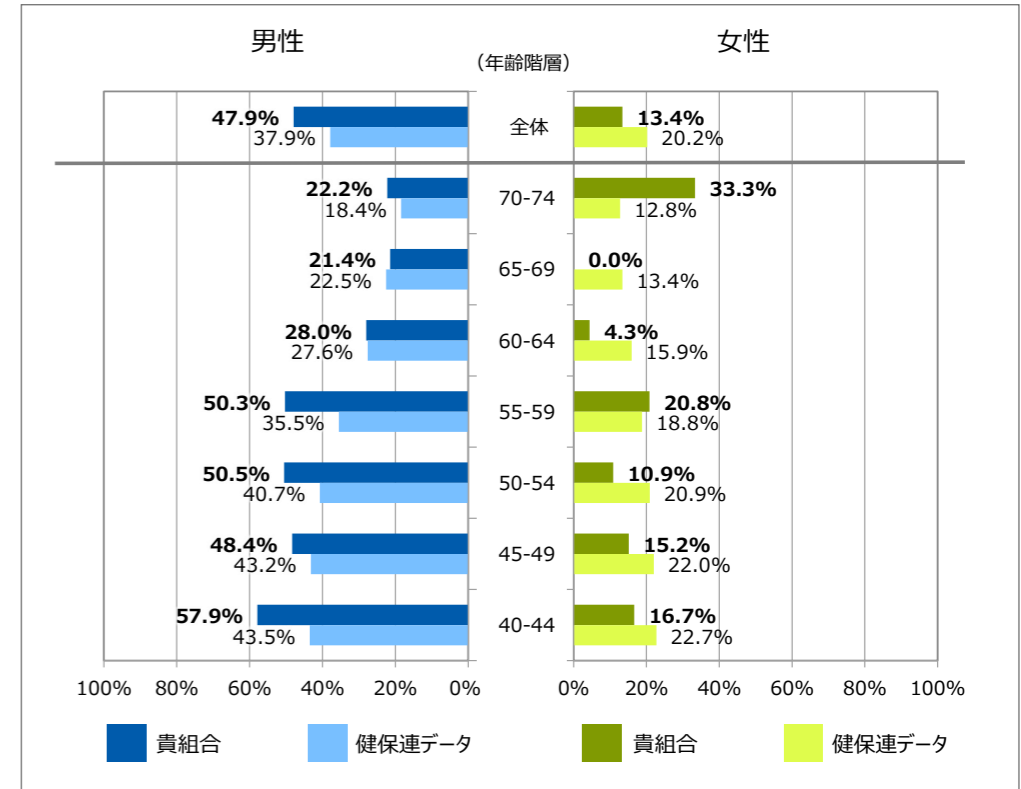
【健保連データとの比較：食べる速度が速い（速い）】

図表[1-2]17



【健保連データとの比較：就寝前の食事（はい）】

図表[1-2]18



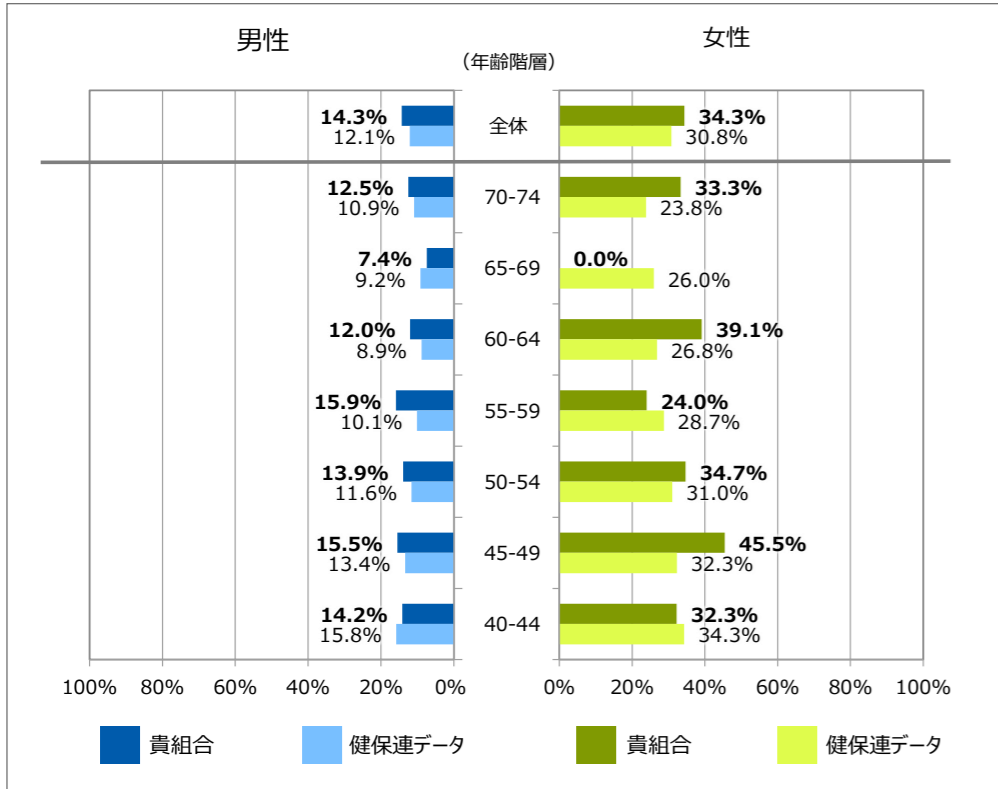
出典 【健保連データとの比較】 令和2年度 特定健診の「問診回答」に関する調査（令和4年8月） 【同業他社との比較】 令和元年度 業態別にみた被保険者の健康状態に関する調査（令和4年1月）※運輸業
 対象範囲 年度 2021 在籍区分 通年在籍者 被扶区分 被保険者・被扶養者 年齢 40～74歳 他要件 該当問診データ保持者

1-2. 特定健診・特定保健指導の分析

(4) 問診回答の状況（健保連データとの比較）

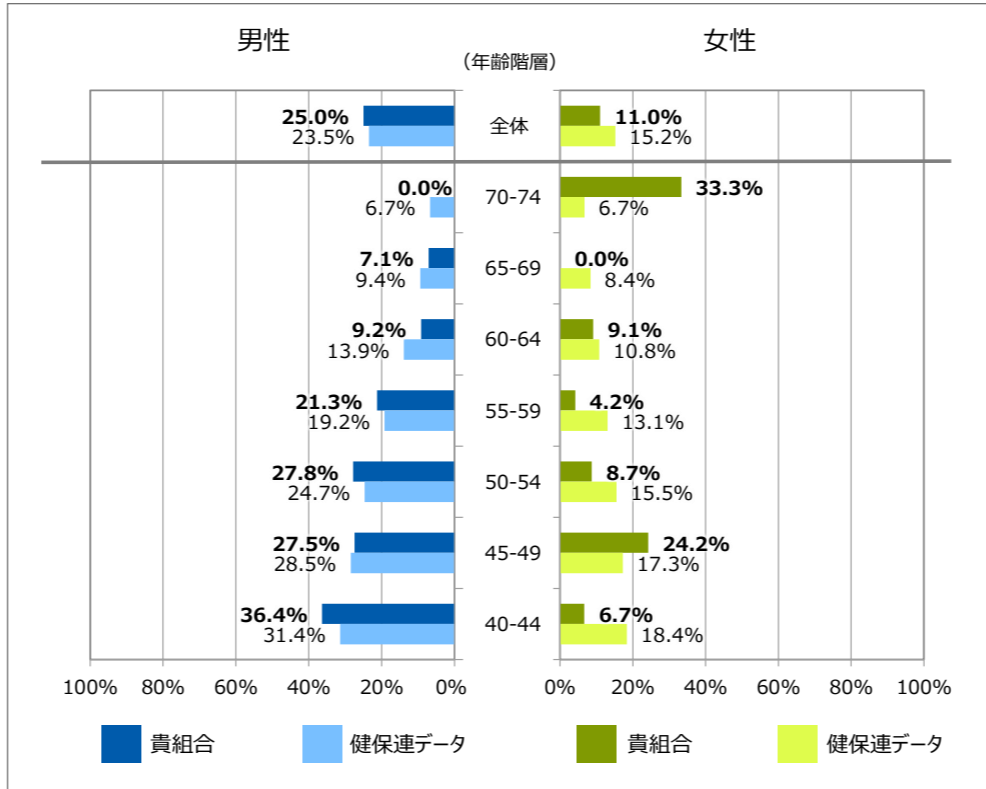
【健保連データとの比較：間食（毎日）】

図表[1-2]19



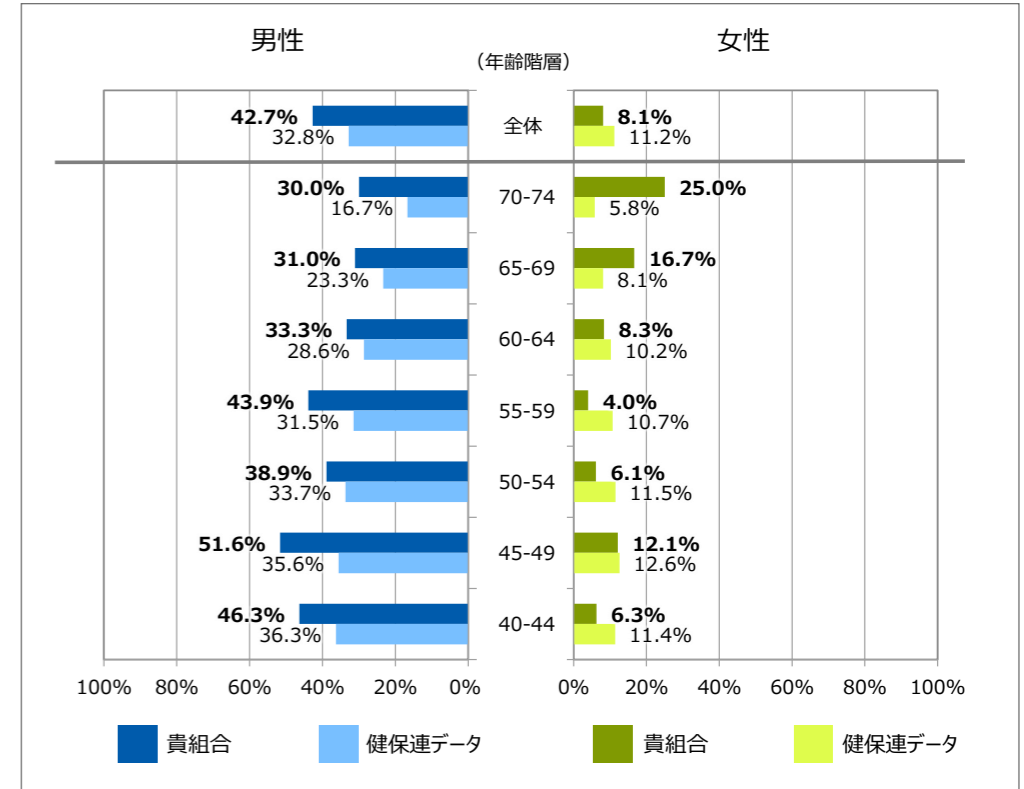
【健保連データとの比較：朝食を抜く（はい）】

図表[1-2]20



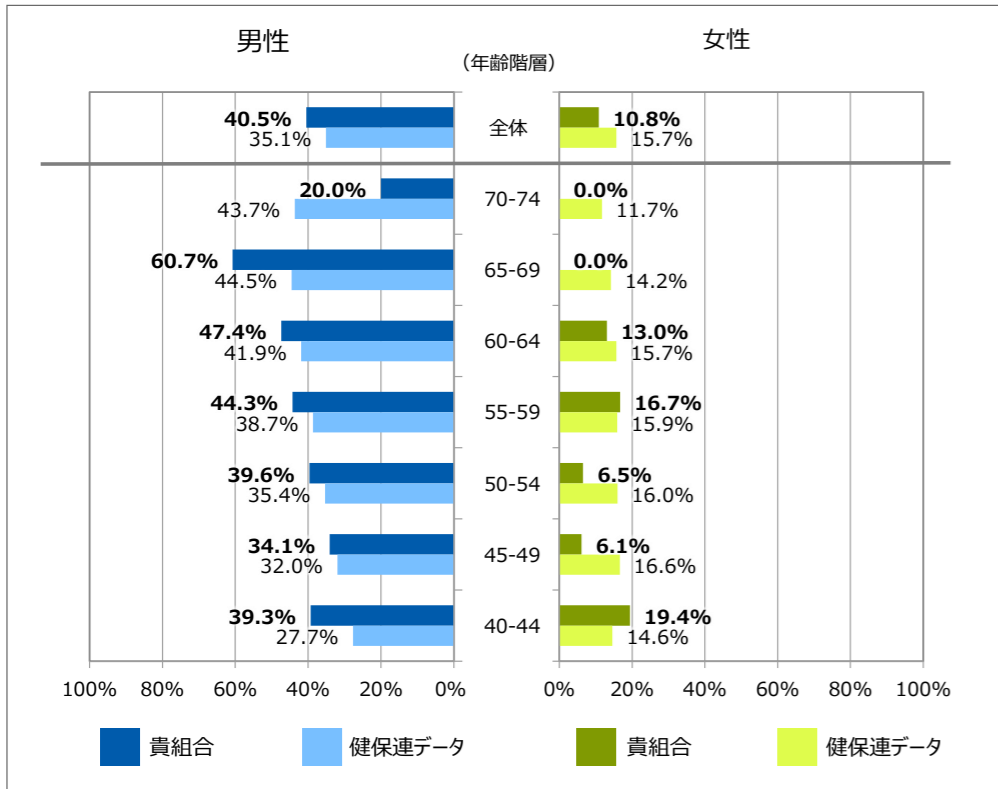
【健保連データとの比較：現在煙草をすっている（はい）】

図表[1-2]21



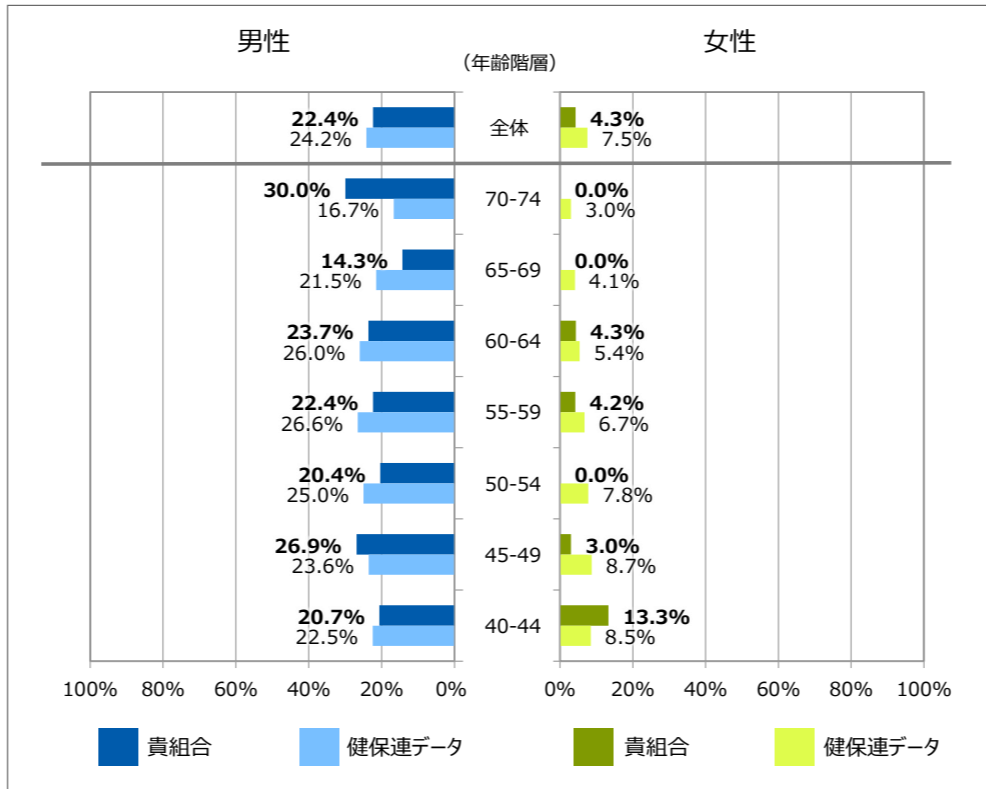
【健保連データとの比較：お酒を飲む頻度（毎日）】

図表[1-2]22



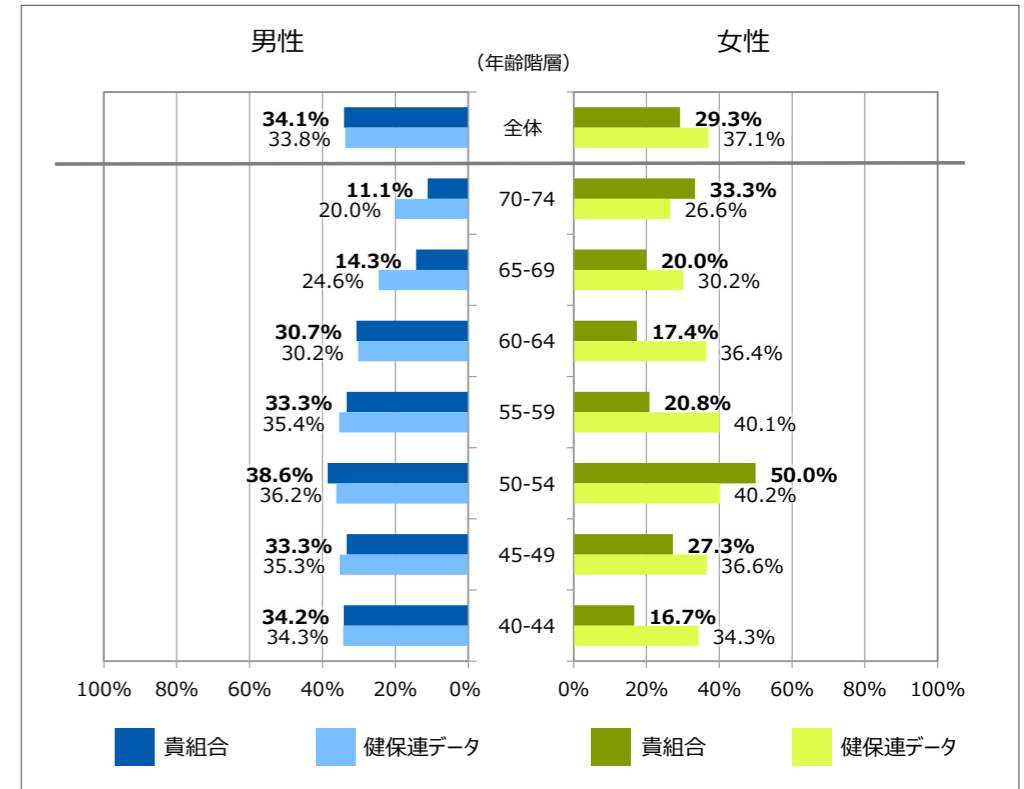
【健保連データとの比較：1日の飲酒量（2合以上）】

図表[1-2]23



【健保連データとの比較：睡眠で休養が取れている（いいえ）】

図表[1-2]24



出典 【健保連データとの比較】 令和2年度 特定健診の「問診回答」に関する調査（令和4年8月）
 対象範囲 年度 2021 在籍区分 通年在籍者 被扶区分 被保険者・被扶養者 年齢 40～74歳 他要件 該当問診データ保持者

1-2. 特定健診・特定保健指導の分析

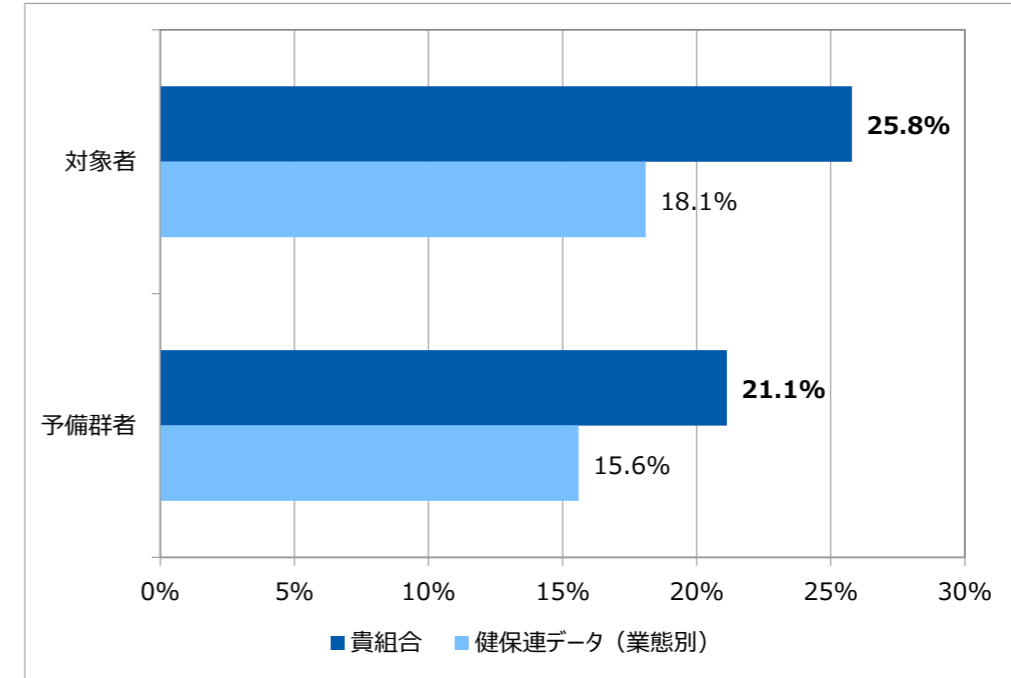
(3) メタボリックシンドロームの状況

【メタボリックシンドローム対象者の状況】

	評価 対象者数	対象者			予備群		
		人数	対象率		人数	対象率	
			貴組合	健保連データ		貴組合	健保連データ
全体	1,072	248	23.1%	15.1%	201	18.8%	12.3%
被保険者	923	238	25.8%	16.8%	195	21.1%	14.5%
男性	897	238	26.5%	-	193	21.5%	-
女性	26	0	0.0%	-	2	7.7%	-
被扶養者	149	10	6.7%	4.6%	6	4.0%	4.6%

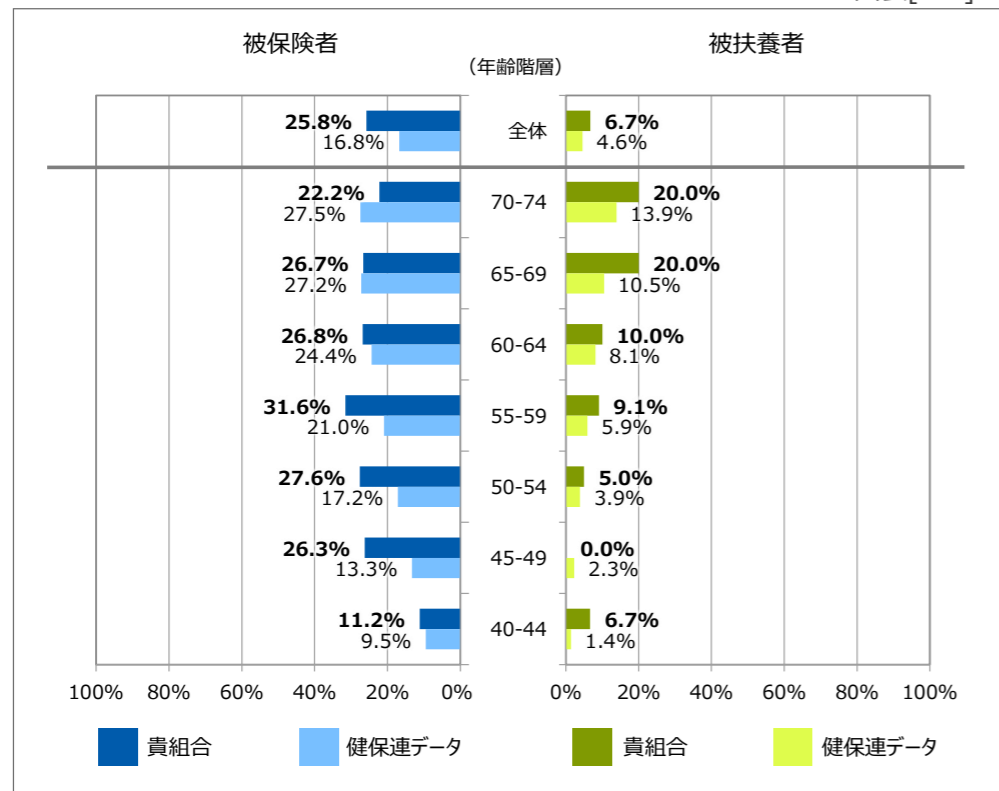
【同業他社（運輸業）との比較（被保険者）】

図表[1-2]10



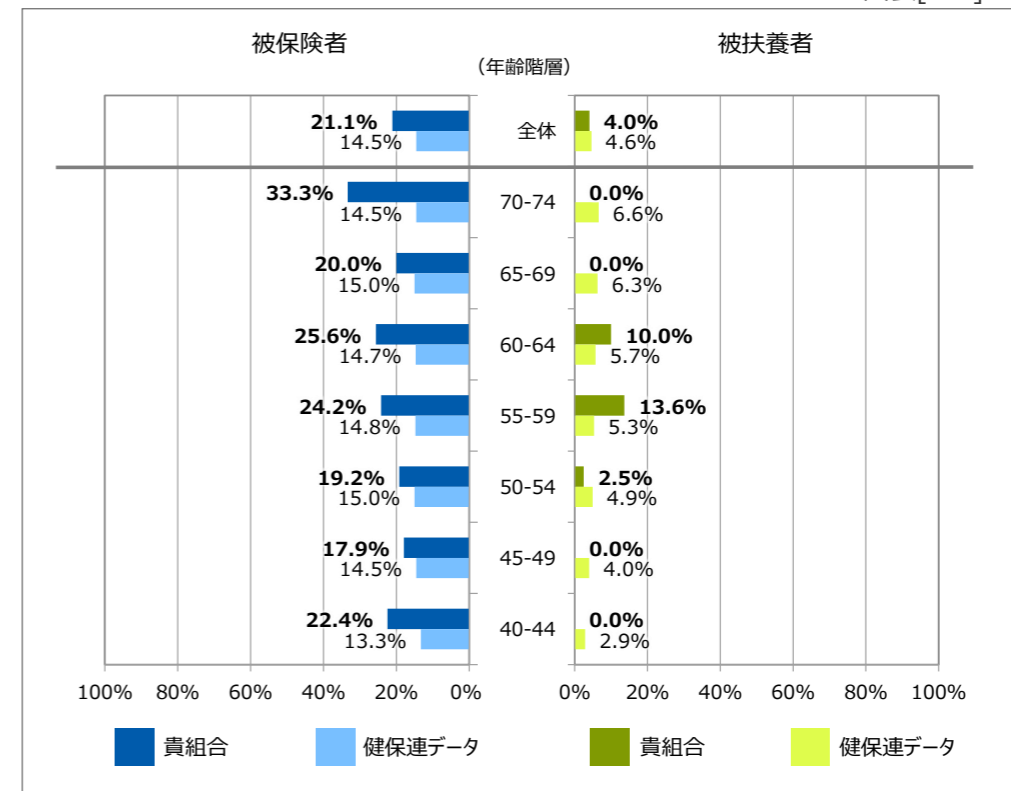
【メタボリックシンドローム対象者（対象率）の年齢群別比較】

図表[1-2]11



【メタボリックシンドローム予備群（対象率）の年齢群別比較】

図表[1-2]12



本分析では、メタボリックシンドロームの対象状況について、リスクの有無を判定し集計しています。リスク判定については データ分析定義集：定義03「メタボリックシンドローム判定基準」をご参照ください。

出典	【健保連データとの比較】 令和2年度 特定健診・特定保健指導の実施状況（令和4年8月）	【同業他社との比較】 令和元年度 業態別にみた被保険者の健康状態に関する調査（令和4年1月）※運輸業
対象範囲	年度 2021 在籍区分 通年在籍者 被扶区分 被保険者・被扶養者 年齢 40～74歳 他要件	メタボリックシンドローム判定可能者

1 - 2. 特定健診・特定保健指導の分析

(6) 特定保健指導の実施状況（被保険者・被扶養者別）

【被保険者・被扶養者別】

区分	年齢階層	指導レベル	評価対象者数	指導対象者		実施状況			評価指標	
				人数	該当率	完了	未完了	未実施	利用率	実施率
被 保 険 者	70-74	積極的支援	9	0	0.0%	0	0	0	-	-
		動機付け支援		3	33.3%	0	0	3	0.0%	0.0%
	65-69	積極的支援	30	0	0.0%	0	0	0	-	-
		動機付け支援		5	16.7%	0	0	5	0.0%	0.0%
	60-64	積極的支援	82	10	12.2%	0	0	10	0.0%	0.0%
		動機付け支援		3	3.7%	0	0	3	0.0%	0.0%
	55-59	積極的支援	190	46	24.2%	2	0	44	4.3%	4.3%
		動機付け支援		16	8.4%	1	0	15	6.3%	6.3%
	50-54	積極的支援	297	62	20.9%	12	0	50	19.4%	19.4%
		動機付け支援		28	9.4%	10	0	18	35.7%	35.7%
45-49	積極的支援	190	37	19.5%	9	0	28	24.3%	24.3%	
	動機付け支援		15	7.9%	1	0	14	6.7%	6.7%	
40-44	積極的支援	125	27	21.6%	7	0	20	25.9%	25.9%	
	動機付け支援		13	10.4%	4	0	9	30.8%	30.8%	
合計(40-74)	積極的支援	923	182	19.7%	30	0	152	16.5%	16.5%	
	動機付け支援		83	9.0%	16	0	67	19.3%	19.3%	
合計		923	265	28.7%	46	0	219	17.4%	17.4%	
被 扶 養 者	70-74	積極的支援	5	0	0.0%				-	-
		動機付け支援		0	0.0%				-	-
	65-69	積極的支援	5	0	0.0%				-	-
		動機付け支援		0	0.0%				-	-
	60-64	積極的支援	20	0	0.0%				-	-
		動機付け支援		0	0.0%				-	-
	55-59	積極的支援	22	1	4.5%	0	0	1	0.0%	0.0%
		動機付け支援		2	9.1%	1	0	1	50.0%	50.0%
	50-54	積極的支援	40	1	2.5%	0	0	1	0.0%	0.0%
		動機付け支援		3	7.5%	0	0	3	0.0%	0.0%
45-49	積極的支援	27	0	0.0%	0	0	0	-	-	
	動機付け支援		2	7.4%	0	0	2	0.0%	0.0%	
40-44	積極的支援	30	1	3.3%	0	0	1	0.0%	0.0%	
	動機付け支援		1	3.3%	0	0	1	0.0%	0.0%	
合計(40-74)	積極的支援	149	3	2.0%	0	0	3	0.0%	0.0%	
	動機付け支援		8	5.4%	1	0	7	12.5%	12.5%	
合計		149	11	7.4%	1	0	10	9.1%	9.1%	
積極的支援			1,072	185	17.3%	30	0	155	16.2%	16.2%
動機付け支援				91	8.5%	17	0	74	18.7%	18.7%
総計			1,072	276	25.7%	47	0	229	17.0%	17.0%

該当率 = 指導対象者数 ÷ 評価対象者数

利用率 = (完了者数 + 未完了者数) ÷ 指導対象者数

実施率 = 完了者数 ÷ 指導対象者数

対象範囲	年度	2021	在籍区分	通年在籍者	被扶区分	被保険者・被扶養者	年齢	40～74歳	他要件	保健指導レベル判定可能者
------	----	------	------	-------	------	-----------	----	--------	-----	--------------

1 - 2. 特定健診・特定保健指導の分析

(6) 特定保健指導の実施状況 (男女別)

【男女別】

性別	年齢階層	指導レベル	評価対象者数	指導対象者		実施状況			評価指標	
				人数	該当率	完了	未完了	未実施	利用率	実施率
男性	70-74	積極的支援	10	0	0.0%	0	0	0	-	-
		動機付け支援		3	30.0%	0	0	3	0.0%	0.0%
	65-69	積極的支援	29	0	0.0%	0	0	0	-	-
		動機付け支援		5	17.2%	0	0	5	0.0%	0.0%
	60-64	積極的支援	78	10	12.8%	0	0	10	0.0%	0.0%
		動機付け支援		3	3.8%	0	0	3	0.0%	0.0%
	55-59	積極的支援	187	46	24.6%	2	0	44	4.3%	4.3%
		動機付け支援		15	8.0%	1	0	14	6.7%	6.7%
	50-54	積極的支援	288	62	21.5%	12	0	50	19.4%	19.4%
		動機付け支援		28	9.7%	10	0	18	35.7%	35.7%
45-49	積極的支援	184	37	20.1%	9	0	28	24.3%	24.3%	
	動機付け支援		14	7.6%	0	0	14	0.0%	0.0%	
40-44	積極的支援	123	27	22.0%	7	0	20	25.9%	25.9%	
	動機付け支援		13	10.6%	4	0	9	30.8%	30.8%	
合計(40-74)	積極的支援	899	182	20.2%	30	0	152	16.5%	16.5%	
	動機付け支援		81	9.0%	15	0	66	18.5%	18.5%	
合計		899	263	29.3%	45	0	218	17.1%	17.1%	
女性	70-74	積極的支援	4	0	0.0%				-	-
		動機付け支援		0	0.0%				-	-
	65-69	積極的支援	6	0	0.0%				-	-
		動機付け支援		0	0.0%				-	-
	60-64	積極的支援	24	0	0.0%				-	-
		動機付け支援		0	0.0%				-	-
	55-59	積極的支援	25	1	4.0%	0	0	1	0.0%	0.0%
		動機付け支援		3	12.0%	1	0	2	33.3%	33.3%
	50-54	積極的支援	49	1	2.0%	0	0	1	0.0%	0.0%
		動機付け支援		3	6.1%	0	0	3	0.0%	0.0%
45-49	積極的支援	33	0	0.0%	0	0	0	-	-	
	動機付け支援		3	9.1%	1	0	2	33.3%	33.3%	
40-44	積極的支援	32	1	3.1%	0	0	1	0.0%	0.0%	
	動機付け支援		1	3.1%	0	0	1	0.0%	0.0%	
合計(40-74)	積極的支援	173	3	1.7%	0	0	3	0.0%	0.0%	
	動機付け支援		10	5.8%	2	0	8	20.0%	20.0%	
合計		173	13	7.5%	2	0	11	15.4%	15.4%	
積極的支援			1,072	185	17.3%	30	0	155	16.2%	16.2%
動機付け支援				91	8.5%	17	0	74	18.7%	18.7%
総計			1,072	276	25.7%	47	0	229	17.0%	17.0%

該当率 = 指導対象者数 ÷ 評価対象者数

利用率 = (完了者数 + 未完了者数) ÷ 指導対象者数

実施率 = 完了者数 ÷ 指導対象者数

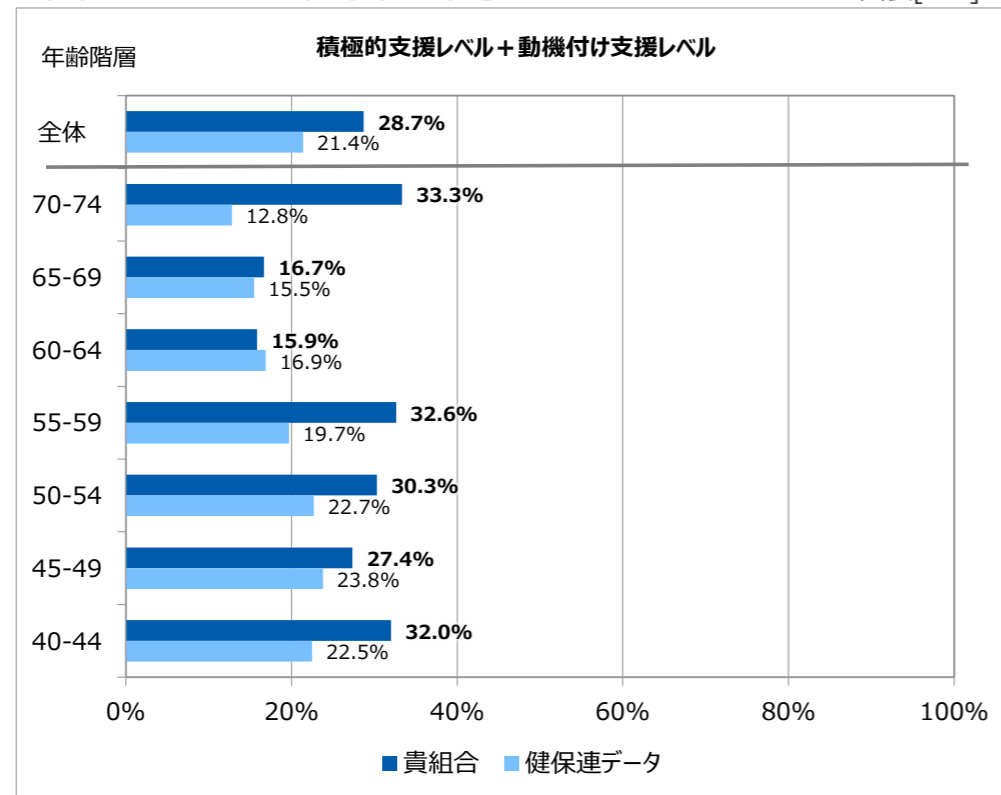
対象範囲	年度	2021	在籍区分	通年在籍者	被扶区分	被保険者・被扶養者	年齢	40～74歳	他要件	保健指導レベル判定可能者
------	----	------	------	-------	------	-----------	----	--------	-----	--------------

1-2. 特定健診・特定保健指導の分析

(6) 特定保健指導の実施状況（健保連データとの比較）

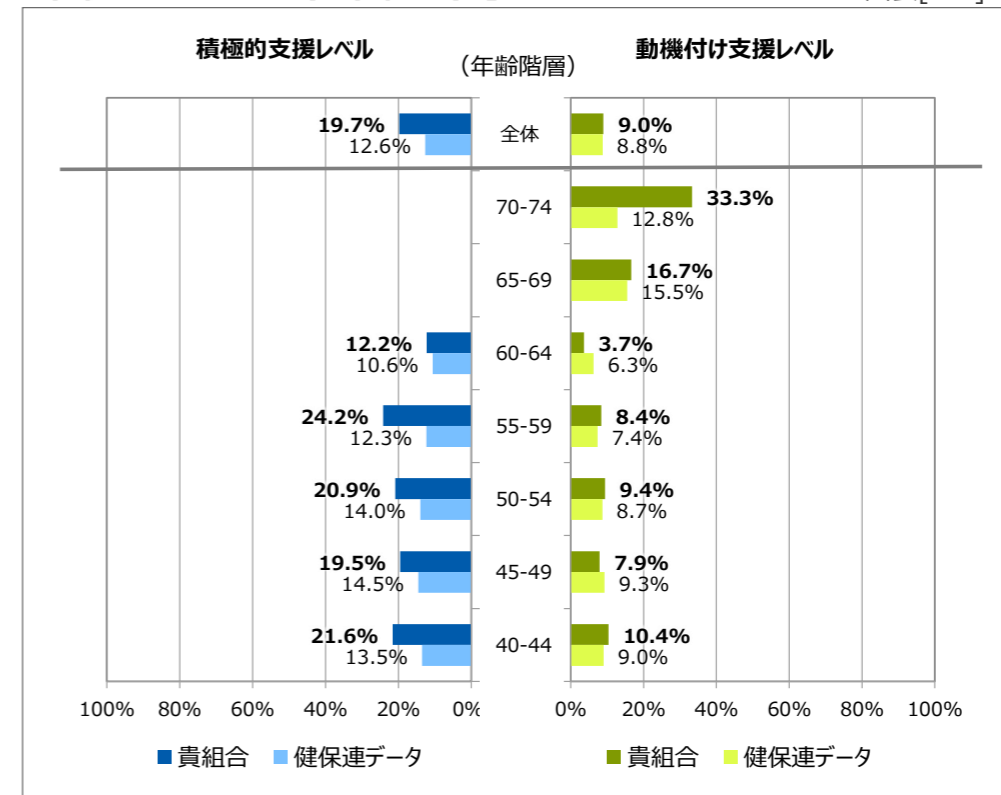
【保健指導該当率（被保険者）】

図表[1-2]43



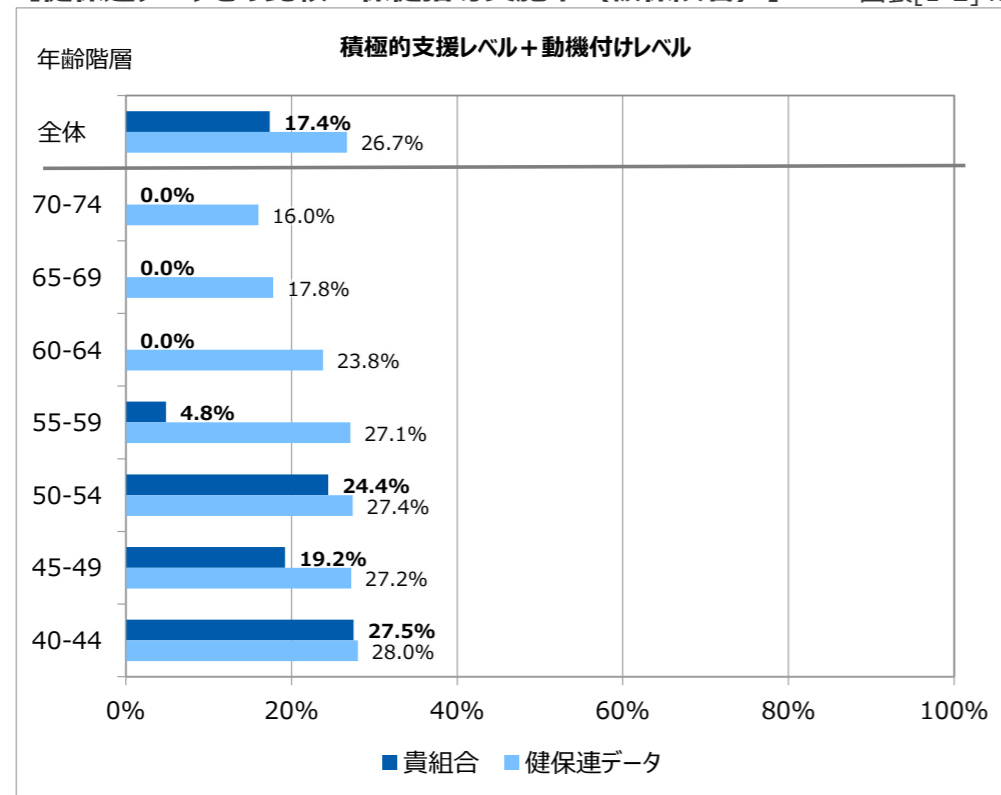
【保健指導該当率（被保険者）】

図表[1-2]44



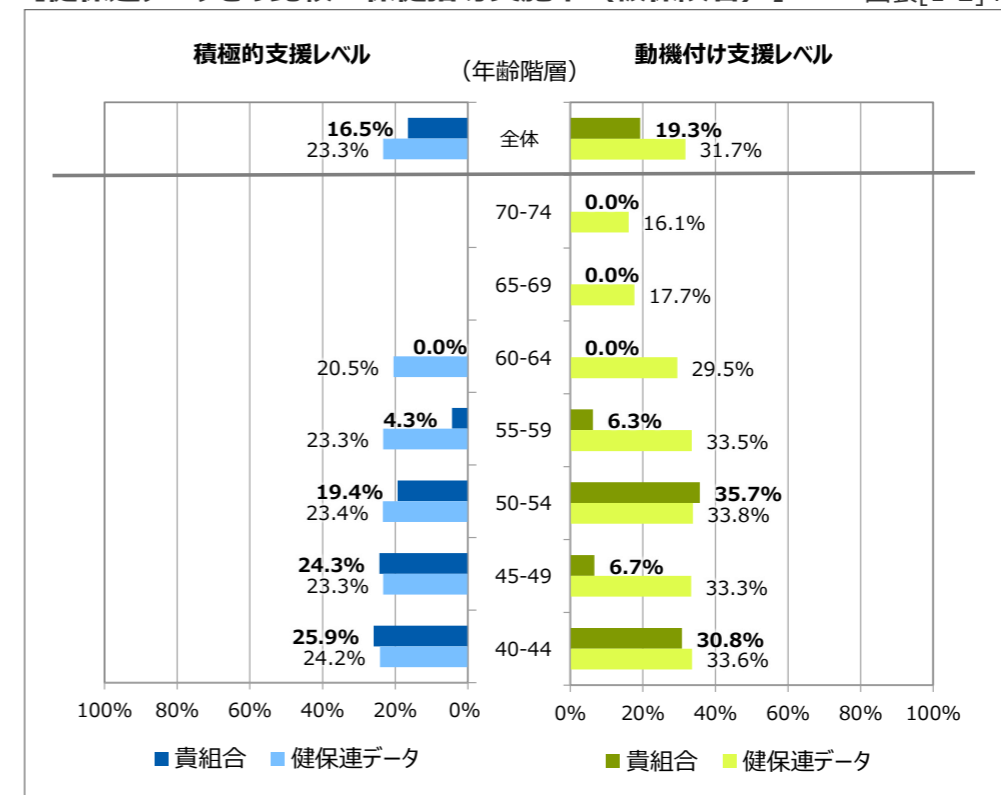
【健保連データとの比較：保健指導実施率（被保険者）】

図表[1-2]45



【健保連データとの比較：保健指導実施率（被保険者）】

図表[1-2]46



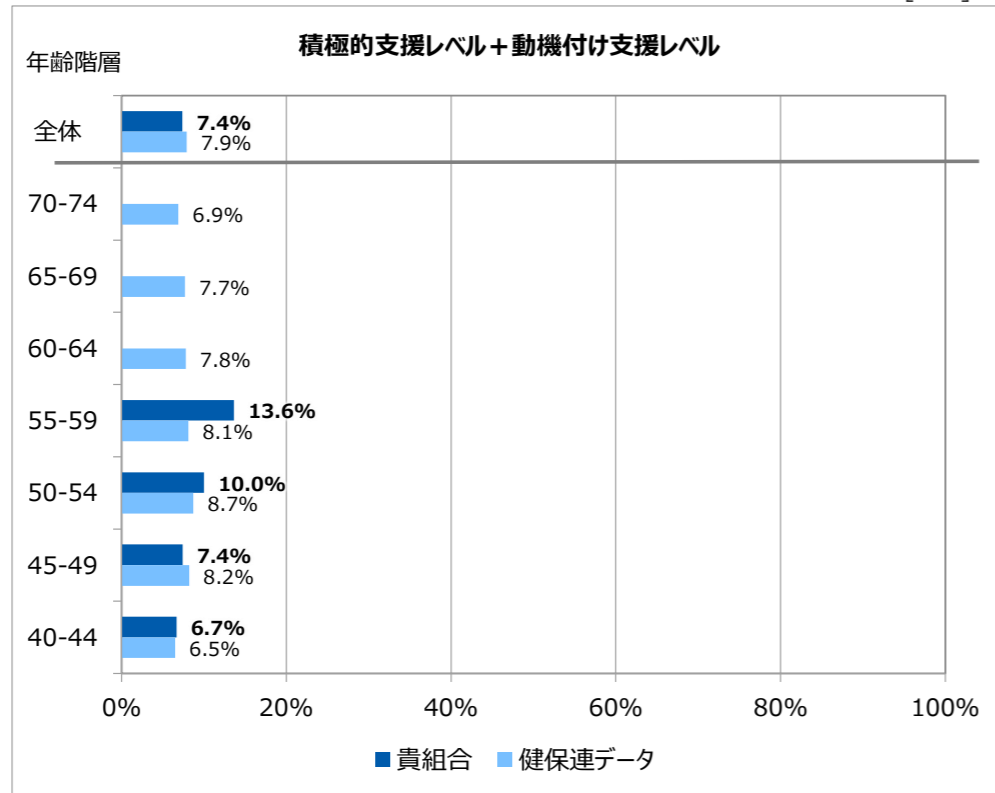
※健保連平均の積極的支援について
65歳以上75歳未満の前期高齢者については、「積極的支援」の対象となつた場合でも「動機付け支援」とすることになっているため、当該年齢階層の数値はないものとして取り扱っている

出典	【健保連データとの比較】令和2年度_特定健診・特定保健指導の実施状況（令和4年8月）									
対象範囲	年度	2021	在籍区分	通年在籍者	被扶区分	被保険者	年齢	40～74歳	他要件	保健指導レベル判定可能者

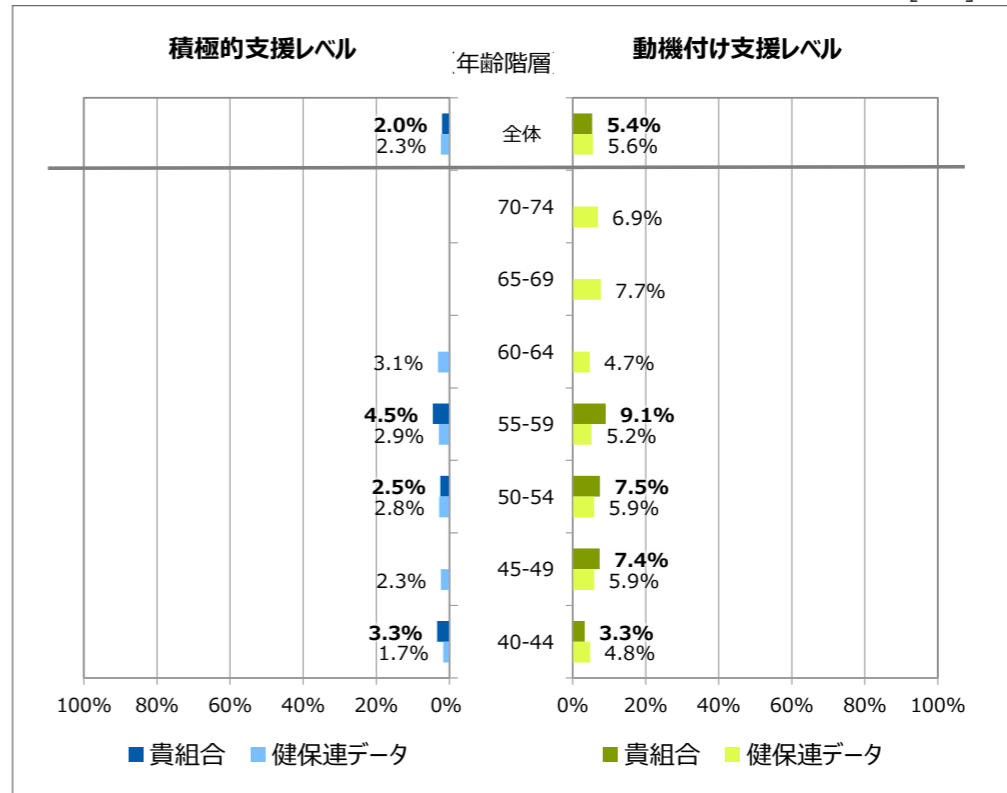
1 - 2. 特定健診・特定保健指導の分析

(6) 特定保健指導の実施状況（健保連データとの比較）

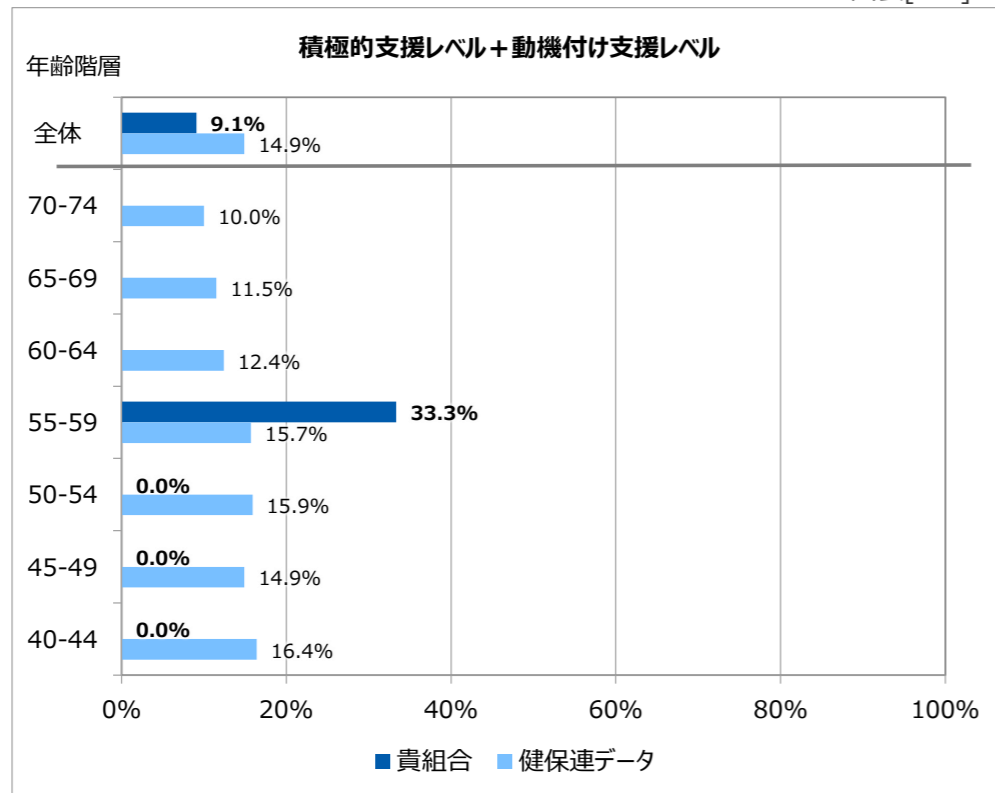
【保健指導該当率（被扶養者）】 図表[1-2]47



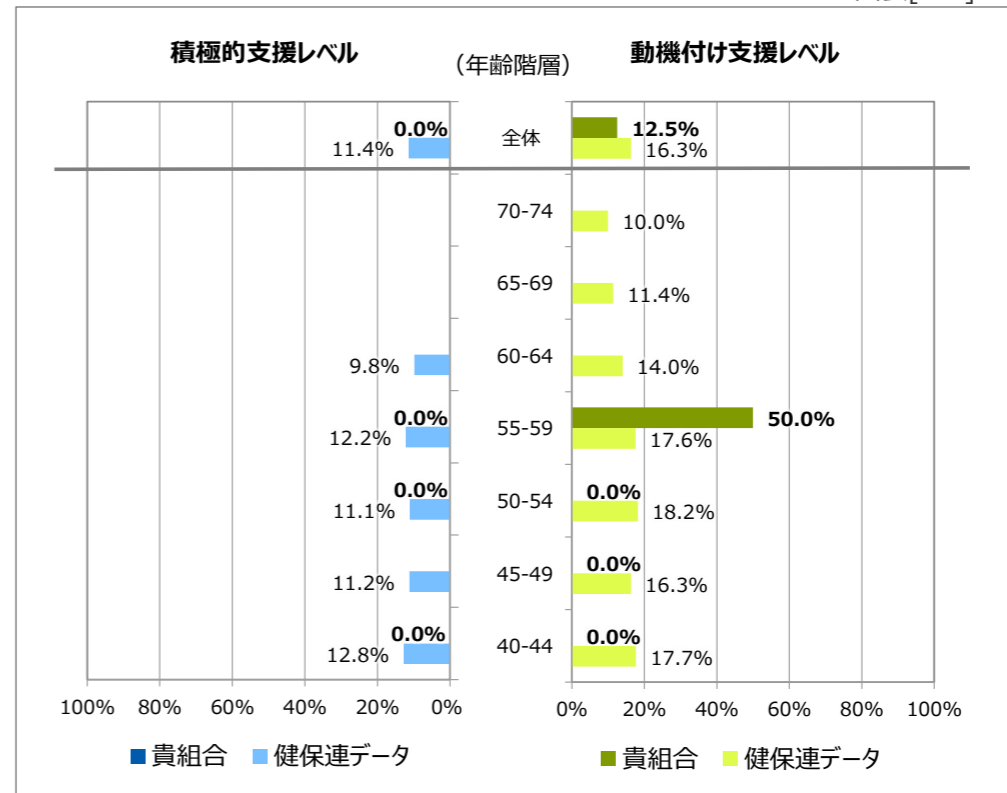
【保健指導該当率（被扶養者）】 図表[1-2]48



【健保連データとの比較：保健指導実施率（被扶養者）】 図表[1-2]49



【健保連データとの比較：保健指導実施率（被扶養者）】 図表[1-2]50



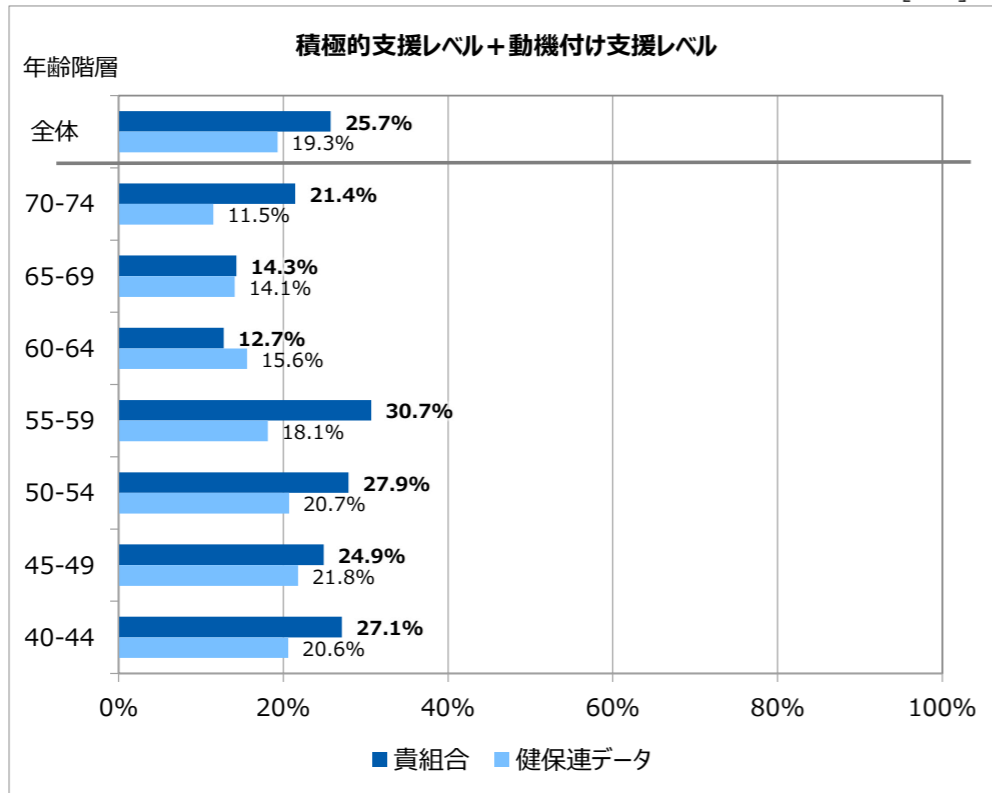
※健保連平均の積極的支援について65歳以上75歳未満の前期高齢者については、「積極的支援」の対象となった場合でも「動機付け支援」とすることになっていないため、当該年齢階層の数値はないものとして取り扱っている

出典	【健保連データとの比較】令和2年度_特定健診・特定保健指導の実施状況（令和4年8月）									
対象範囲	年度	2021	在籍区分	通年在籍者	被扶区分	被扶養者	年齢	40～74歳	他要件	保健指導レベル判定可能者

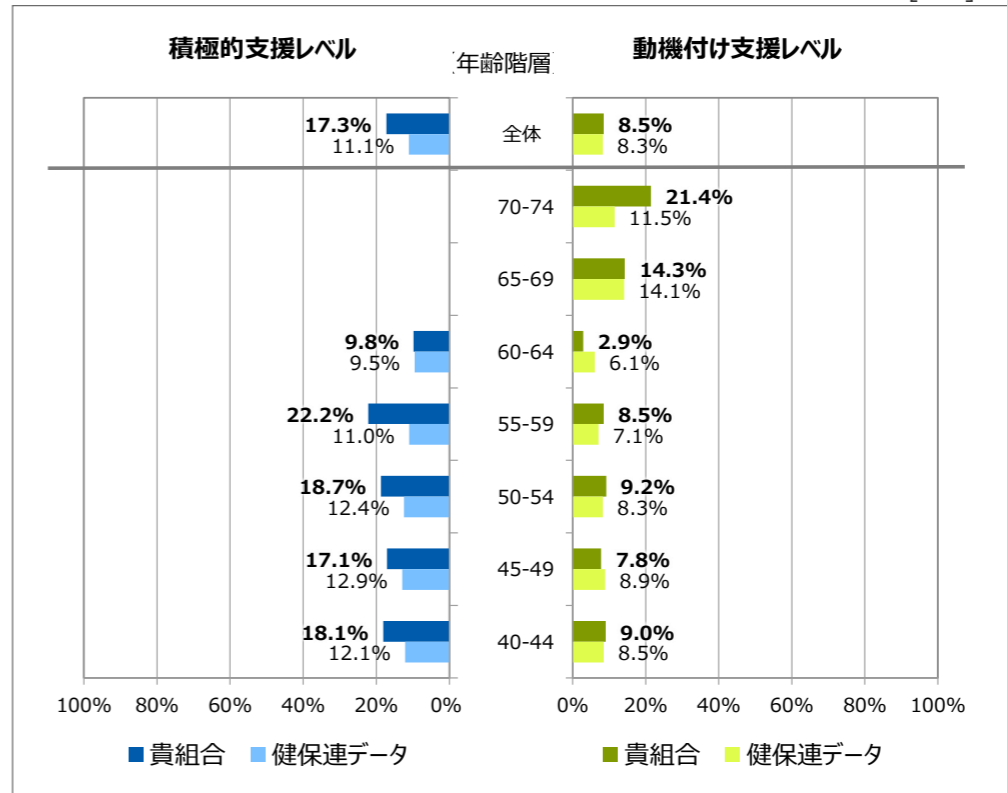
1 - 2. 特定健診・特定保健指導の分析

(6) 特定保健指導の実施状況（健保連データとの比較）

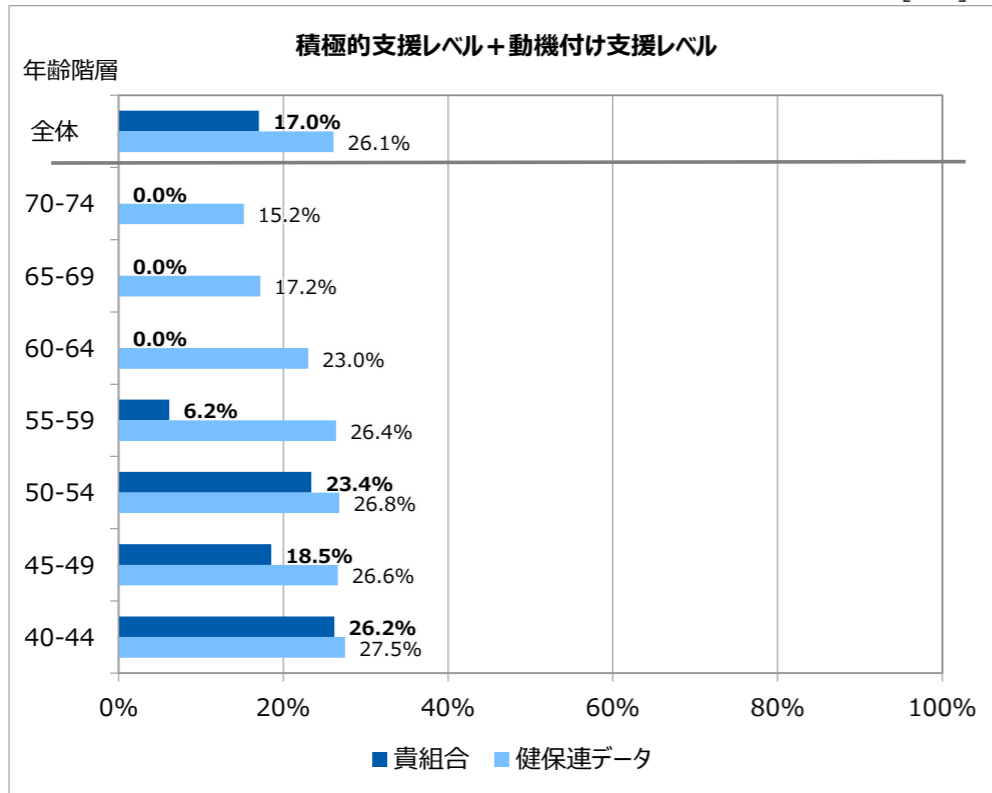
【保健指導該当率（被保険者＋被扶養者）】 図表[1-2]51



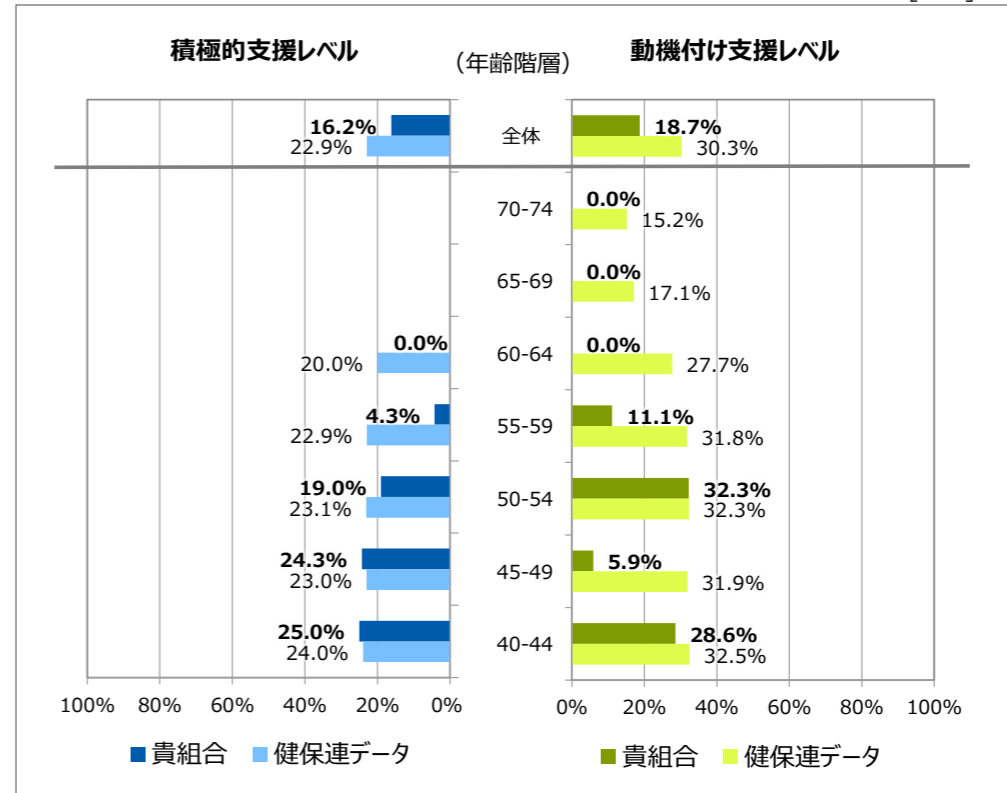
【保健指導該当率（被保険者＋被扶養者）】 図表[1-2]52



【健保連データとの比較：保健指導実施率（被保険者＋被扶養者）】 図表[1-2]53



【健保連データとの比較：保健指導実施率（被保険者＋被扶養者）】 図表[1-2]54



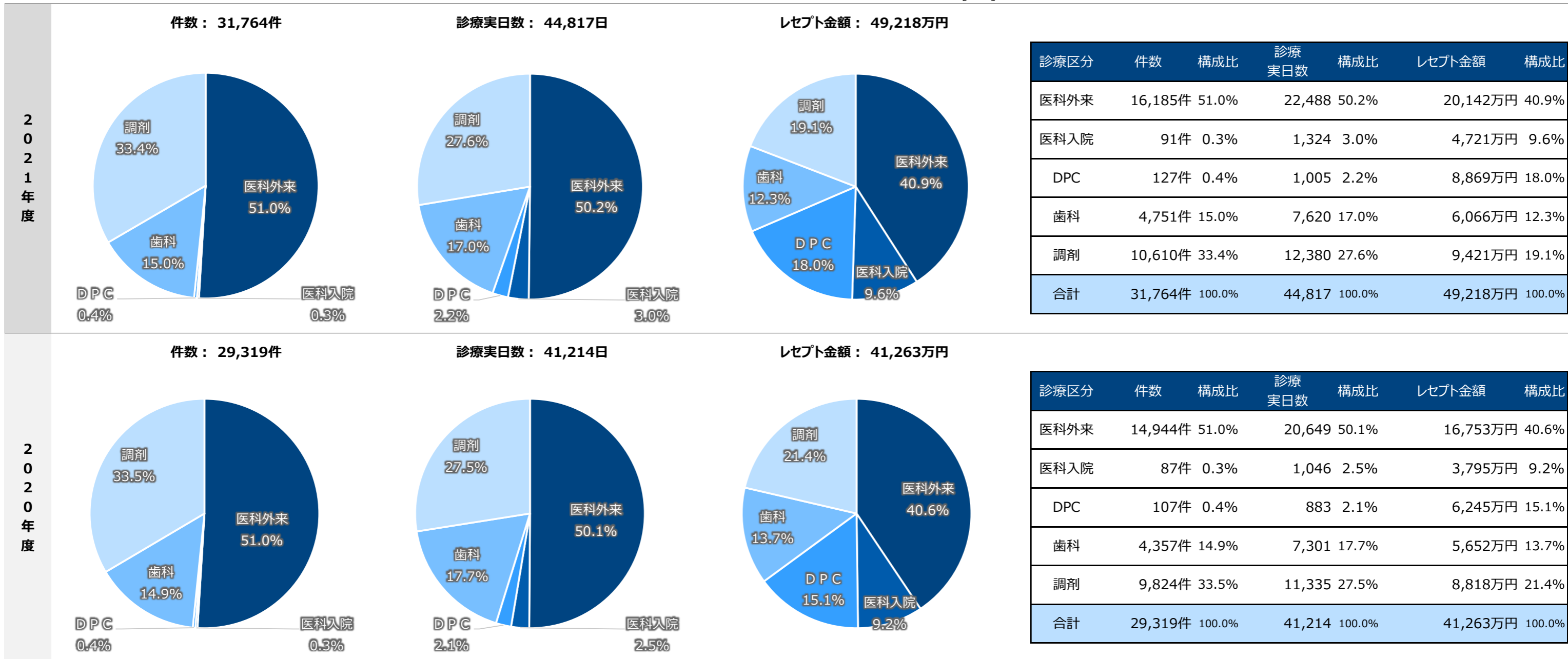
出典	【健保連データとの比較】 令和2年度_特定健診・特定保健指導の実施状況（令和4年8月）									
対象範囲	年度	2021	在籍区分	通年在籍者	被扶区分	被保険者・被扶養者	年齢	40～74歳	他要件	保健指導レベル判定可能者

1-3.医療費の分析

(1) 医療費の状況

【年間医療費の状況〔通年在籍者〕】

図表[1-3]1



【年間医療費の状況〔対前年度比較〕】

		2021年度	2020年度
医療費総額	レセプト金額	49,218万円	41,263万円
	件数	31,764件	29,319件
	診療実日数	44,817日	41,214日
	加入者数	2,827人	2,900人

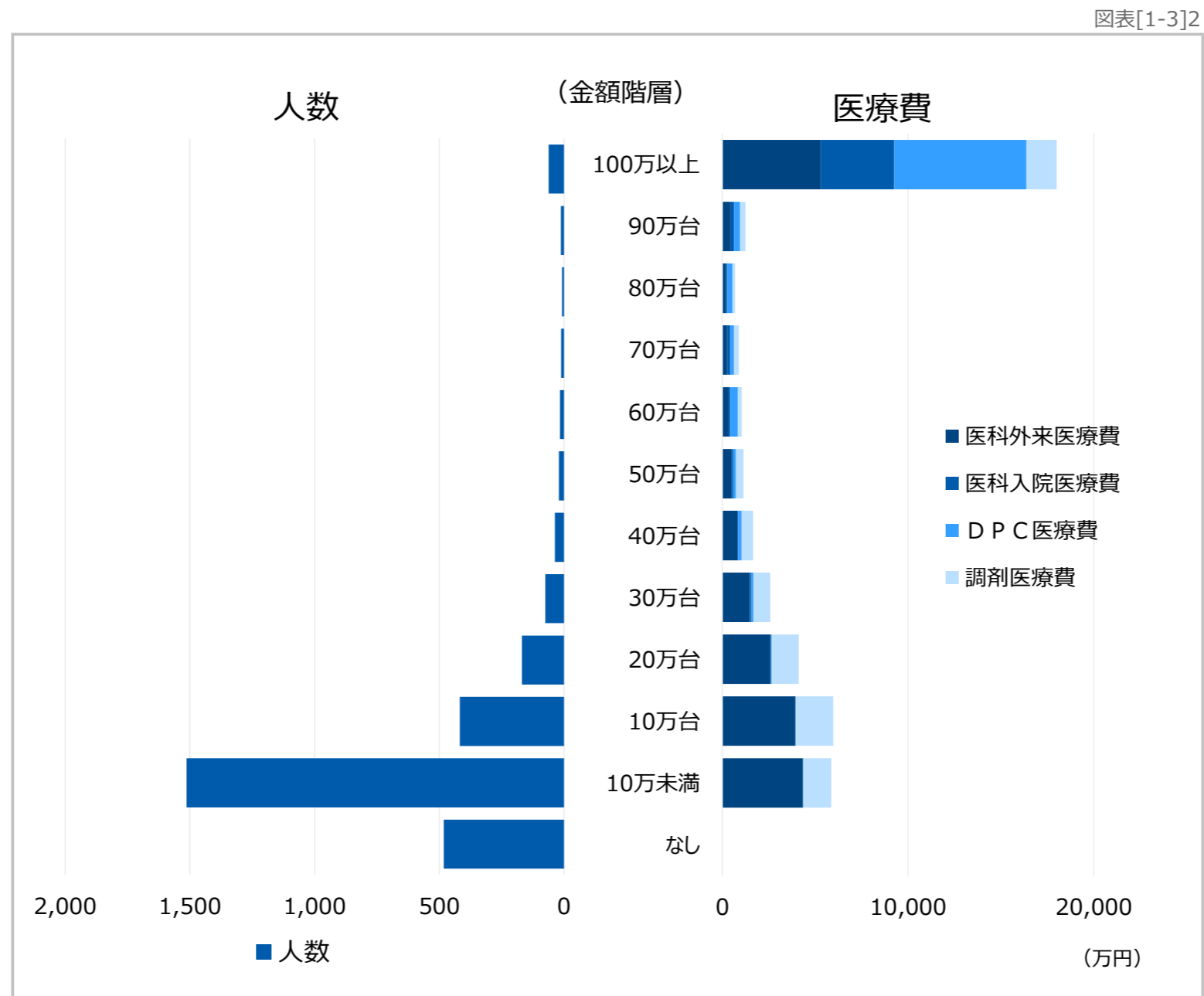
対象範囲	年度	2021	在籍区分	通年在籍者	被扶区分	被保険者・被扶養者	年齢	全年齢	他要件	-
------	----	------	------	-------	------	-----------	----	-----	-----	---

1-3.医療費の分析

(1) 医療費の状況

【金額階層別医療費の状況 [通年在籍者]】

金額階層	人数	比率	累積比率
100万以上	62	2.2%	100.0%
90万台	13	0.5%	97.8%
80万台	8	0.3%	97.3%
70万台	12	0.4%	97.1%
60万台	16	0.6%	96.6%
50万台	21	0.7%	96.1%
40万台	37	1.3%	95.3%
30万台	75	2.7%	94.0%
20万台	169	6.0%	91.4%
10万台	418	14.8%	85.4%
10万未満	1,514	53.6%	70.6%
なし	482	17.0%	17.0%
計	2,827	100.0%	-



金額階層	合計金額	比率	累積比率
100万以上	17,990万円	41.7%	100.0%
90万台	1,241万円	2.9%	58.3%
80万台	679万円	1.6%	55.4%
70万台	885万円	2.1%	53.9%
60万台	1,041万円	2.4%	51.8%
50万台	1,137万円	2.6%	49.4%
40万台	1,651万円	3.8%	46.8%
30万台	2,579万円	6.0%	42.9%
20万台	4,115万円	9.5%	37.0%
10万台	5,972万円	13.8%	27.4%
10万未満	5,863万円	13.6%	13.6%
なし	0万円	0.0%	0.0%
計	43,152万円	100.0%	-

金額階層	100万円以上/年	2021年度				2020年度			
		医療費総額における割合		医療費総額における割合		医療費総額における割合		医療費総額における割合	
		金額	41.7%	人数	2.2%	金額	36.5%	人数	1.7%
	10万円未満/年	金額	13.6%	人数	70.6%	金額	15.0%	人数	74.2%

対象範囲 年度 2021 在籍区分 通年在籍者 被扶区分 被保険者・被扶養者 年齢 全年齢 他要件 歯科レセプトは含まず

1-3.医療費の分析

(2)医療費3要素分解分析（健保連データとの比較）

【健保連データとの比較：通年在籍者（特退任継含む）】

2021年度		医科外来		医科入院		歯科		調剤		合計	
		貴健保	健保連データ	貴健保	健保連データ	貴健保	健保連データ	貴健保	健保連データ	貴健保	健保連データ
1人（日、件） 当たり医療費	医療費/人	71,250円	60,851円	48,070円	33,867円	21,456円	19,096円	33,324円	31,221円	174,100円	145,036円
	件数/人	5.7件	5.2件	0.1件	0.1件	1.7件	1.6件	3.8件	3.4件	11.2件	10.2件
	日数/件	1.4日	1.4日	10.7日	8.5日	1.6日	1.6日	1.2日	1.2日	1.4日	1.4日
	医療費/日	8,957円	8,480円	58,349円	60,146円	7,960円	77,313円	7,610円	7,969円	10,982円	10,237円

※健保連データの条件と合わせる為、医科入院の金額内にDPCを含みます

【健保連データとの比較：通年在籍者（特退任継含む）】

2020年度		医科外来		医科入院		歯科		調剤		合計	
		貴健保	健保連データ	貴健保	健保連データ	貴健保	健保連データ	貴健保	健保連データ	貴健保	健保連データ
1人（日、件） 当たり医療費	医療費/人	57,768円	65,194円	34,622円	36,266円	19,490円	18,853円	30,407円	32,528円	142,286円	152,841円
	件数/人	5.2件	6.0件	0.1件	0.1件	1.5件	1.7件	3.4件	3.9件	10.1件	11.6件
	日数/件	1.4日	1.4日	9.9日	8.4日	1.7日	1.6日	1.2日	1.2日	1.4日	1.4日
	医療費/日	8,113円	7,814円	52,049円	57,169円	7,741円	71,603円	7,779円	7,039円	10,012円	9,413円

※健保連データの条件と合わせる為、医科入院の金額内にDPCを含みます

【年間医療費の状況【対前年度比較】】

		2021年度	2020年度	2021年度健保連データ
		貴健保	貴健保	
1人（日、件） 当たり医療費	医療費/人	174,100円	142,286円	145,036円
	件数/人	11.2件	10.1件	10.2件
	日数/件	1.4日	1.4日	1.4日
	医療費/日	10,982円	10,012円	10,237円

1人当たり医療費(円)：当該年度の医療費を、対象者数で除したものです。

1人当たり件数(件)：当該年度のレセプト件数を、対象者数で除したものです。

1件当たり日数(日)：当該年度の診療実日数を診療件数で除したものです。

1日当たり医療費(円)：当該年度の医療費を診療実日数で除したものです。

(注) 端数処理の関係から、3要素の乗算の結果が1人当たり医療費と必ずしも一致しません。

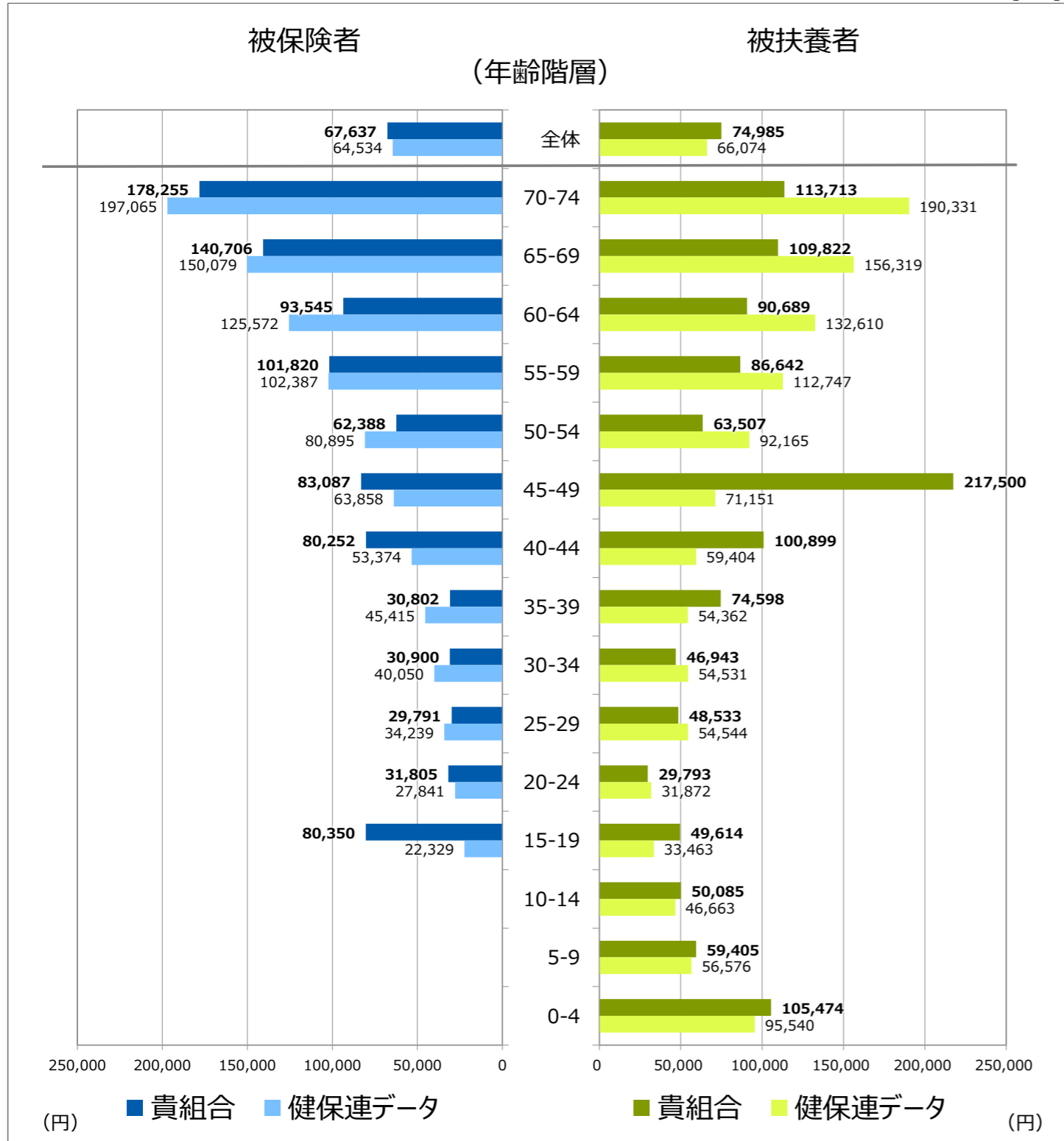
出典	【健保連データとの比較】 令和2年度 健保組合医療費の動向に関する調査（令和4年6月）・令和元年度 健保組合医療費の動向に関する調査（基礎数値編）（令和3年2月）									
対象範囲	年度	2021	在籍区分	通年在籍者（特退任継含む）	被扶区分	被保険者・被扶養者	年齢	全年齢	他要件	-

1-3.医療費の分析

(3)1人当たり医療費（健保連データとの比較）

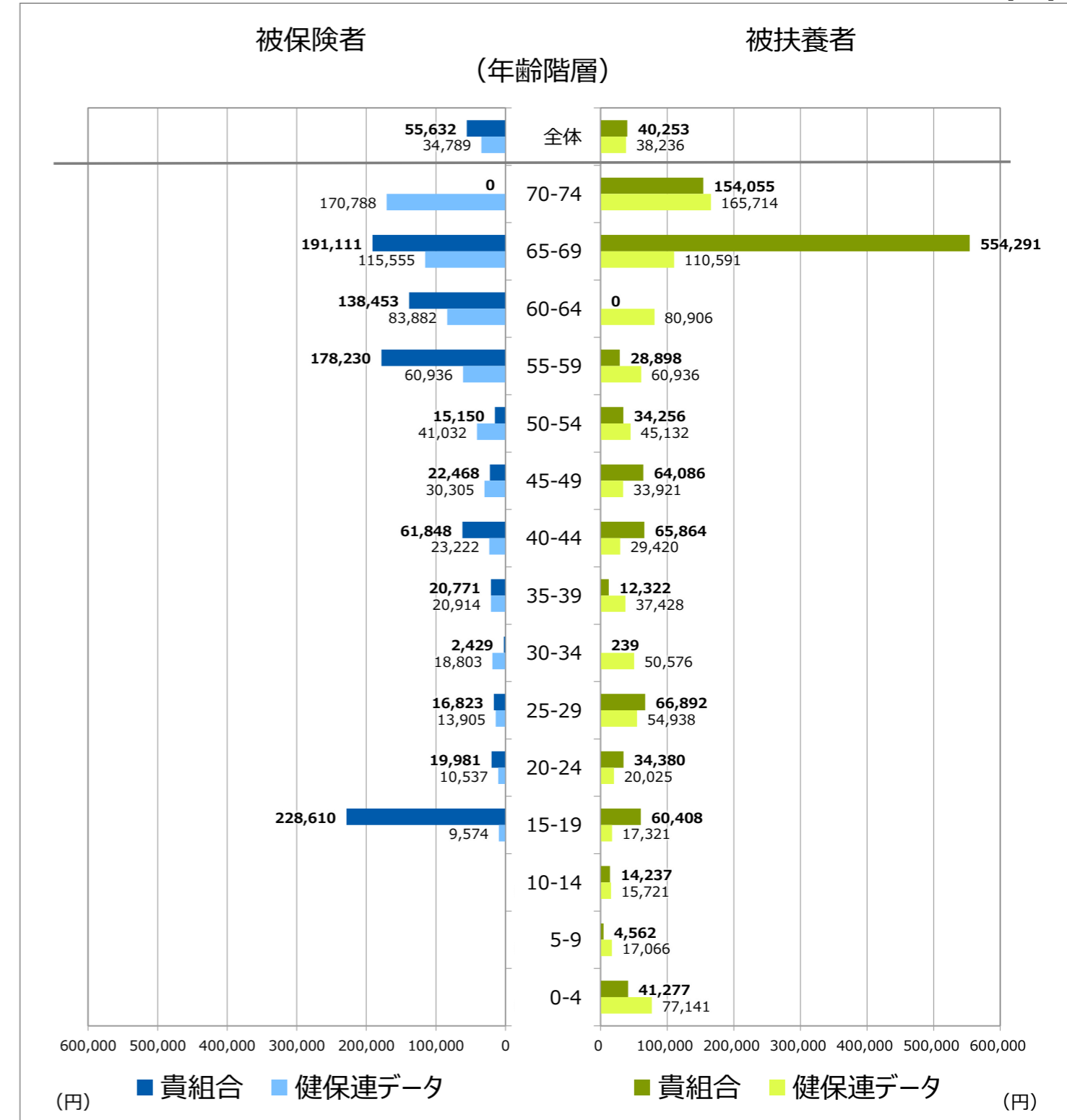
【〔医科外来〕 健保連データとの比較：一人当たり医療費（円）】

図表[1-3]3



【〔医科入院〕 健保連データとの比較：一人当たり医療費（円）】

図表[1-3]4



出典 【健保連データとの比較】 令和元年度 健保組合医療費の動向に関する調査（基礎数値編）（令和3年2月）

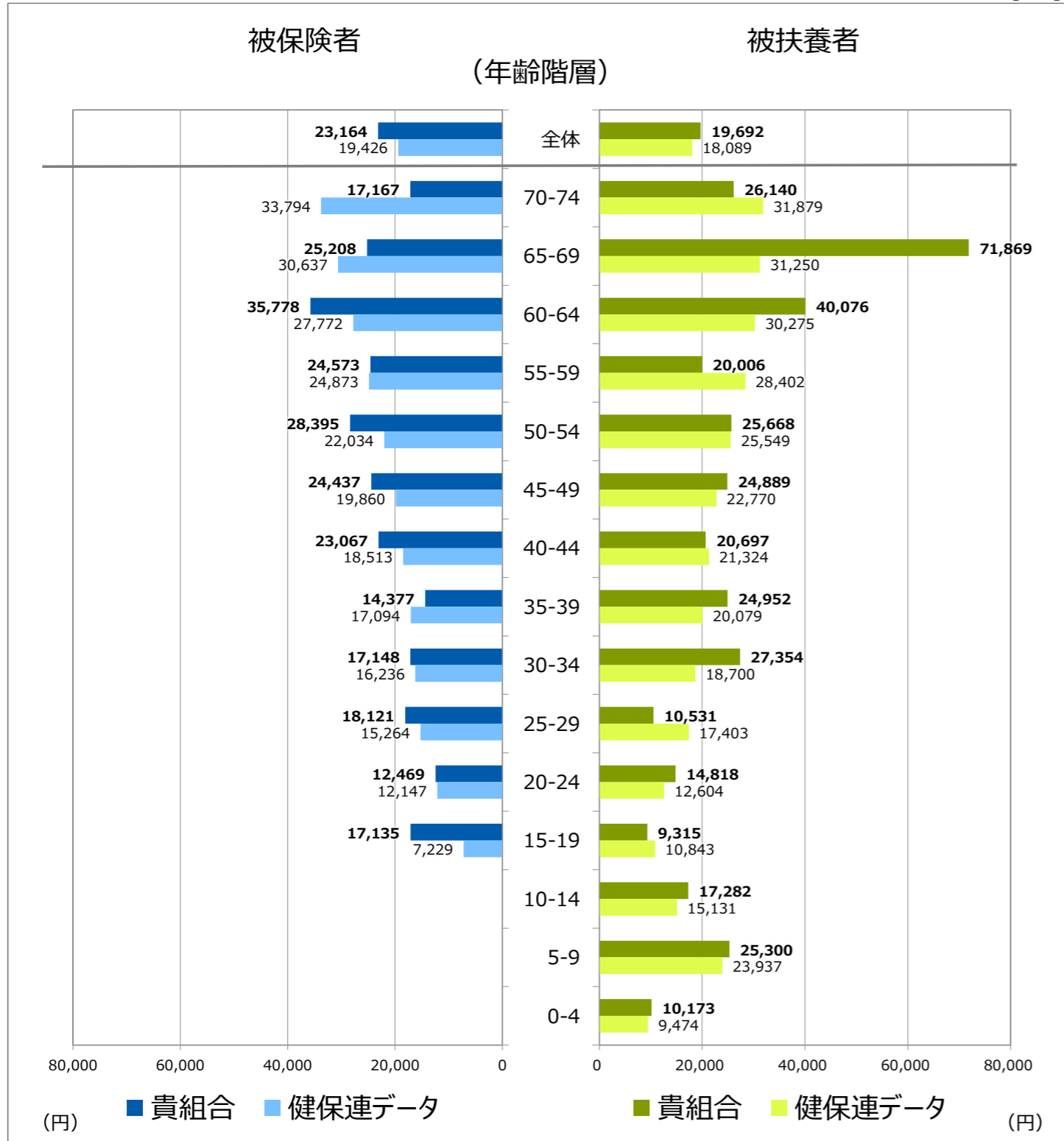
対象範囲 年度 2021 在籍区分 通年在籍者 被扶区分 被保険者・被扶養者 年齢 全年齢 他要件 -

1-3.医療費の分析

(3)1人当たり医療費（健保連データとの比較）

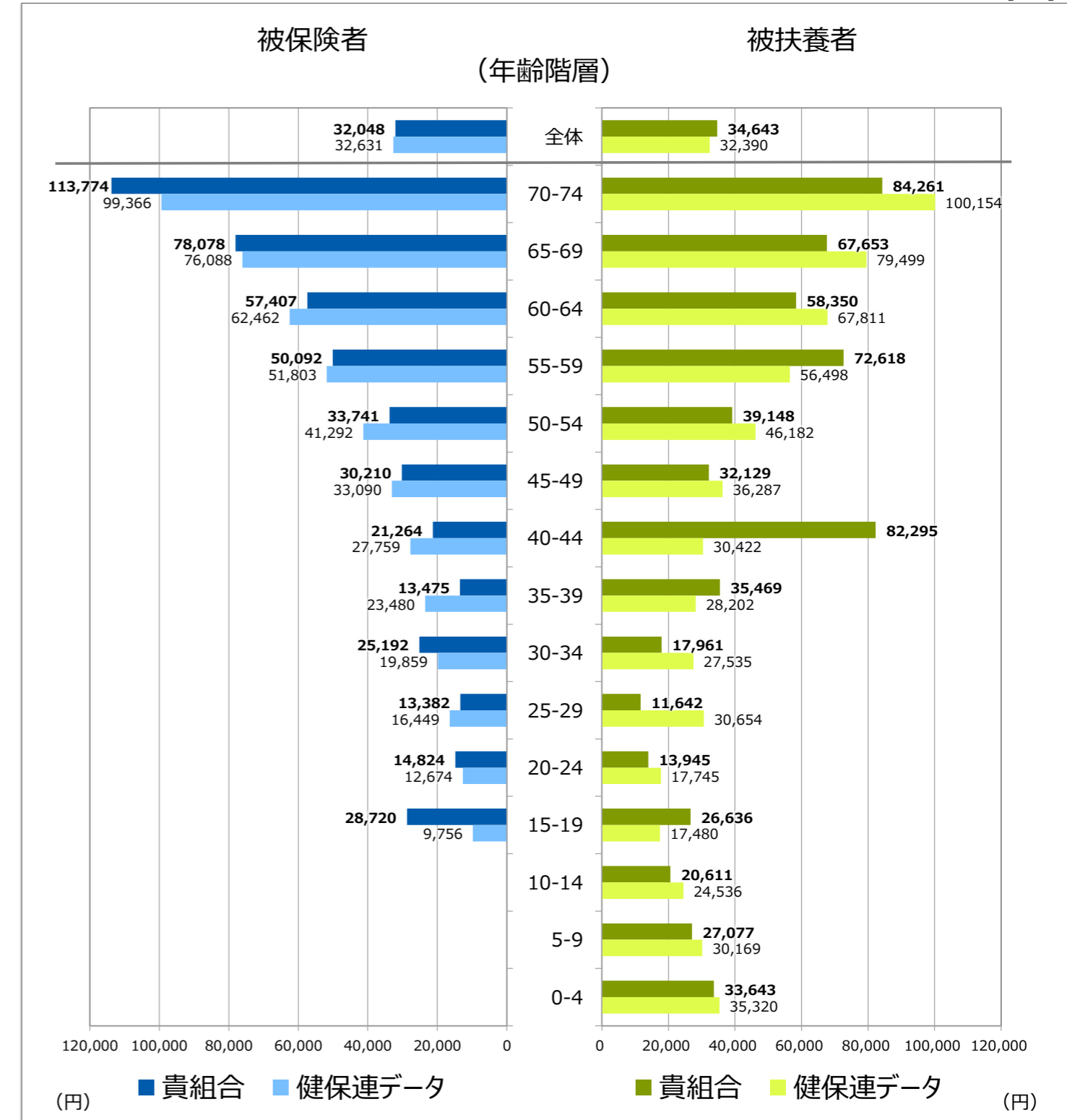
【〔歯科〕 健保連データとの比較：一人当たり医療費（円）】

図表[1-3]5



【〔調剤〕 健保連データとの比較：一人当たり医療費（円）】

図表[1-3]6



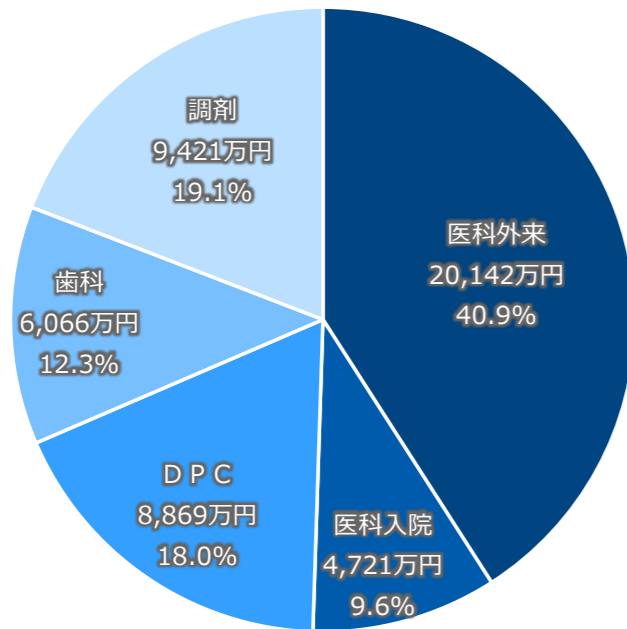
出典 【健保連データとの比較】 令和元年度 健保組合医療費の動向に関する調査（基礎数値編）（令和3年2月）

対象範囲 年度 2021 在籍区分 通年在籍者 被扶区分 被保険者・被扶養者 年齢 全年齢 他要件 -

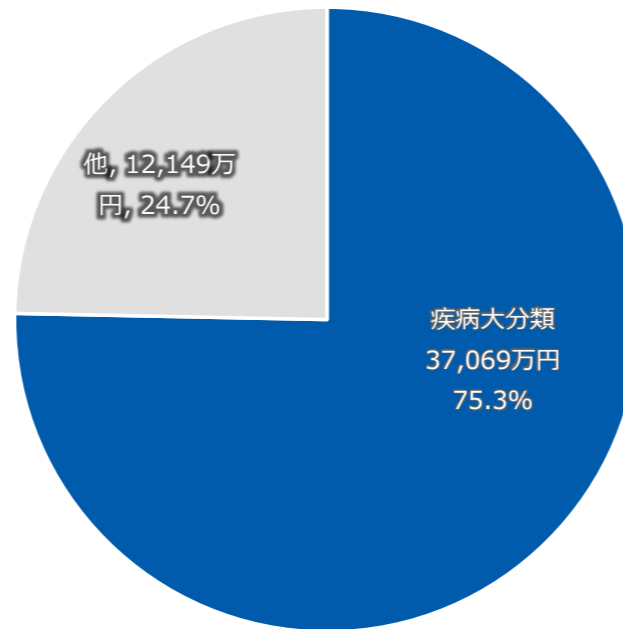
1-3.医療費の分析

(4) 疾病大分類別医療費構成割合

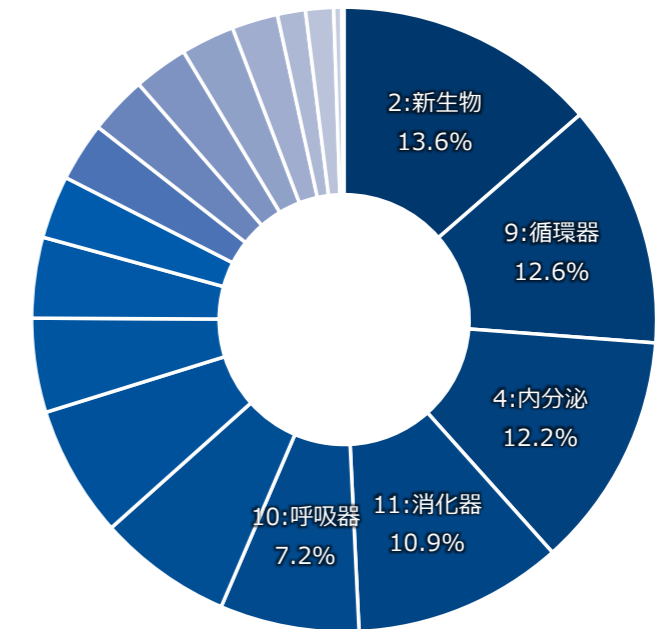
【年間医療費の状況】



図表[1-3]7 【疾病大分類医療費の比率】



図表[1-3]8 【疾病大分類別医療費の構成】



図表[1-3]9

診療区分	レセプト金額	構成比	1人当たり医療費	構成比
医科外来	20,142万円	40.9%	12,445円	1.0%
医科入院	4,721万円	9.6%	518,741円	41.5%
DPC	8,869万円	18.0%	698,338円	55.8%
歯科	6,066万円	12.3%	12,767円	1.0%
調剤	9,421万円	19.1%	8,879円	0.7%
合計	49,218万円	100.0%	15,495円	100.0%

分類区分	レセプト金額	構成比
疾病大分類	37,069万円	75.3%
その他医療費	12,149万円	24.7%
合計	49,218万円	100.0%

分類区分	レセプト金額	構成比
2:新生物	5,047万円	13.6%
9:循環器	4,663万円	12.6%
4:内分泌	4,519万円	12.2%
11:消化器	4,023万円	10.9%
10:呼吸器	2,669万円	7.2%
19:損傷	2,576万円	6.9%
13:筋骨格	2,527万円	6.8%
12:皮膚	1,806万円	4.9%
6:神経系	1,549万円	4.2%
7:眼	1,207万円	3.3%
14:腎尿	1,134万円	3.1%
3:血液	1,118万円	3.0%
5:精神	1,047万円	2.8%
18:徴候	1,029万円	2.8%
1:感染症	884万円	2.4%
17:先天奇形	537万円	1.4%
8:耳	536万円	1.4%
15:妊娠	155万円	0.4%
16:周産期	44万円	0.1%
合計	37,069万円	100.0%

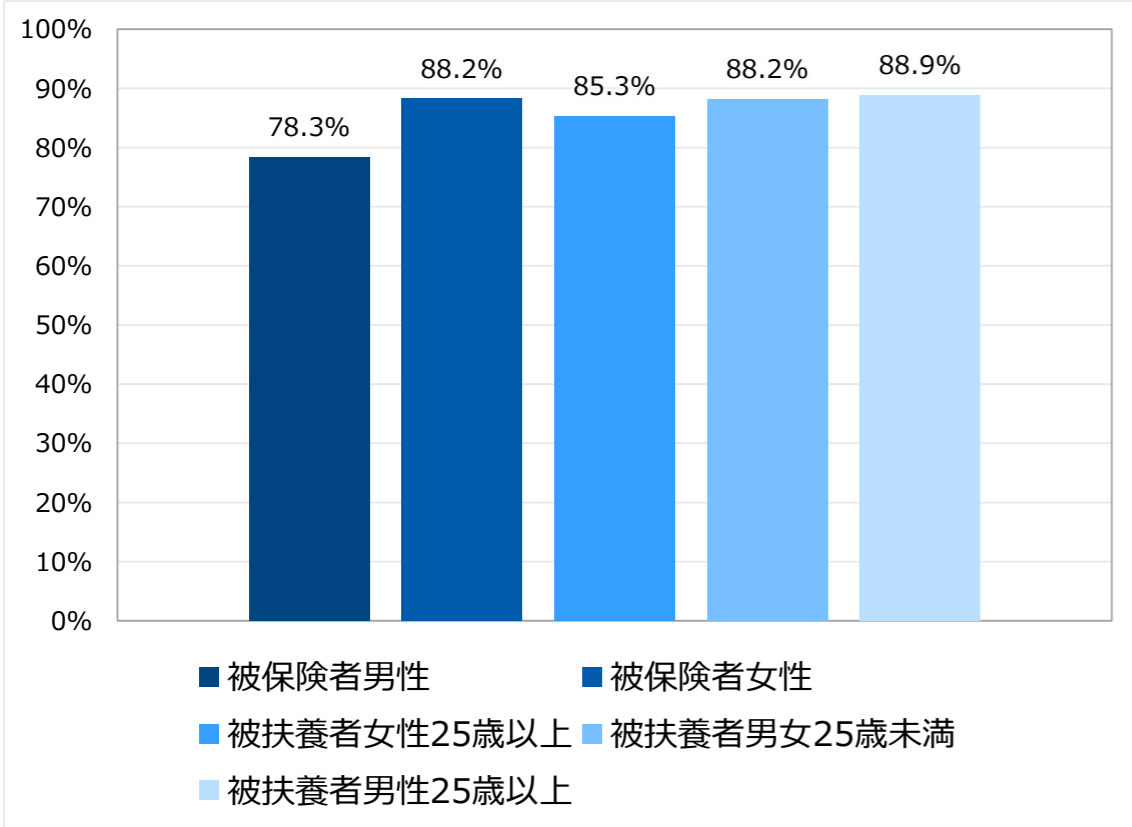
対象範囲	年度	2021	在籍区分	通年在籍者	被扶区分	被保険者・被扶養者	年齢	全年齢	他要件	-
------	----	------	------	-------	------	-----------	----	-----	-----	---

1-3.医療費の分析

(5)資格カテゴリ別の医療費分析（医療費の分布）

【資格カテゴリ別の医療機関受療率】

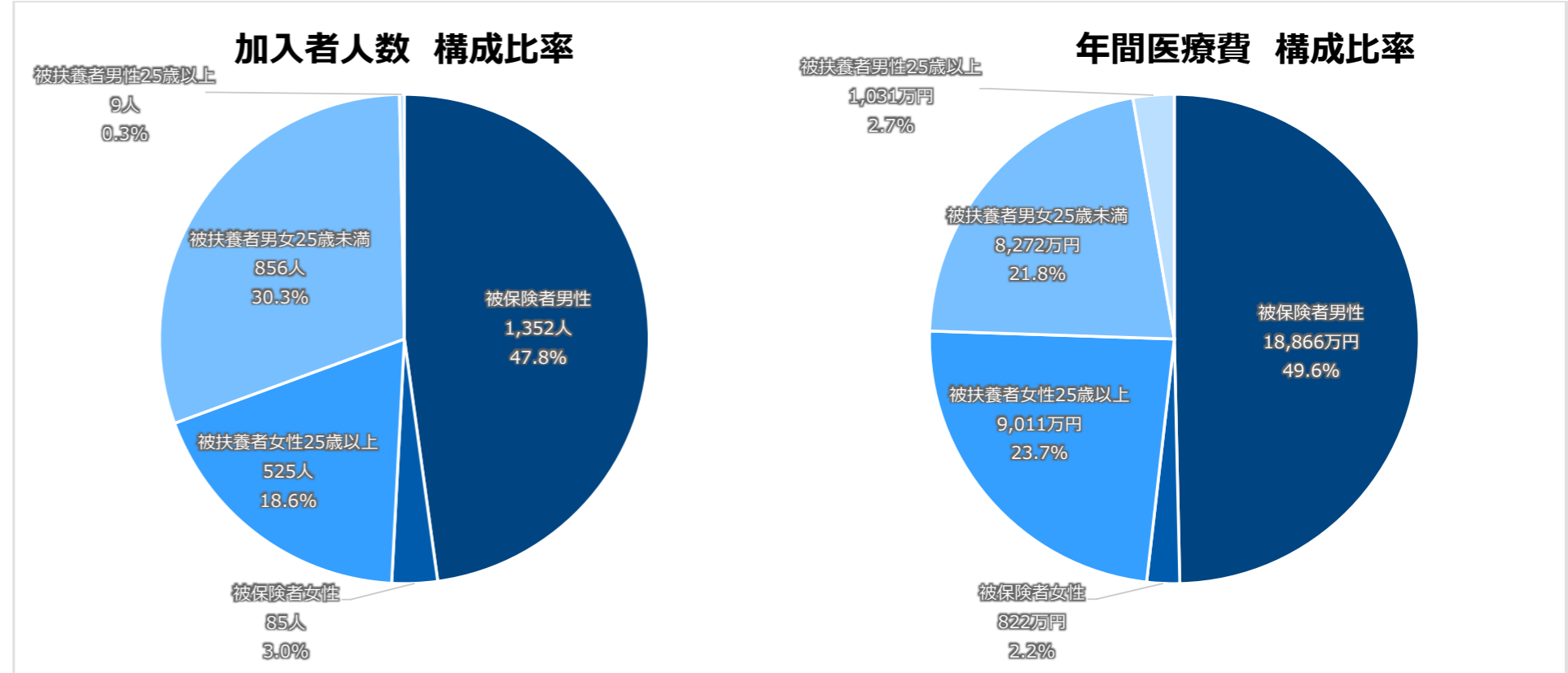
図表[1-3]12



【資格カテゴリ別の人数構成と医療費構成】

図表[1-3]13

図表[1-3]14



資格カテゴリ	加入者数	構成比	受療者数	受療率
被保険者男性	1,352人	47.8%	1,059人	78.3%
被保険者女性	85人	3.0%	75人	88.2%
被扶養者女性25歳以上	525人	18.6%	448人	85.3%
被扶養者男女25歳未満	856人	30.3%	755人	88.2%
被扶養者男性25歳以上	9人	0.3%	8人	88.9%
全体	2,827人	100.0%	2,345人	83.0%
被保険者計	1,437人	50.8%	1,134人	78.9%
被扶養者計	1,390人	49.2%	1,211人	87.1%

資格カテゴリ	年間医療費総計	構成比	加入者 一人当たり医療費	受療者 一人当たり医療費
被保険者男性	18,866万円	49.6%	139,540円	178,147円
被保険者女性	822万円	2.2%	96,730円	109,627円
被扶養者女性25歳以上	9,011万円	23.7%	171,640円	201,141円
被扶養者男女25歳未満	8,272万円	21.8%	96,637円	109,565円
被扶養者男性25歳以上	1,031万円	2.7%	1,145,101円	1,288,239円
全体	38,002万円	100.0%	134,425円	162,055円
被保険者計	19,688万円	51.8%	137,008円	173,616円
被扶養者計	18,314万円	48.2%	131,754円	151,229円

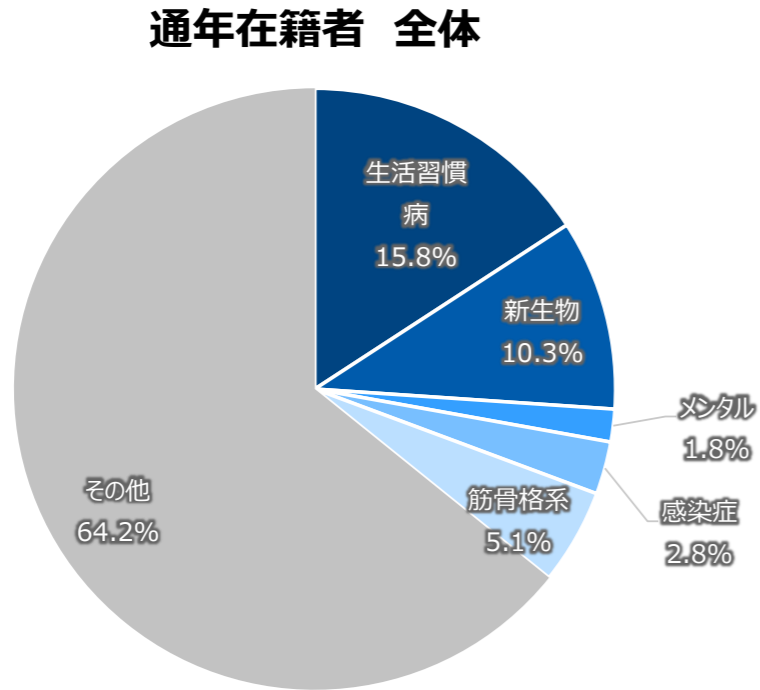
対象範囲 年度 2021 在籍区分 通年在籍者 被扶区分 被保険者・被扶養者 年齢 全年齢 他要件 疑い病名と、歯科レセプトは含まず

1-3.医療費の分析

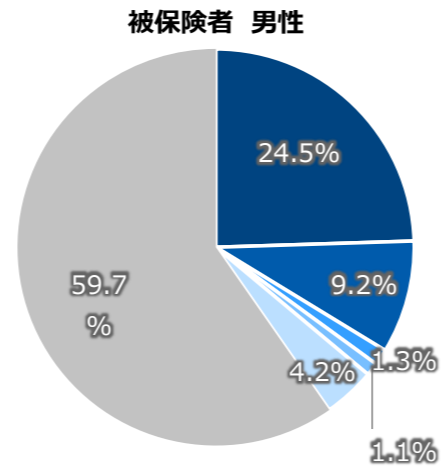
(5)資格カテゴリ別の医療費分析（医療費の内訳）

【資格カテゴリ別の疾病区分別医療費の構成】

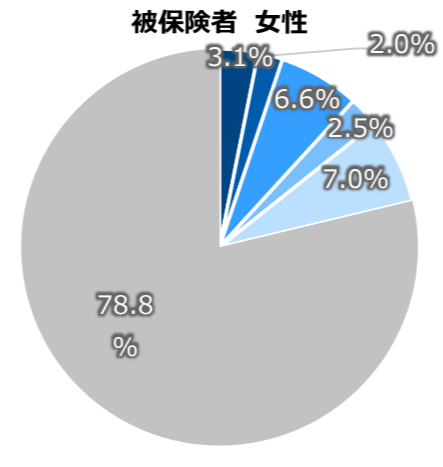
図表[1-3]15



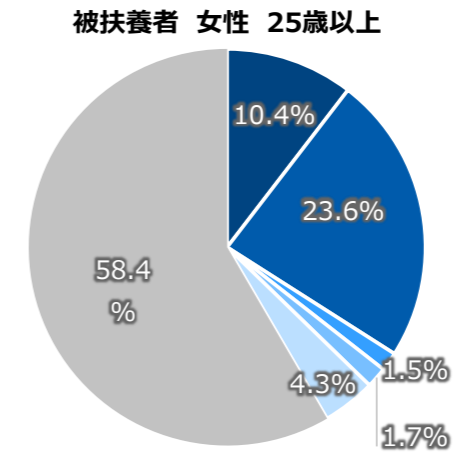
図表[1-3]16



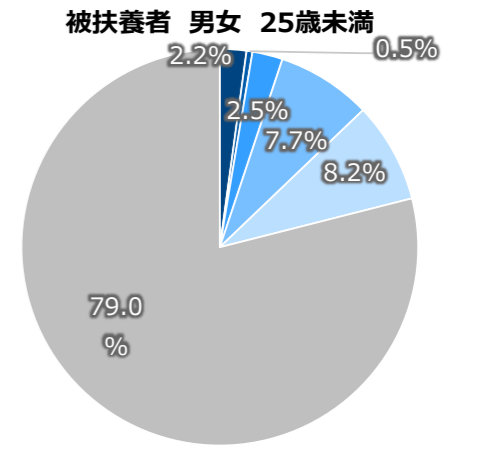
図表[1-3]17



図表[1-3]18



図表[1-3]19



■生活習慣病 ■新生物 ■メンタル ■感染症 ■筋骨格系 ■その他

資格カテゴリ	加入者数	医療費							1人当たり医療費						
		生活習慣病	新生物	メンタル	感染症	筋骨格系	その他	総計	生活習慣病	新生物	メンタル	感染症	筋骨格系	その他	総計
被保険者男性	1,352人	5,988万円	2,253万円	321万円	259万円	1,033万円	14,588万円	24,440万円	44,288円	16,664円	2,371円	1,912円	7,640円	107,897円	180,772円
被保険者女性	85人	38万円	24万円	80万円	30万円	84万円	951万円	1,207万円	4,448円	2,870円	9,426円	3,549円	9,887円	111,854円	142,035円
被扶養者女性 25歳以上	525人	1,200万円	2,716万円	177万円	195万円	500万円	6,721万円	11,509万円	22,857円	51,736円	3,373円	3,711円	9,522円	128,020円	219,219円
被扶養者男女 25歳未満	856人	236万円	53万円	271万円	846万円	897万円	8,647万円	10,951万円	2,762円	617円	3,169円	9,886円	10,478円	101,020円	127,932円
被扶養者男性 25歳以上	9人	322万円	0万円	16万円	67万円	13万円	693万円	1,111万円	357,400円	503円	17,429円	74,299円	14,144円	770,123円	1,233,898円
全体	2,827人	7,784万円	5,047万円	865万円	1,397万円	2,527万円	31,600万円	49,218万円	27,533円	17,852円	3,059円	4,940円	8,937円	111,779円	174,100円
被保険者計	1,437人	6,026万円	2,277万円	401万円	289万円	1,117万円	15,538万円	25,648万円	41,932円	15,848円	2,788円	2,009円	7,773円	108,131円	178,480円
被扶養者計	1,390人	1,758万円	2,769万円	464万円	1,108万円	1,410万円	16,061万円	23,571万円	12,648円	19,924円	3,339円	7,971円	10,141円	115,550円	169,572円

「疾病区分」とは、TdRが独自に区分した5分類（生活習慣病・新生物・メンタル・感染症・筋骨格系）を指します。詳細につきましては、データ分析定義集：定義09「疾病区分」をご参照ください。

対象範囲	年度	2021	在籍区分	通年在籍者	被扶区分	被保険者・被扶養者	年齢	全年齢	他要件	疑い病名と、歯科レセプトは含まず
------	----	------	------	-------	------	-----------	----	-----	-----	------------------

1-3.医療費の分析

(6)重複受診の状況

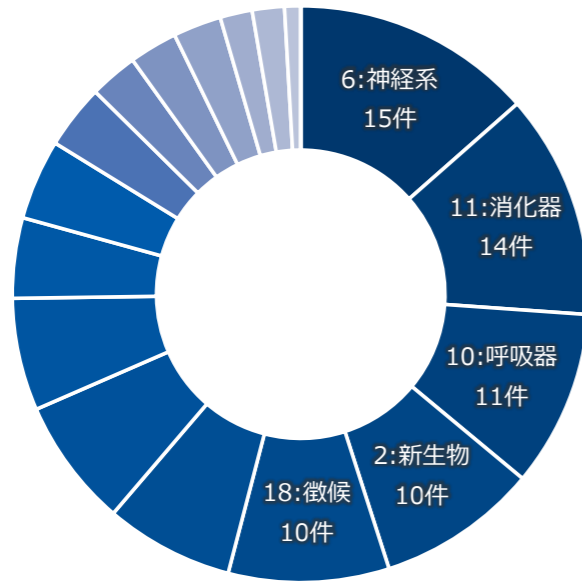
【疾病大分類別重複受診件数】

受診件数：単月内での同名疾病による受診件数をカウントしたものです。

(例) 感染症による受診が4月に1回、5月に2回、6月に1回の人が出た場合、受診件数「1」が2件、受診件数「2」が1件とカウントされます。

図表[1-3]20

3回以上の重複受診件数



疾病大分類	1回以上の受診件数		3回以上の重複受診件数	
	件数	割合	件数	割合
6:神経系	2,095		15	0.7%
11:消化器	5,947		14	0.2%
10:呼吸器	7,987		11	0.1%
2:新生物	1,767		10	0.6%
18:徴候	2,294		10	0.4%
12:皮膚	4,639		8	0.2%
14:腎尿	1,803		8	0.4%
19:損傷	1,308		7	0.5%
4:内分泌	5,909		5	0.1%
7:眼	3,563		5	0.1%
13:筋骨格	4,984		4	0.1%
1:感染症	2,187		3	0.1%
8:耳	1,071		3	0.3%
9:循環器	4,803		3	0.1%
3:血液	993		2	0.2%
5:精神	2,196		2	0.1%
16:周産期	75		1	1.3%
15:妊娠	105		0	0.0%
17:先天奇形	243		0	0.0%

【疾病大分類別重複受診回数 重複件数毎の詳細】

疾病大分類	受診件数											合計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10以上		
1:感染症	2,124	60	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2,187
2:新生物	1,664	93	10	0	0	0	0	0	0	0	0	1,767
3:血液	968	23	2	0	0	0	0	0	0	0	0	993
4:内分泌	5,676	228	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5,909
5:精神	2,125	69	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2,196
6:神経系	1,913	167	14	1	0	0	0	0	0	0	0	2,095
7:眼	3,445	113	5	0	0	0	0	0	0	0	0	3,563
8:耳	1,046	22	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1,071
9:循環器	4,657	143	3	0	0	0	0	0	0	0	0	4,803
10:呼吸器	7,674	302	11	0	0	0	0	0	0	0	0	7,987
11:消化器	5,732	201	12	2	0	0	0	0	0	0	0	5,947
12:皮膚	4,438	193	8	0	0	0	0	0	0	0	0	4,639
13:筋骨格	4,821	159	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4,984
14:腎尿	1,708	87	7	1	0	0	0	0	0	0	0	1,803
15:妊娠	93	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	105
16:周産期	69	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	75
17:先天奇形	216	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	243
18:徴候	2,150	134	9	1	0	0	0	0	0	0	0	2,294
19:損傷	1,230	71	7	0	0	0	0	0	0	0	0	1,308

(件)

対象範囲 年度 2021 在籍区分 通年在籍者 被扶区分 被保険者・被扶養者 年齢 全年齢 他要件

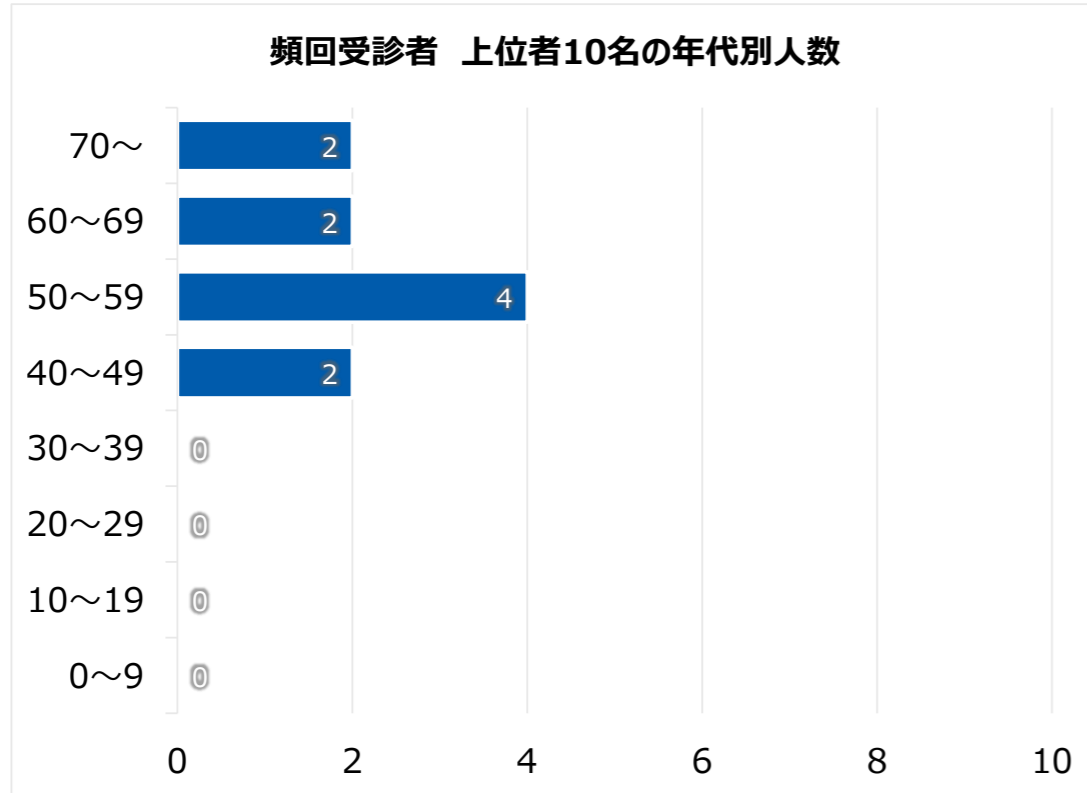
1-3.医療費の分析

(7)頻回受診の状況

【頻回受診上位者10名の月別診療実日数】

頻回受診上位者：2021年度の総受診日数を算出し、上位10名の状況を出力したものです。

図表[1-3]21



【頻回受診者の基本情報・診療実日数合計】

No	性別	被保／被扶	年齢	合計
1	男性	被保	58歳	166日
2	男性	被保	49歳	160日
3	女性	被扶	70歳	153日
4	男性	被保	56歳	130日
5	男性	被保	47歳	128日
6	男性	被保	53歳	117日
7	男性	被扶	74歳	103日
8	女性	被扶	62歳	90日
9	男性	被保	64歳	89日
10	男性	被保	56歳	87日

【月別受診回数の詳細】

(日)

No	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	0	2	2	1	4	25	24	25	26	20	17	20	166
2	13	13	13	14	14	13	13	14	14	13	13	13	160
3	12	14	13	12	12	13	13	14	10	13	12	15	153
4	19	10	14	13	9	12	10	9	5	8	10	11	130
5	17	13	20	15	14	11	12	10	11	4	1	0	128
6	20	18	22	17	11	5	5	3	2	4	5	5	117
7	4	13	16	18	15	7	6	7	3	5	6	3	103
8	9	8	8	8	8	7	8	9	8	5	5	7	90
9	2	7	4	2	2	7	17	10	9	11	10	8	89
10	11	6	8	9	5	6	7	6	10	4	8	7	87

対象範囲 年度 2021 在籍区分 通年在籍者 被扶区分 被保険者・被扶養者 年齢 全年齢 他要件 -

1-3.医療費の分析

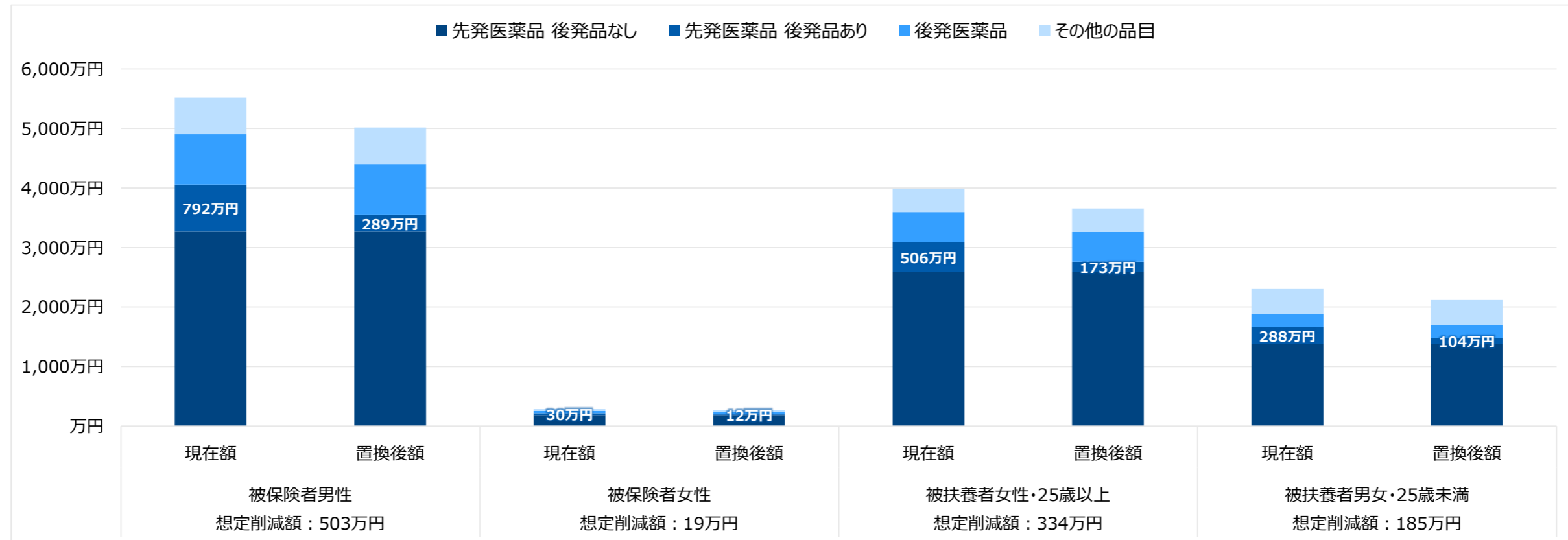
(8)ジェネリック医薬品使用状況

【カテゴリ別 ジェネリック置換期待効果額】

資格カテゴリ	現在の金額と ジェネリック置換後の金額	先発医薬品		後発医薬品	その他の品目	合計
		後発品なし	後発品あり			
被保険者男性	現在額	3,266万円	792万円	845万円	617万円	5,520万円
	置換後額	3,266万円	289万円	845万円	617万円	5,017万円
被保険者女性	現在額	184万円	30万円	39万円	30万円	284万円
	置換後額	184万円	12万円	39万円	30万円	265万円
被扶養者女性・25歳以上	現在額	2,587万円	506万円	501万円	395万円	3,989万円
	置換後額	2,587万円	173万円	501万円	395万円	3,656万円
被扶養者男女・25歳未満	現在額	1,380万円	288万円	215万円	419万円	2,302万円
	置換後額	1,380万円	104万円	215万円	419万円	2,117万円
総計	現在額	7,417万円	1,617万円	1,601万円	1,461万円	12,096万円
	置換後額	7,417万円	577万円	1,601万円	1,461万円	11,056万円
	削減可能金額	0万円	1,040万円	0万円	0万円	1,040万円

※「被扶養者 男性 25歳以上」は金額が少ないため割愛しています。

【後発品がある先発医薬品置換想定時の医薬品額の推移】



図表[1-3]22

※想定削減額は「先発医薬品(後発品あり)」を全て「後発医薬品(薬価の高いものを採用)」に置き換えた場合の金額です。

※「被扶養者 男性 25歳以上」は金額が少ないため割愛しています。

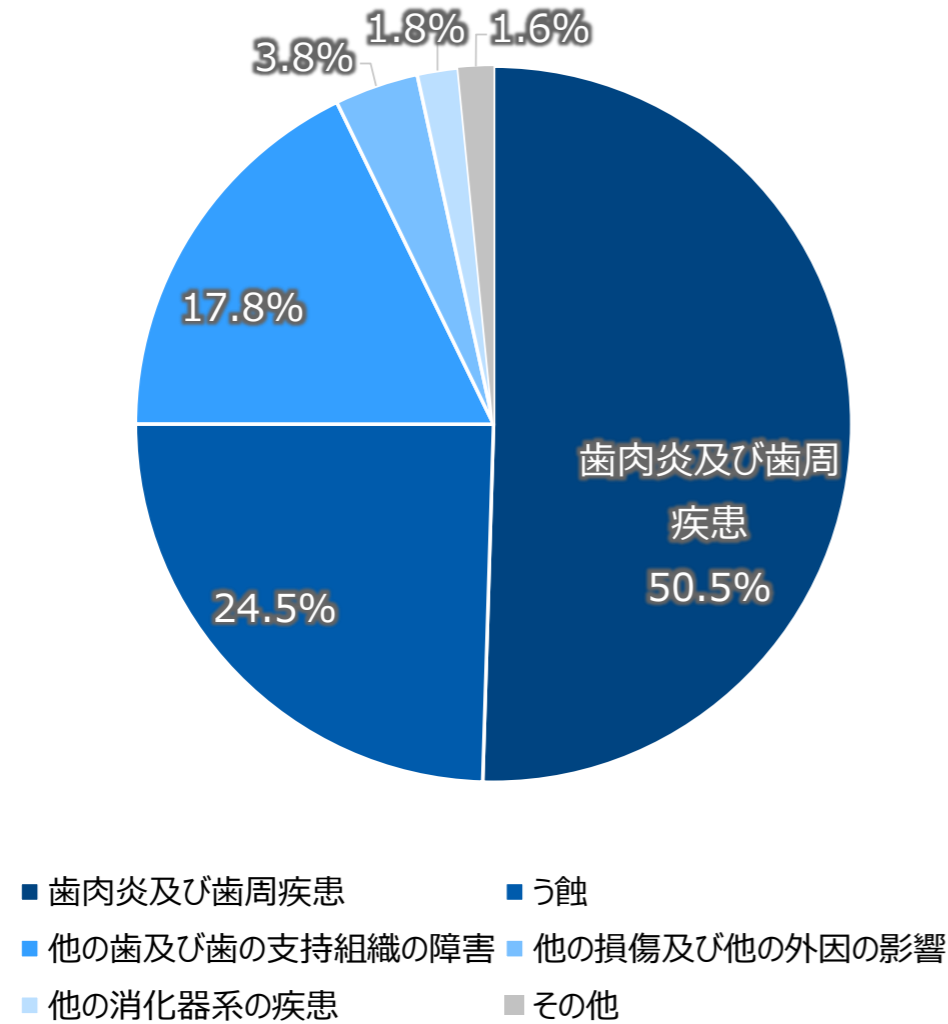
対象範囲	年度	2021	在籍区分	通年在籍者	被扶区分	被保険者・被扶養者	年齢	全年齢	他要件
------	----	------	------	-------	------	-----------	----	-----	-----

1-3.医療費の分析

(9)歯科レセプトの状況

【疾病中分類名称とレセプト件数】

図表[1-3]23



疾病中分類コード	疾病中分類名称	レセプト件数
1102	歯肉炎及び歯周疾患	4,586
1101	う蝕	2,228
1103	他の歯及び歯の支持組織の障害	1,615
1905	他の損傷及び他の外因の影響	344
1113	他の消化器系の疾患	168
505	神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	67
1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	36
211	良性新生物及び他の新生物	19
106	他のウイルス疾患	3
210	他の悪性新生物	3
901	高血圧性疾患	3
606	他の神経系の疾患	2
1007	慢性副鼻腔炎	2
1011	他の呼吸器系の疾患	2
1702	他の先天奇形, 変形及び染色体異常	2
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	1
1901	骨折	1
2220	その他の特殊目的用コード	1

(件)

[XI] 消化器系の疾患 (K00-K93)		
疾病中分類コード	疾病中分類項目	分類項目に含まれる主な疾患
1101	う蝕 (K02)	う蝕 (むしば)
1102	歯肉炎及び歯周疾患 (K05)	(急性・慢性) 歯肉炎, (急性・慢性) 歯周炎, 歯周症
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害 (K00-K01, K03-K04, K06-K08)	歯の発育及び萌出の障害 (無歯症, 過剰歯, 斑状歯), 埋伏歯, 歯石, 歯肉縁上歯石, (急性・慢性) 歯髄炎, 化膿性歯髄炎, 歯根のう胞, 歯肉腫張, 大顎症, 小顎 症, 不正咬合, 顎関節障害, 不正咬合を含む, 歯・顎・顔面の異常, 歯の位置異常

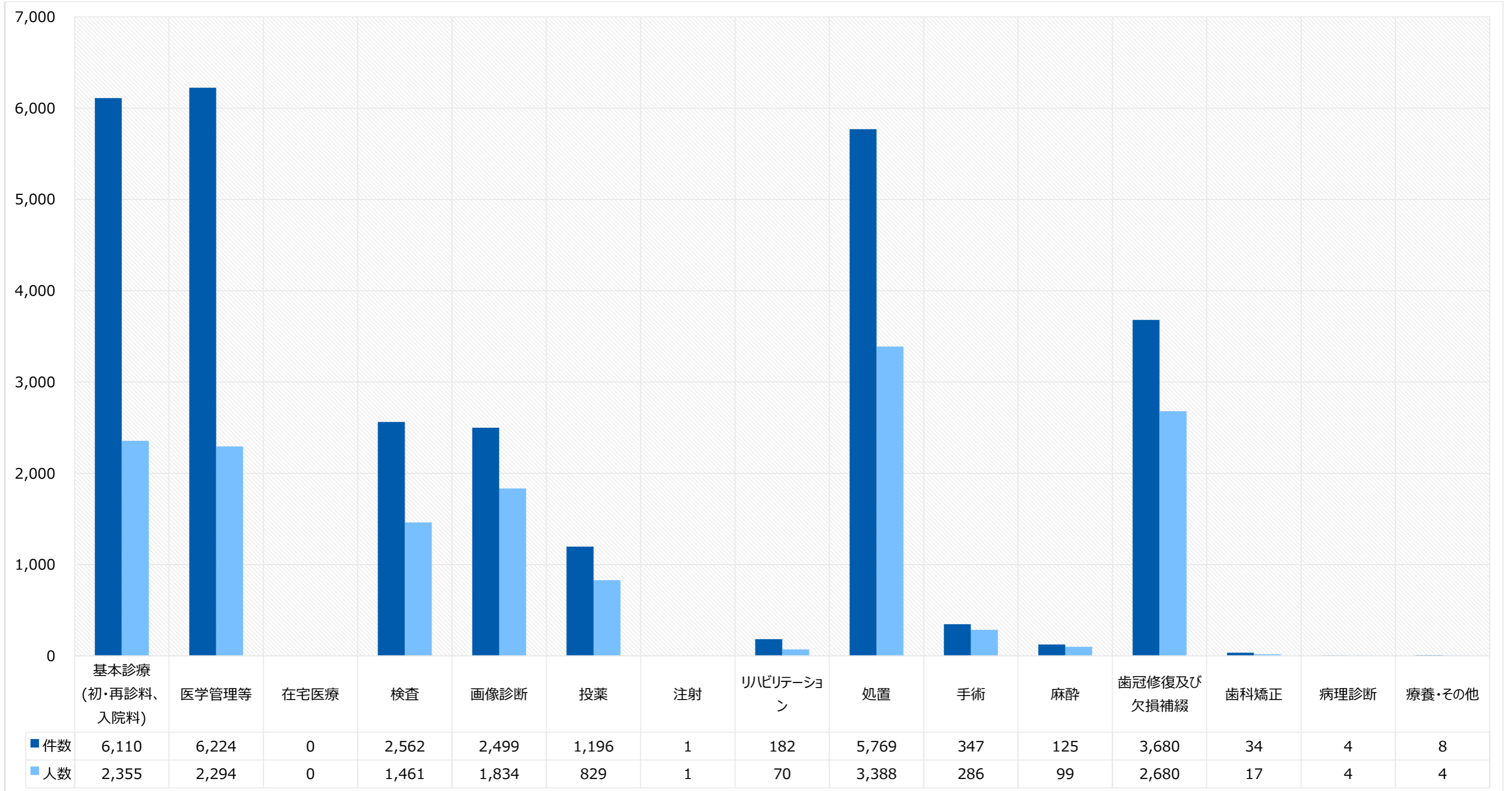
対象範囲	年度	2021	在籍区分	通年在籍者	被扶区分	被保険者・被扶養者	年齢	全年齢	他要件	-
------	----	------	------	-------	------	-----------	----	-----	-----	---

1-3.医療費の分析

(9)歯科レセプトの状況

【診療行為の集計】

図表[1-3]24



対象範囲	年度	2021	在籍区分	通年在籍者	被扶区分	被保険者・被扶養者	年齢	全年齢	他要件	-
------	----	------	------	-------	------	-----------	----	-----	-----	---

1-3.医療費の分析

(9)歯科レセプトの状況

【全対象者の歯科処置件数】

(件)

No	処置	被保険者	被扶養者
1	抜歯（乳歯）	0	68
2	抜歯（前歯）	18	6
3	抜歯（臼歯）	180	49
4	抜歯（難）	0	0
5	抜歯（埋）	34	16
6	抜髄（単根管）	46	7
7	ヘミセクション	2	2
8	歯根嚢胞摘出手術（歯冠大）	12	0
9	歯の移植手術	0	0
10	早期抜髄（AIPC後3月以内）（単根管）	0	0
11	感染根処（単根管）	52	5
12	根充（単根管）	86	10
13	う蝕	220	62
14	咬調（1歯以上10歯未満）	120	25
15	歯の削合（1歯以上10歯未満）	0	0
16	歯冠形態修正（10歯以上）	0	0
17	AIPC	0	0
18	知覚過敏（3歯まで）	112	35
19	サホ塗布（3歯まで）	0	44
20	シーラント	0	139
21	生切	0	2
22	歯科ドレーン法（ドレナージ）	0	0
23	抜髄即充（単根管）	0	0
24	感根即充（単根管）	8	1
25	F局（う蝕多発傾向者）	0	4
26	P処	40	7
27	スケーリング	1,466	900
28	SRP（前歯）	606	152
29	SRP（小臼歯）	788	187
30	SRP（大臼歯）	802	191
31	PCur（前歯）	6	2
32	PCur（小臼歯）	12	3
33	PCur（大臼歯）	14	4
34	SPT（20歯以上）	58	22
35	暫間固定（簡単）	30	5
36	歯周治療用装置（冠）	6	0

No	処置	被保険者	被扶養者
37	除去（簡単）	176	43
38	除去（困難）	164	25
39	心身医学療法（入院）	0	0
40	鼻腔栄養	0	0
41	酸素吸入	0	0
42	高気圧酸素治療	0	0
43	人工呼吸（30分まで）	0	0
44	30分超加算（人工呼吸）	0	0
45	人工呼吸（5時間超）	0	0
46	歯肉、歯槽部腫瘍手術（エプーリス含む）（軟組織に限局するもの）	0	0
47	顎堤形成術（簡単）	0	0
48	口腔内消炎手術（智歯周囲炎の歯肉弁切除等）	2	1
49	口腔底膿瘍切開術	0	0
50	舌腫瘍摘出術（粘液嚢胞摘出術）	0	0
51	舌悪性腫瘍手術（切除）	0	0
52	口蓋腫瘍摘出術（口蓋粘膜）	0	0
53	顎・口蓋裂形成手術（軟口蓋）	0	0
54	鼻咽腔閉鎖術	0	0
55	腐骨除去手術（歯槽部）	0	0
56	がま腫切開術	2	0
57	顎下腺悪性腫瘍手術	0	0
58	耳下腺腫瘍摘出術（耳下腺浅葉摘出術）	0	0
59	掻爬術	16	2
60	新付着手術	2	0
61	G E c t	2	1
62	F O p	2	1
63	自家骨移植術（簡単）	0	0
64	顎関節形成術	0	0
65	歯科インプラント摘出術（人工歯根タイプ）	0	0
66	リンパ節摘出術（長径3cm未満）	0	0
67	分層植皮術（25cm2未満）	0	0
68	皮膚移植術（生体・培養）	0	0
69	神経移植術	0	0
70	装着（欠損補綴（有床義歯（少数歯欠損）））	44	15
71	装着（睡眠時無呼吸症候群治療用床副子）	0	0
72	（材）歯冠修復物（歯科用合着・接着材料1・レジン系）	0	0

No	処置	被保険者	被扶養者
73	（材）銀錫アマルガム（単）	0	0
74	金属歯冠修復（インレー（単純））	8	1
75	ボンティック	58	13
76	有床義歯（局部義歯（1歯～4歯））	26	6
77	（材）鑄造鉤（14K（双子鉤（大・小臼歯）））	0	0
78	初診	1,458	932
79	乳（初診）	0	0
80	時間外（初診）	0	0
81	休日（初診）	0	0
82	深夜（初診）	0	0
83	電話等再診	0	1
84	一般病棟7対1入院基本料	0	2
85	専門病院7対1入院基本料	0	0
86	難病患者等入院診療加算	0	0
87	二類感染症患者入院診療加算	0	0
88	超重症児（者）入院診療加算（6歳未満）	0	0
89	H I V感染者療養環境特別加算（個室）	0	0
90	肺血栓塞栓症予防管理料	0	1
91	介護支援連携指導料	0	0
92	がん治療連携指導料	0	0
93		0	0
94		0	0
95		0	0
96		0	0
97		0	0
98		0	0
99		0	0
100		0	0
101		0	0
102		0	0
103		0	0
104		0	0
105		0	0
106		0	0
107		0	0
108		0	0

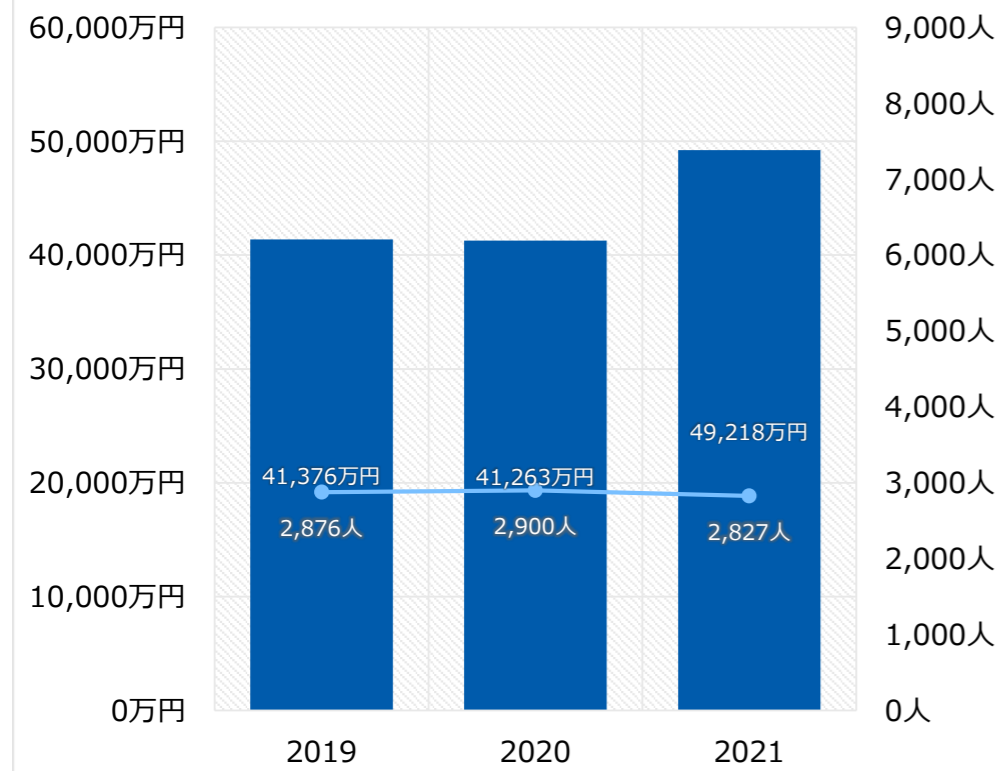
対象範囲	年度	2021	在籍区分	通年在籍者	被扶区分	被保険者・被扶養者	年齢	全年齢	他要件	-
------	----	------	------	-------	------	-----------	----	-----	-----	---

1-3.医療費の分析

(10) 医療費の経年比較

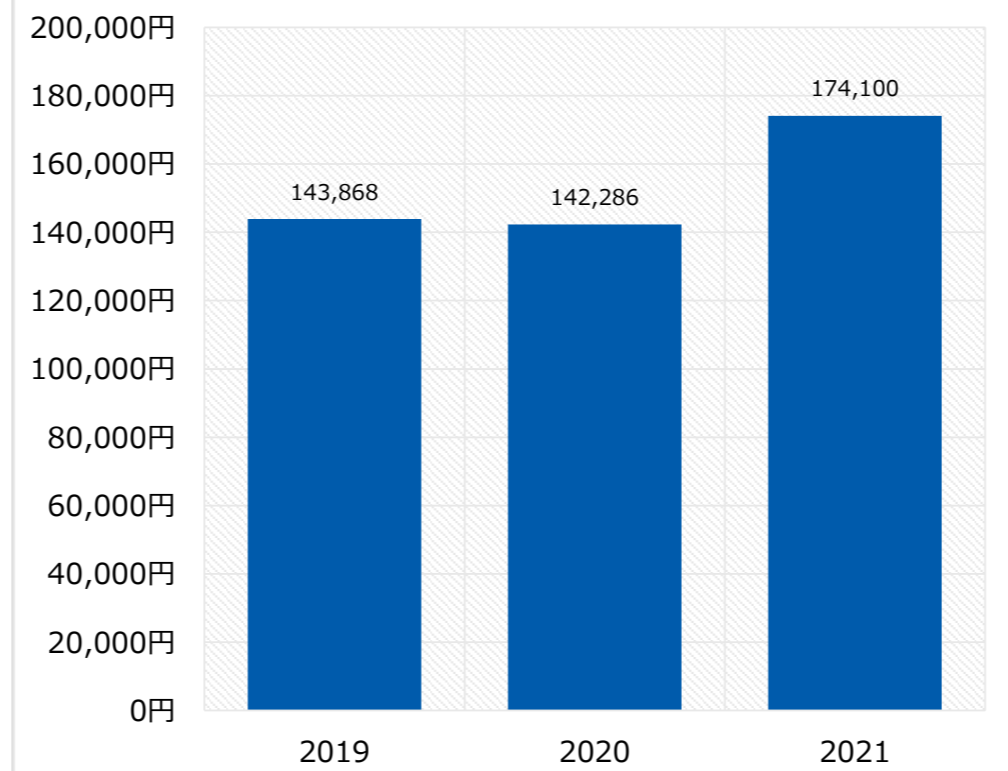
レセプト金額の推移（全体）

図表[1-3]25



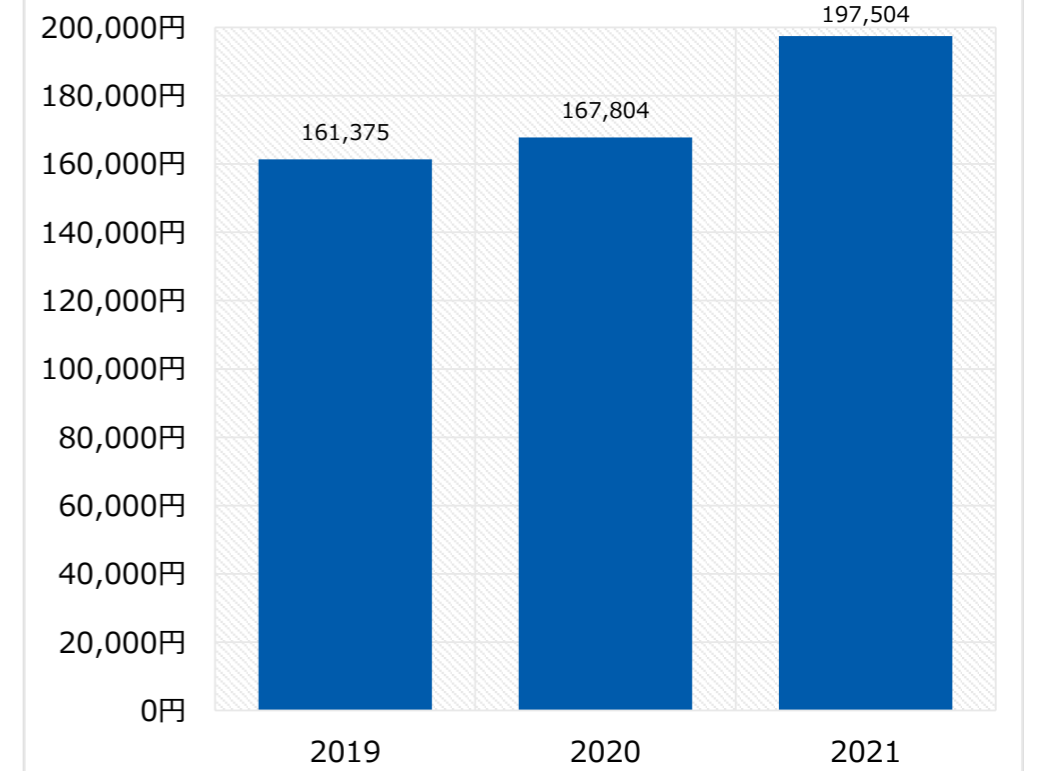
加入者一人当たり医療費の推移（全体）

図表[1-3]26



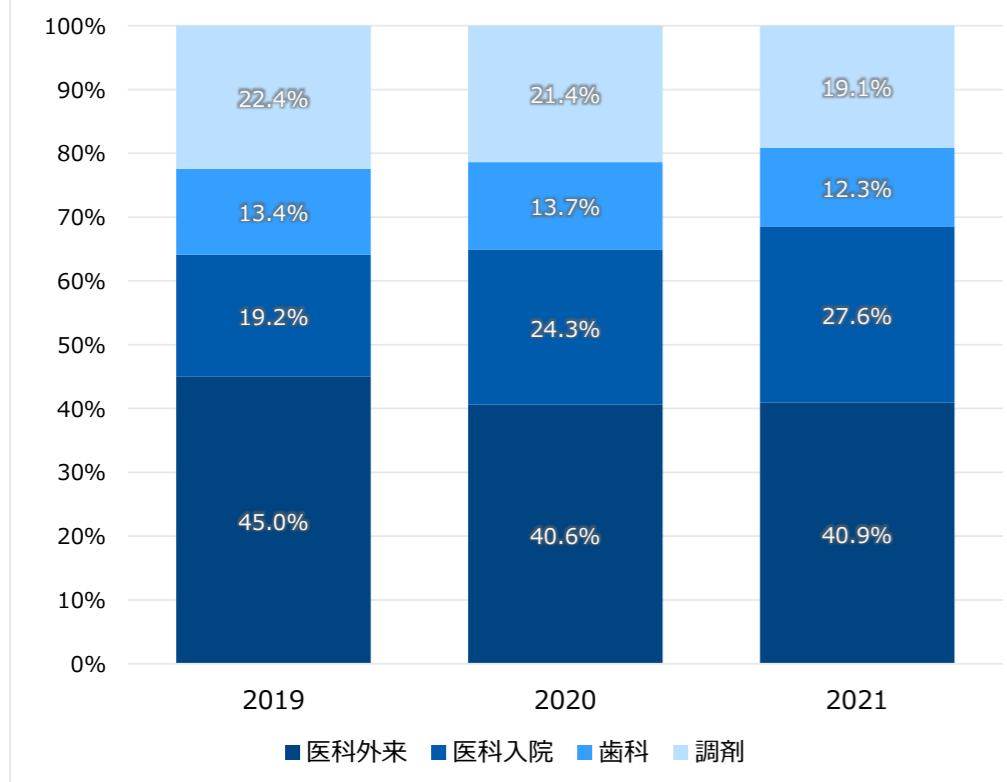
患者一人当たり（受診あり）医療費の推移（全体）

図表[1-3]27



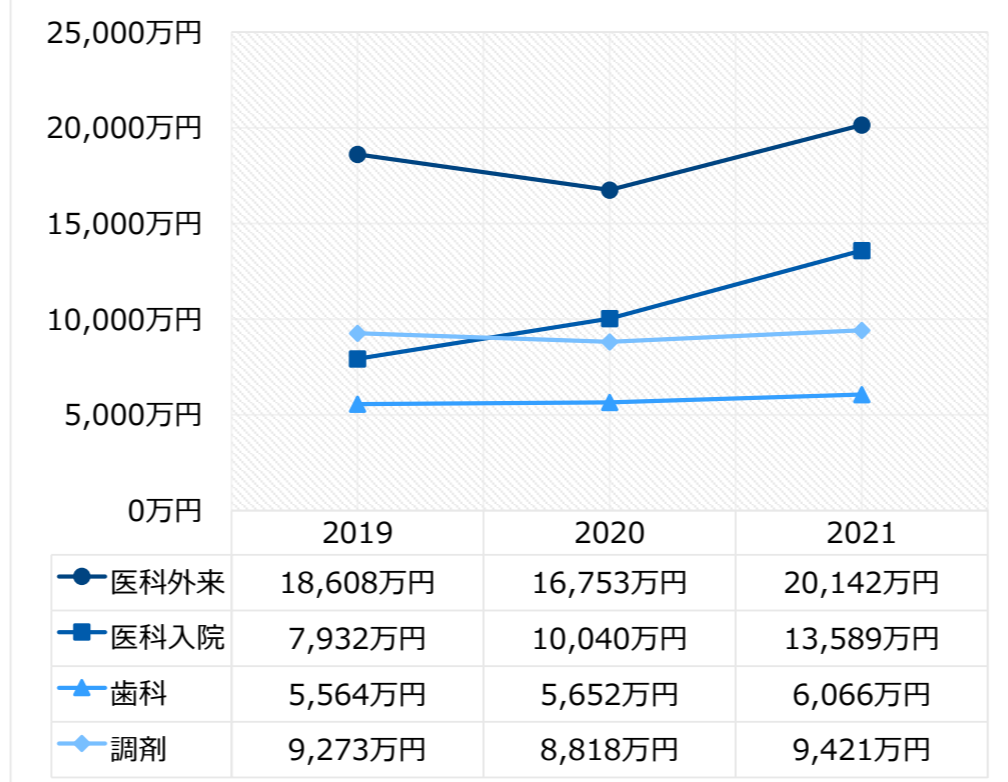
レセプト金額の診療区分別割合

図表[1-3]28



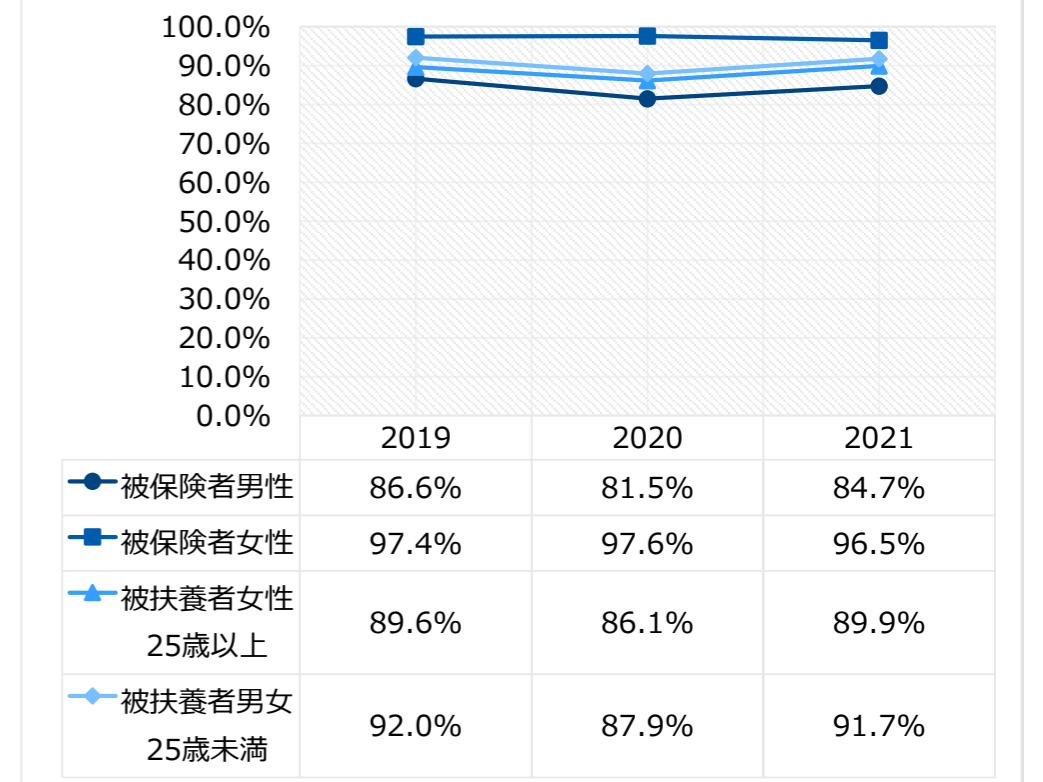
レセプト金額の推移（診療区分別）

図表[1-3]29



受療率（資格カテゴリ別）

図表[1-3]30



※医科入院の金額内にDPCを含みます

※医科入院の金額内にDPCを含みます

※「被扶養者 男性 25歳以上」はデータが少ないため割愛しております

対象範囲	年度	2019~2021	在籍区分	通年在籍者	被扶区分	被保険者・被扶養者	年齢	全年齢	他要件
									-

1-3.医療費の分析

(11) 疾病区分別の医療費

【資格カテゴリ別の疾病区分別医療費の構成 [通年在籍者]】 ※一人当たり医療費での経年比較を算出しています。

【2019年度 被保険者のレセプト金額】

資格カテゴリ	加入者数	生活習慣病	新生物	メンタル	感染症	筋骨格系	その他	カテゴリ計
被保険者男性	1,344人	32,375円	4,882円	1,930円	3,272円	8,978円	89,386円	140,823円
被保険者女性	78人	15,984円	5,158円	7,841円	6,236円	3,890円	92,858円	131,967円
被扶養者女性 25歳以上	567人	26,464円	25,084円	3,232円	4,501円	9,877円	117,494円	186,652円
被扶養者男女 25歳未満	877人	6,530円	631円	2,172円	13,999円	3,972円	85,115円	112,419円
被扶養者男性 25歳以上	10人	5,097円	0円	6,237円	213,067円	55,403円	698,418円	978,222円
全体	2,876人	22,789円	7,559円	2,436円	7,595円	7,652円	95,837円	143,868円
被保険者計	1,422人	31,476円	4,897円	2,254円	3,434円	8,699円	89,576円	140,337円
被扶養者計	1,454人	14,294円	10,162円	2,613円	11,664円	6,629円	101,960円	147,321円

【2020年度 被保険者のレセプト金額】

資格カテゴリ	加入者数	生活習慣病	新生物	メンタル	感染症	筋骨格系	その他	カテゴリ計
被保険者男性	1,371人	37,840円	6,835円	2,392円	1,652円	5,024円	97,649円	151,392円
被保険者女性	83人	7,143円	2,883円	6,436円	2,565円	3,124円	111,232円	133,383円
被扶養者女性 25歳以上	555人	19,099円	33,026円	3,214円	2,317円	10,004円	104,314円	171,975円
被扶養者男女 25歳未満	878人	5,145円	429円	2,277円	7,337円	4,455円	79,652円	99,294円
被扶養者男性 25歳以上	13人	24,601円	0円	12,256円	127,812円	1,911円	708,293円	874,872円
全体	2,900人	23,417円	9,764円	2,675円	4,092円	5,736円	96,602円	142,286円
被保険者計	1,454人	36,088円	6,610円	2,623円	1,704円	4,916円	98,424円	150,364円
被扶養者計	1,446人	10,676円	12,936円	2,727円	6,493円	6,562円	94,769円	134,163円

【2021年度 被保険者のレセプト金額】

資格カテゴリ	加入者数	生活習慣病	新生物	メンタル	感染症	筋骨格系	その他	カテゴリ計
被保険者男性	1,352人	44,288円	16,664円	2,371円	1,912円	7,640円	107,897円	180,772円
被保険者女性	85人	4,448円	2,870円	9,426円	3,549円	9,887円	111,854円	142,035円
被扶養者女性 25歳以上	525人	22,857円	51,736円	3,373円	3,711円	9,522円	128,020円	219,219円
被扶養者男女 25歳未満	856人	2,762円	617円	3,169円	9,886円	10,478円	101,020円	127,932円
被扶養者男性 25歳以上	9人	357,400円	503円	17,429円	74,299円	14,144円	770,123円	1,233,898円
全体	2,827人	27,533円	17,852円	3,059円	4,940円	8,937円	111,779円	174,100円
被保険者計	1,437人	41,932円	15,848円	2,788円	2,009円	7,773円	108,131円	178,480円
被扶養者計	1,390人	12,648円	19,924円	3,339円	7,971円	10,141円	115,550円	169,572円

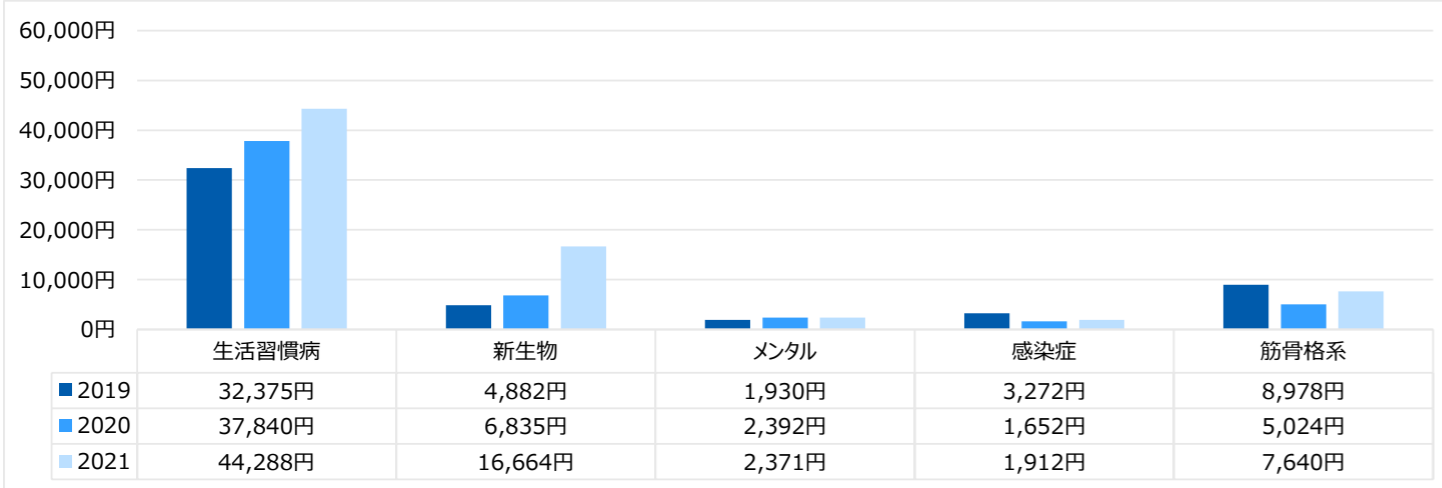
対象範囲	年度	2019~2021	在籍区分	通年在籍者	被扶区分	被保険者・被扶養者	年齢	全年齢	他要件	-
------	----	-----------	------	-------	------	-----------	----	-----	-----	---

1-3.医療費の分析

(11) 疾病区分別の医療費

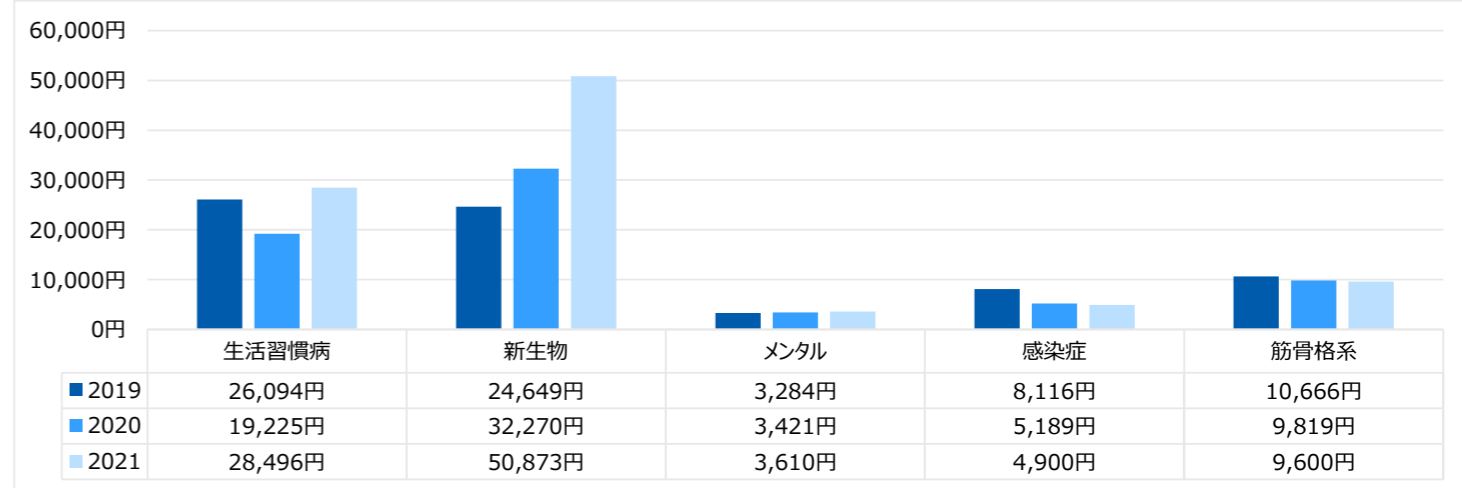
【被保険者男性のレセプト金額の推移】

図表[1-3]31



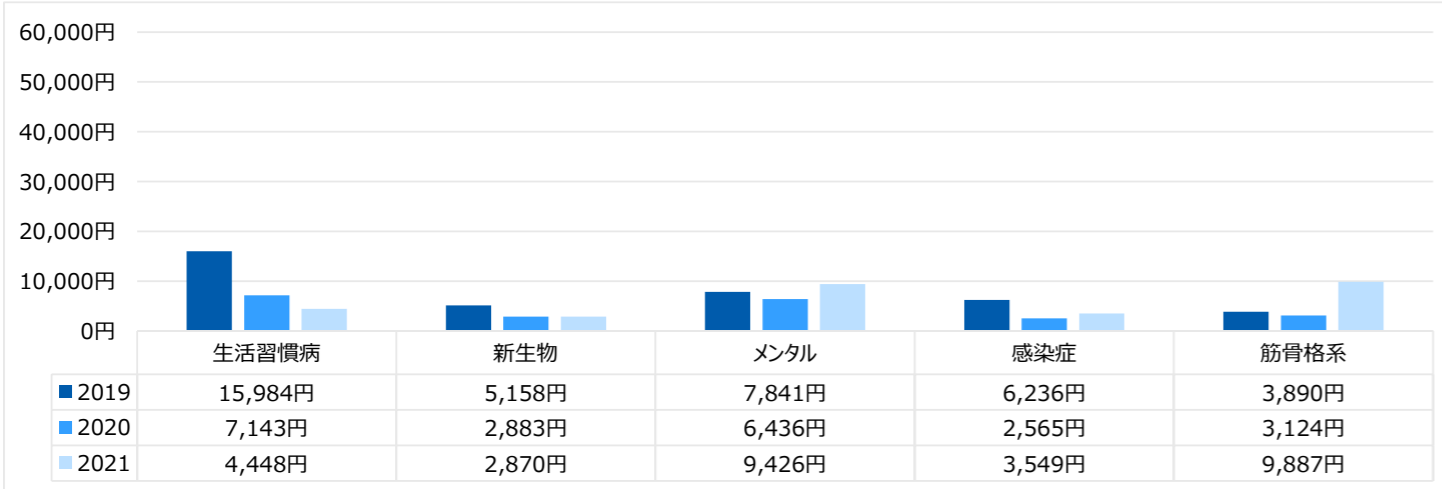
【被扶養者 25歳以上のレセプト金額の推移】

図表[1-3]34



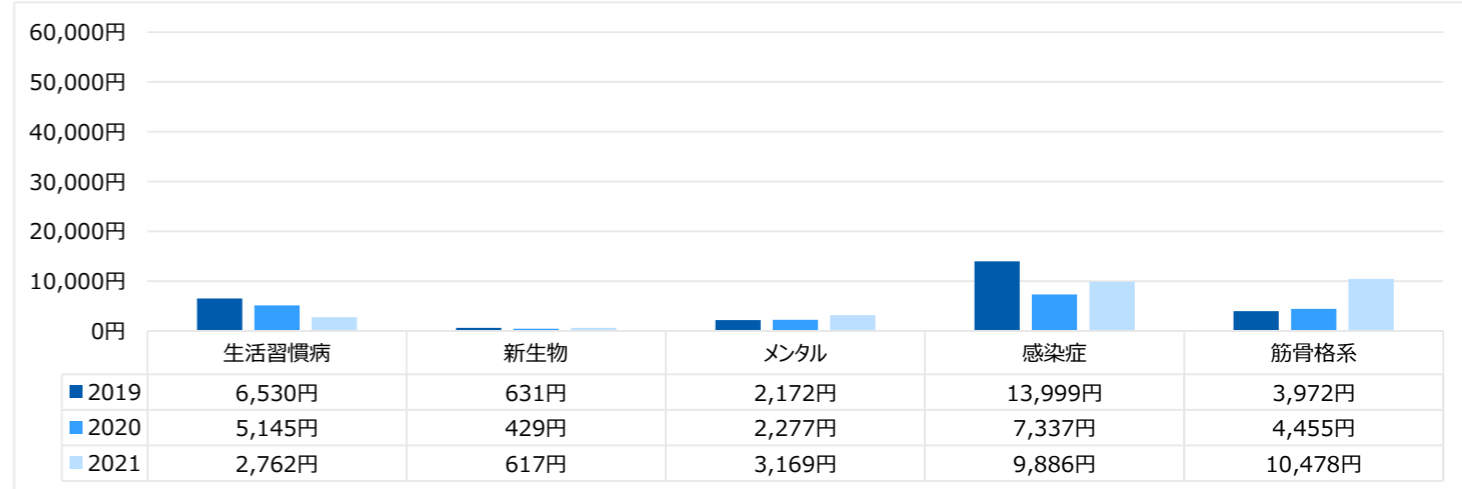
【被保険者女性のレセプト金額の推移】

図表[1-3]32



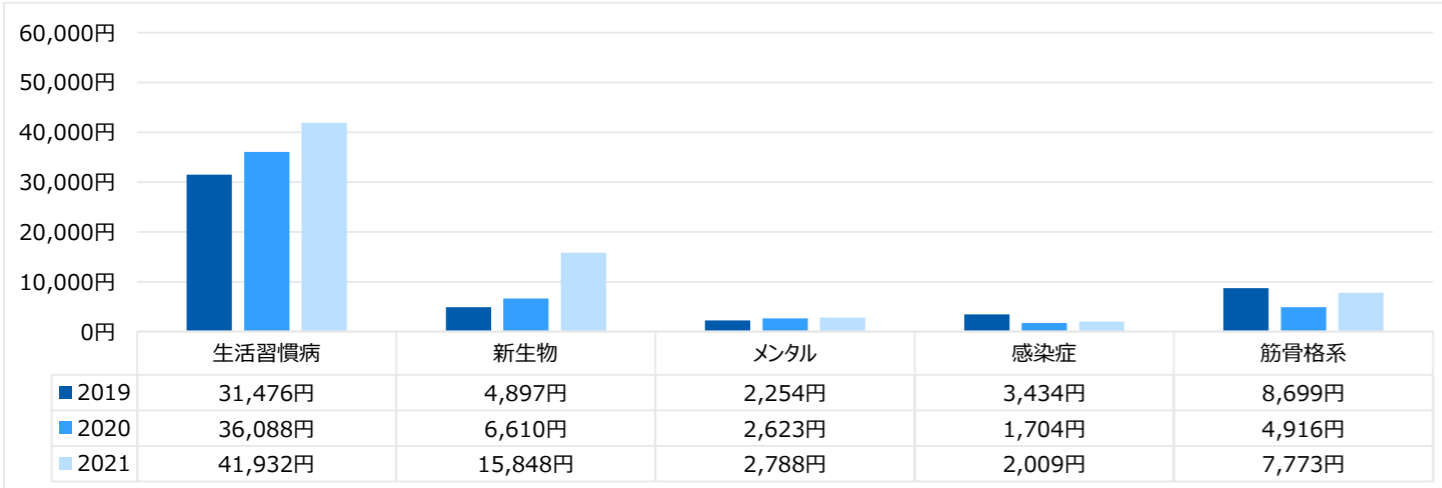
【被扶養者 25歳未満のレセプト金額の推移】

図表[1-3]35



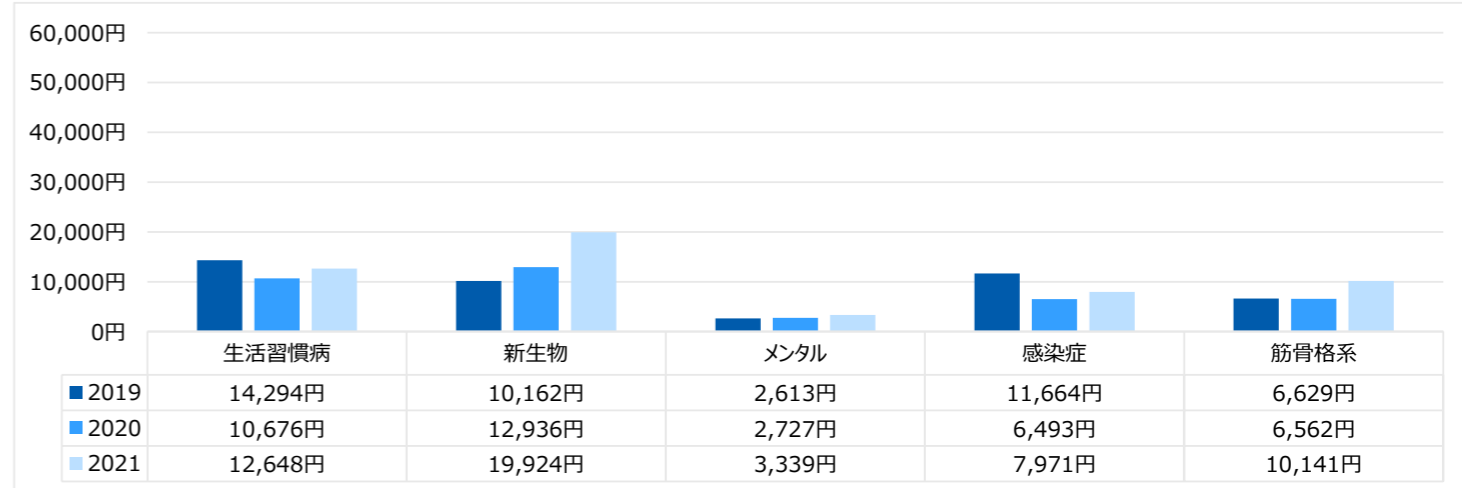
【被保険者のレセプト金額の推移】

図表[1-3]33



【被扶養者のレセプト金額の推移】

図表[1-3]36



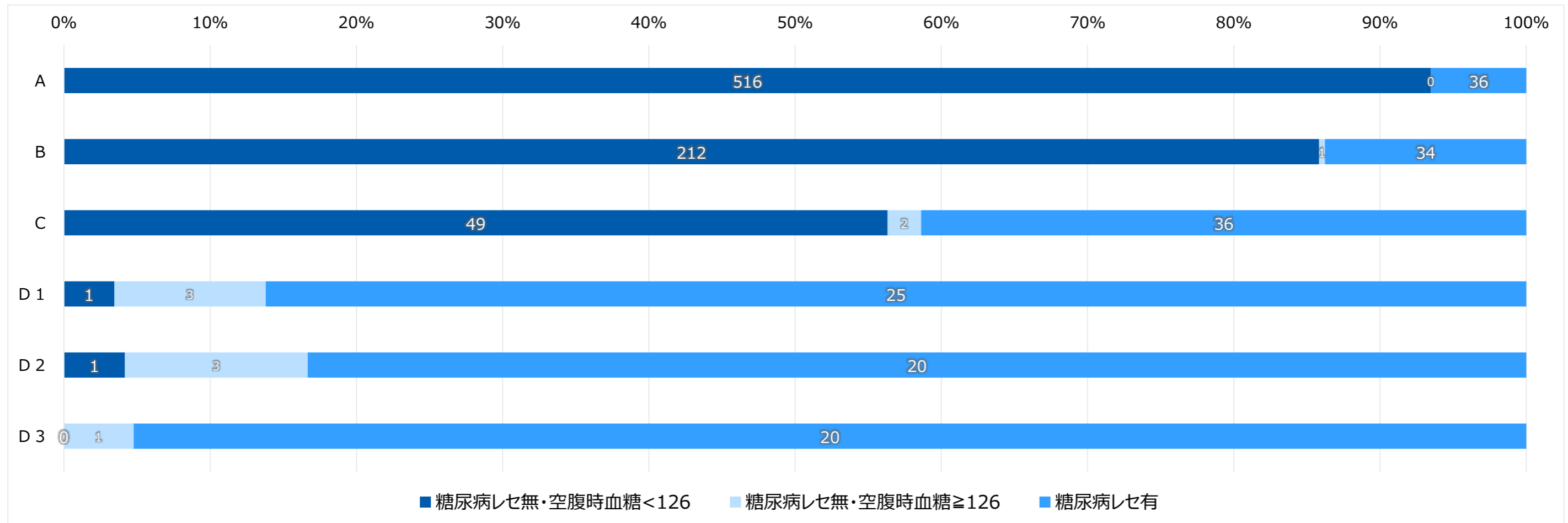
対象範囲 年度 2019~2021 在籍区分 通年在籍者 被扶区分 被保険者・被扶養者 年齢 全年齢 他要件 疑い病名と、歯科レセプトは含まず

1-4.生活習慣病に関する対策効果についての分析

(4)糖尿病の治療と状態変化

【糖尿病患者の定義と人数分布（加入者合計）】

図表[1-4]13



健診結果	判定	A	B	C	D1	D2	D3	糖尿病判定者
	HbA1c 検査値	~5.5	5.6~5.9	6.0~6.4	6.5~6.9	7.0~7.9	8.0~	
糖尿病レセ無・空腹時血糖<126		516人	212人	49人	1人	1人	0人	178人
糖尿病レセ無・空腹時血糖≥126		0人	1人	2人	3人	3人	1人	
糖尿病レセ有		36人	34人	36人	25人	20人	20人	

【糖尿病 判定区分D1・D2・D3の割合表】

2021年度健診データ	D1	D2	D3	人数計	割合
2021年度 受療	25人	20人	20人	65人	87.8%
2021年度 未受療	4人	4人	1人	9人	12.2%
合計	29人	24人	21人	74人	100.0%

対象範囲 年度 2021 在籍区分 通年在籍者 被扶区分 被保険者・被扶養者 年齢 全年齢 他要件 血糖レベル判定可能者

1-4.生活習慣病に関する対策効果についての分析

(5)喫煙習慣と医療費

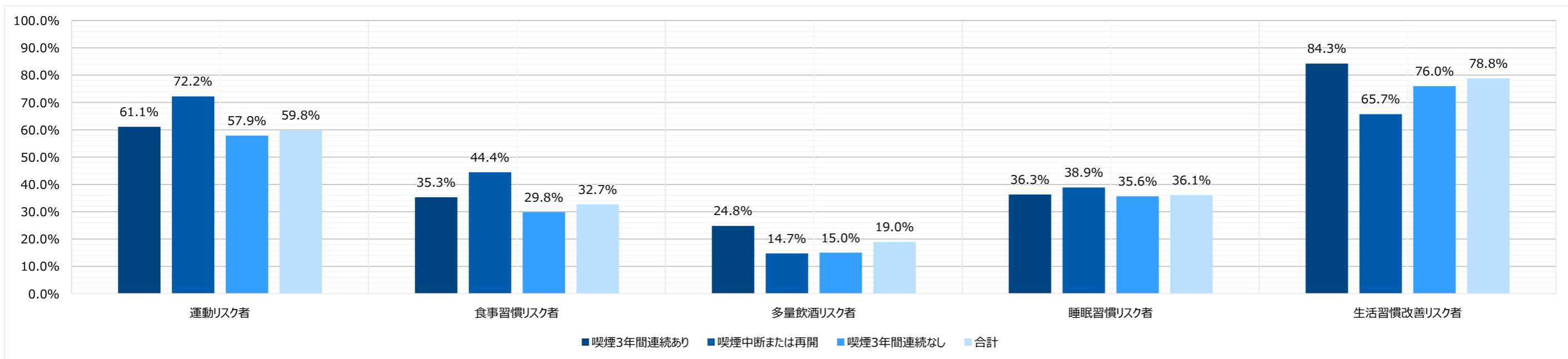
【被保険者の喫煙習慣と生活習慣リスク保有者の関連】

2019年度から3年間の喫煙状況と2021年度の生活習慣リスクの保有状況との関係を示しています。下表では統計的に有意な差があった項目を色付けしています。

No	項目名	分子定義
1	運動リスク者	問診：「軽く汗をかく運動週2日以上1年以上：いいえ」「同年齢同性と比較して歩く速度が速い：いいえ」「身体活動を1日1時間以上：いいえ」の中で2つ以上当てはまる人
2	食事習慣リスク者	問診：「就寝前2時間以内の夕食週3回以上：はい」「朝昼夕の3食以外に間食摂取：毎日」「朝食の欠食週3回以上：はい」「人と比較して食べる速度が速い：はい」の中で2つ以上当てはまる人
3	多量飲酒リスク者	問診：「アルコール摂取：毎日 かつ 飲酒日一日当たりの飲酒量：2合以上」または「アルコール摂取：時々 かつ 飲酒日一日当たりの飲酒量：3合以上」の人
4	睡眠習慣リスク者	問診：睡眠で十分休養が取れている：いいえ
5	生活習慣改善リスク者	問診：運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思うか 「改善するつもりはない」「改善するつもりである（6か月以内）」「近いうちに改善するつもりであり少しずつ始めている」のいずれかに当てはまる人

	喫煙 3年間連続あり				喫煙歴あり				なし				合計			
	該当率	該当 (人数)	非該当 (人数)	対象 (人数)	該当率	該当 (人数)	非該当 (人数)	対象 (人数)	該当率	該当 (人数)	非該当 (人数)	対象 (人数)	該当率	該当 (人数)	非該当 (人数)	対象 (人数)
運動リスク者	61.1%	179	114	293	72.2%	26	10	36	57.9%	243	177	420	59.8%	448	301	749
食事習慣リスク者	35.3%	101	185	286	44.4%	16	20	36	29.8%	122	287	409	32.7%	239	492	731
多量飲酒リスク者	24.8%	65	197	262	14.7%	5	29	34	15.0%	53	300	353	19.0%	123	526	649
睡眠習慣リスク者	36.3%	106	186	292	38.9%	14	22	36	35.6%	149	269	418	36.1%	269	477	746
生活習慣改善リスク者	84.3%	241	45	286	65.7%	23	12	35	76.0%	304	96	400	78.8%	568	153	721

図表[1-4]27



※カイ二乗検定 有意水準：0.05 赤色セル…調整済み残差：1.96 以上 青色セル…調整済み残差：-1.96 以下

対象範囲	年度	2019～2021	在籍区分	通年在籍者	被扶区分	被保険者	年齢	40～74歳	他要件	喫煙問診データ保持者（3年分）
------	----	-----------	------	-------	------	------	----	--------	-----	-----------------

1-5.健康起因の企業リスクについて

(2) 脳・心臓疾患による突然死リスク

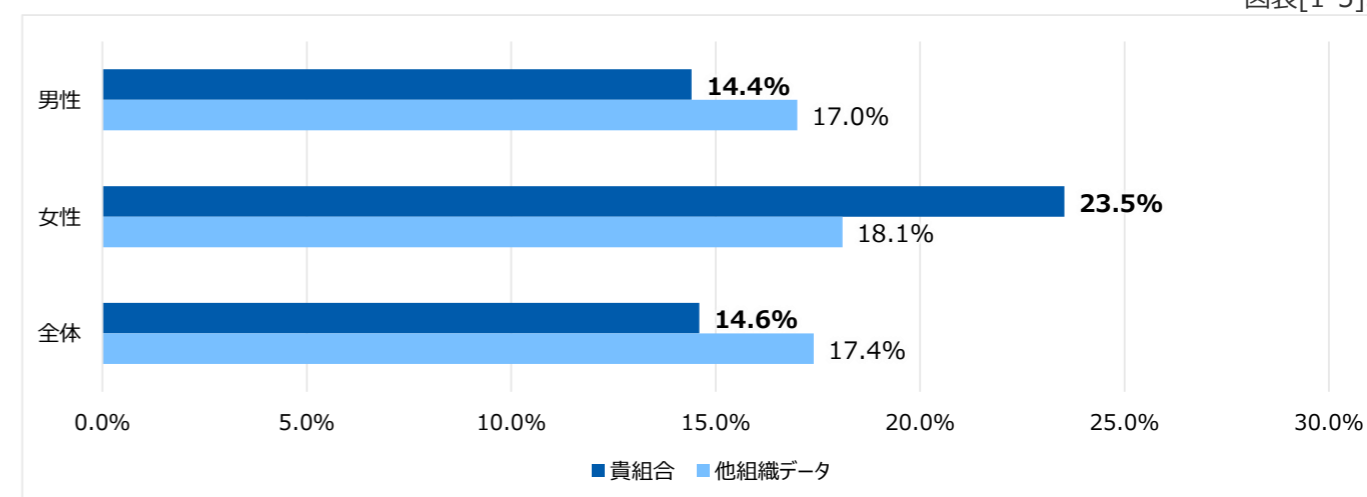
【突然死リスクの判定について】

本分析では、「NIPPON DATA 80 心血管疾患による10年死亡率」及び「NIPPON DATA 80 脳卒中による10年死亡率」の長期追跡研究結果を元に、健診結果ごとにレベル分けされた10年間死亡率に該当するリスク者を集計しています。突然死リスクのレベル判定基準については、データ分析定義集：定義05「NIPPON DATA 80 心血管疾患による10年死亡率」および定義06「NIPPON DATA 80 脳卒中による10年死亡率」をご参照ください。

【心血管疾患による突然死リスクの保有者の状況（被保険者）】

心血管疾患による 10年死亡率 レベル3以上（3%以上） 死亡推定数	性別	評価対象者数	人数	割合	割合 (他組織データ)
	男性	798人	115人	14.4%	17.0%
	女性	17人	4人	23.5%	18.1%
	全体	815人	119人	14.6%	17.4%

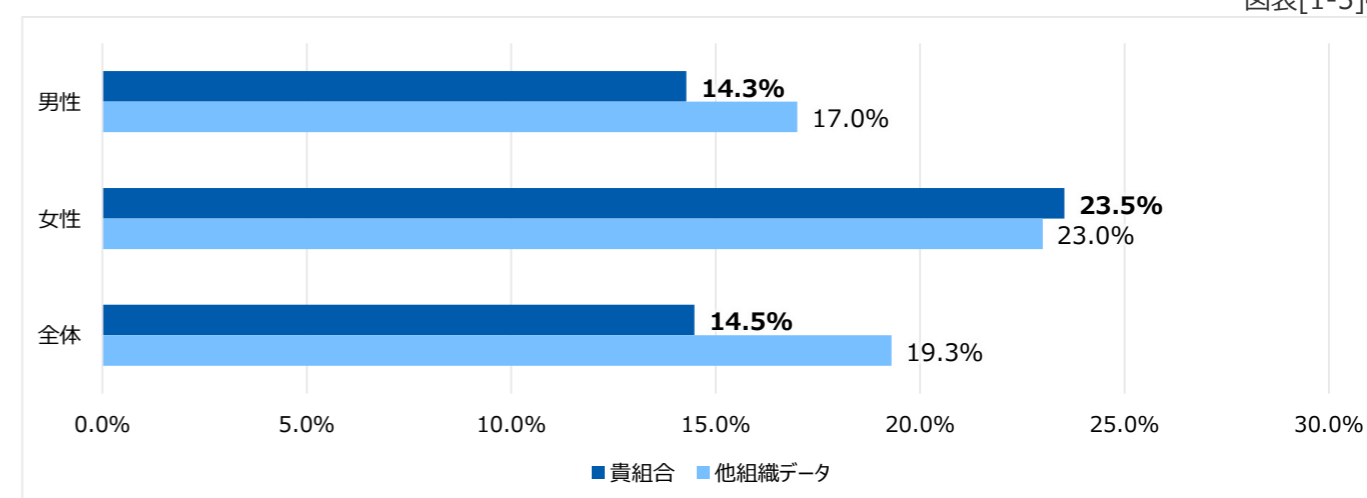
図表[1-5]3



【脳卒中による突然死リスクの保有者の状況（被保険者）】

脳卒中による 10年死亡率 レベル3以上（1%以上） 死亡推定数	性別	評価対象者数	人数	割合	割合 (他組織データ)
	男性	798人	114人	14.3%	17.0%
	女性	17人	4人	23.5%	23.0%
	全体	815人	118人	14.5%	19.3%

図表[1-5]4



対象範囲 年度 2021 在籍区分 通年在籍者 被扶区分 被保険者 年齢 40～74歳 他要件 突然死リスク判定可能者

1-5.健康起因の企業リスクについて

(2) 脳・心臓疾患による突然死リスク

【心血管疾患による突然死リスクの保有者の状況（被保険者）】

評価対象者数	815							
資格カテゴリー	年度	健診結果レベル	死亡率	該当人数	割合	心疾患レセプトの有無		
被保険者計	2021	レベル6	30%以上	1	0.1%	あり	0	
						なし	1	
		レベル5	15%以上～30%未満	6	0.7%	あり	1	
						なし	5	
		レベル4	7%以上～15%未満	22	2.7%	あり	2	
						なし	20	
		レベル3	3%以上～7%未満	90	11.0%	あり	4	
				なし	86			
		レベル2	1%以上～3%未満	358	43.9%	あり	11	
					なし	347		
		レベル1	1%未満	338	41.5%	あり	4	
					なし	334		

【脳卒中による突然死リスクの保有者の状況（被保険者）】

評価対象者数	815							
資格カテゴリー	年度	健診結果レベル	死亡率	該当人数	割合	脳疾患レセプトの有無		
被保険者計	2021	レベル6	10%以上	4	0.5%	あり	0	
						なし	4	
		レベル5	5%以上～10%未満	4	0.5%	あり	0	
						なし	4	
		レベル4	2%以上～5%未満	21	2.6%	あり	0	
						なし	21	
		レベル3	1%以上～2%未満	89	10.9%	あり	2	
				なし	87			
		レベル2	0.5%以上～1%未満	188	23.1%	あり	4	
					なし	184		
		レベル1	0.5%未満	509	62.5%	あり	2	
					なし	507		

対象範囲 年度 2021 在籍区分 通年在籍者 被扶区分 被保険者 年齢 40～74歳 他要件 突然死リスク判定可能者

1-5.健康起因の企業リスクについて

(2) 脳・心臓疾患による突然死リスク

【心血管疾患による突然死リスクの保有者の状況（被保険者・男性）】

評価対象者数	798							
資格カテゴリー	年度	健診結果レベル	死亡率	該当人数	割合	心疾患レセプトの有無		
被保険者・男性	2021	レベル6	30%以上	1	0.1%	あり	0	
						なし	1	
		レベル5	15%以上～30%未満	6	0.8%	あり	1	
						なし	5	
		レベル4	7%以上～15%未満	21	2.6%	あり	2	
						なし	19	
		レベル3	3%以上～7%未満	87	10.9%	あり	3	
				なし	84			
		レベル2	1%以上～3%未満	357	44.7%	あり	11	
					なし	346		
		レベル1	1%未満	326	40.9%	あり	4	
					なし	322		

【脳卒中による突然死リスクの保有者の状況（被保険者・男性）】

評価対象者数	798							
資格カテゴリー	年度	健診結果レベル	死亡率	該当人数	割合	脳疾患レセプトの有無		
被保険者・男性	2021	レベル6	10%以上	4	0.5%	あり	0	
						なし	4	
		レベル5	5%以上～10%未満	4	0.5%	あり	0	
						なし	4	
		レベル4	2%以上～5%未満	20	2.5%	あり	0	
						なし	20	
		レベル3	1%以上～2%未満	86	10.8%	あり	2	
				なし	84			
		レベル2	0.5%以上～1%未満	187	23.4%	あり	4	
					なし	183		
		レベル1	0.5%未満	497	62.3%	あり	2	
					なし	495		

対象範囲 年度 2021 在籍区分 通年在籍者 被扶区分 被保険者 年齢 40～74歳 他要件 突然死リスク判定可能者

1-5.健康起因の企業リスクについて

(2) 脳・心臓疾患による突然死リスク

【心血管疾患による突然死リスクの保有者の状況（被保険者・女性）】

評価対象者数	17							
資格カテゴリー	年度	健診結果レベル	死亡率	該当人数	割合	心疾患レセプトの有無		
被保険者・女性	2021	レベル6	30%以上	0	0.0%	あり	0	
						なし	0	
		レベル5	15%以上～30%未満	0	0.0%	あり	0	
						なし	0	
		レベル4	7%以上～15%未満	1	5.9%	あり	0	
						なし	1	
		レベル3	3%以上～7%未満	3	17.6%	あり	1	
				なし	2			
		レベル2	1%以上～3%未満	1	5.9%	あり	0	
						なし	1	
		レベル1	1%未満	12	70.6%	あり	0	
						なし	12	

【脳卒中による突然死リスクの保有者の状況（被保険者・女性）】

評価対象者数	17							
資格カテゴリー	年度	健診結果レベル	死亡率	該当人数	割合	脳疾患レセプトの有無		
被保険者・女性	2021	レベル6	10%以上	0	0.0%	あり	0	
						なし	0	
		レベル5	5%以上～10%未満	0	0.0%	あり	0	
						なし	0	
		レベル4	2%以上～5%未満	1	5.9%	あり	0	
						なし	1	
		レベル3	1%以上～2%未満	3	17.6%	あり	0	
				なし	3			
		レベル2	0.5%以上～1%未満	1	5.9%	あり	0	
						なし	1	
		レベル1	0.5%未満	12	70.6%	あり	0	
						なし	12	

対象範囲 年度 2021 在籍区分 通年在籍者 被扶区分 被保険者 年齢 40～74歳 他要件 突然死リスク判定可能者

1-5.健康起因の企業リスクについて

(3)メンタルヘルス疾患について

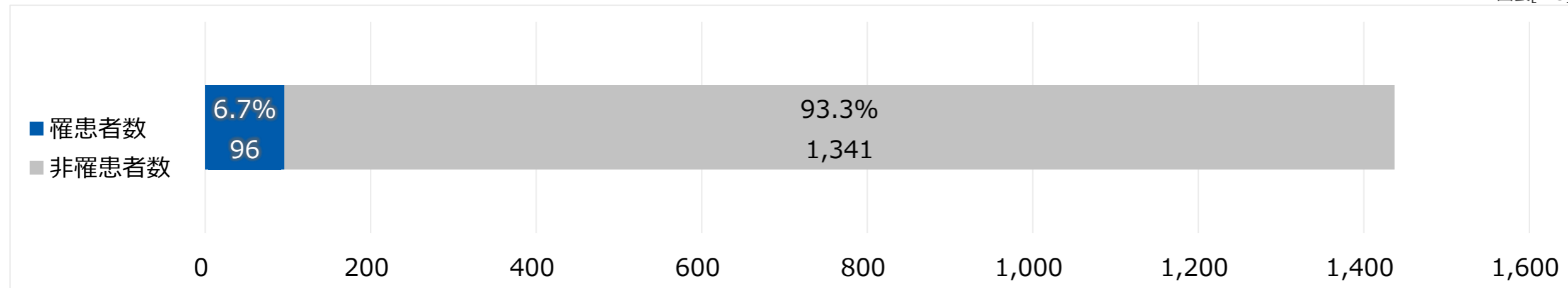
【メンタル関連疾患】

本分析では、次の疾病を対象とし集計しています。

- ・気分障害（うつ病）有無：ICD10コード(F2:統合失調症 等、F3:うつ病、双極性障害等など)
- ・神経症性障害・ストレス関連障害：ICD10コード(F4：ストレス関連障害等)

【メンタル関連疾患の罹患者の状況（被保険者）】

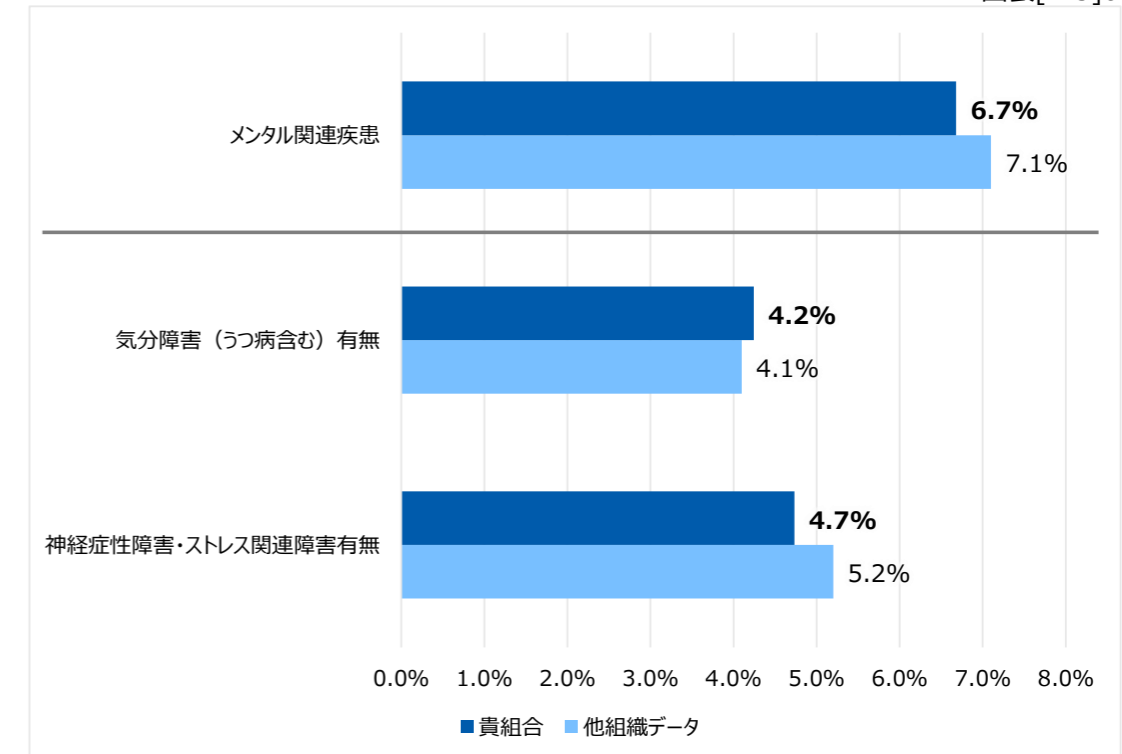
図表[1-5]5



診療年度	疾病中分類名	評価対象者数	罹患者数	罹患率	罹患率 (他組織データ)
2021	メンタル関連疾患 *精神障害 (下記2疾患が1つ以上該当)	1,437人	96人	6.7%	7.1%

診療年度	疾病中分類名	評価対象者数	罹患者数	罹患率	罹患率 (他組織データ)
2021	気分障害（うつ病含む）有無	1,437人	61人	4.2%	4.1%
2021	神経症性障害・ストレス関連障害有無	1,437人	68人	4.7%	5.2%

図表[1-5]6



対象範囲	年度	2021	在籍区分	通年在籍者	被扶区分	被保険者	年齢	15～74歳	他要件	-
------	----	------	------	-------	------	------	----	--------	-----	---

1-5.健康起因の企業リスクについて

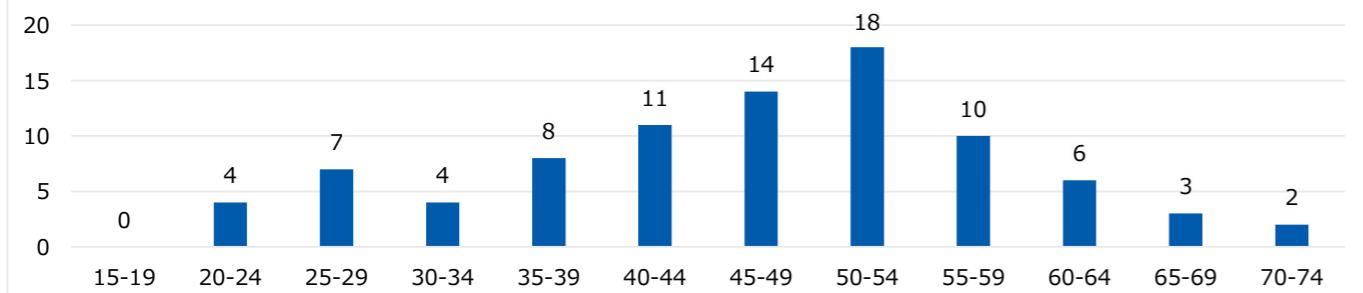
(3)メンタルヘルス疾患について

【メンタル関連疾患の罹患者の年齢階層別状況（被保険者）】

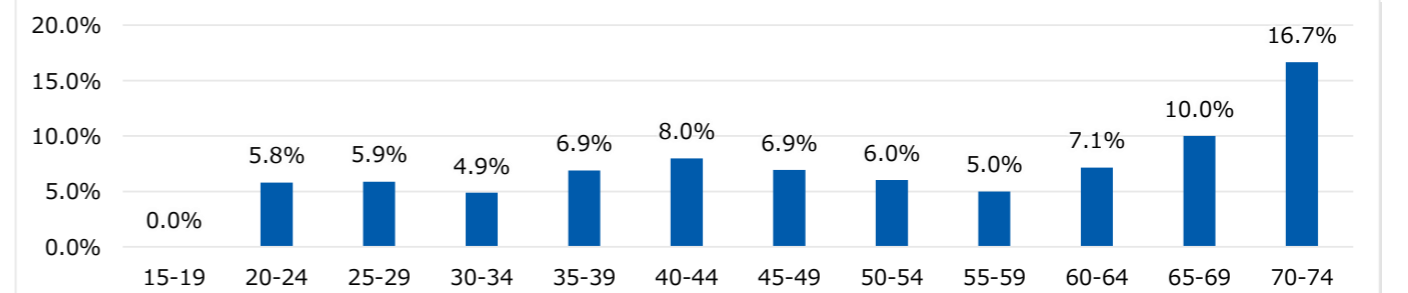
(人)

年齢		15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	合計
男性	罹患率	0.0%	5.8%	5.9%	4.9%	6.9%	8.0%	6.9%	6.0%	5.0%	7.1%	10.0%	16.7%	6.4%
	罹患者数	0	4	7	4	8	11	14	18	10	6	3	2	87
	対象者数	2	69	119	82	116	138	202	298	200	84	30	12	1,352
女性	罹患率		25.0%	11.1%	6.7%	13.3%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	20.0%	0.0%		10.6%
	罹患者数		2	2	1	2	0	0	1	0	1	0		9
	対象者数		8	18	15	15	3	7	9	3	5	2		85
全体	罹患率	0.0%	7.8%	6.6%	5.2%	7.6%	7.8%	6.7%	6.2%	4.9%	7.9%	9.4%	16.7%	6.7%
	罹患者数	0	6	9	5	10	11	14	19	10	7	3	2	96
	対象者数	2	77	137	97	131	141	209	307	203	89	32	12	1,437
罹患率 (他組織データ)		3.1%	4.9%	5.8%	6.2%	6.7%	7.4%	7.8%	8.3%	8.4%	7.0%	5.9%	6.2%	7.1%

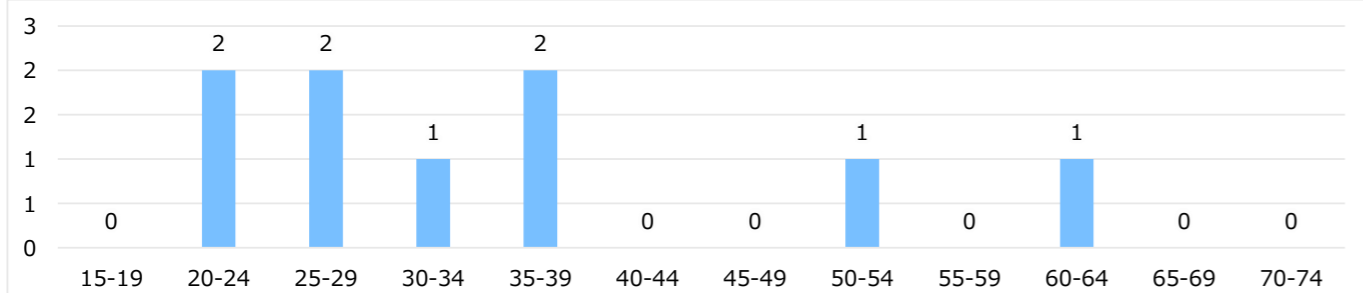
【罹患者数：男性】 図表[1-5]7



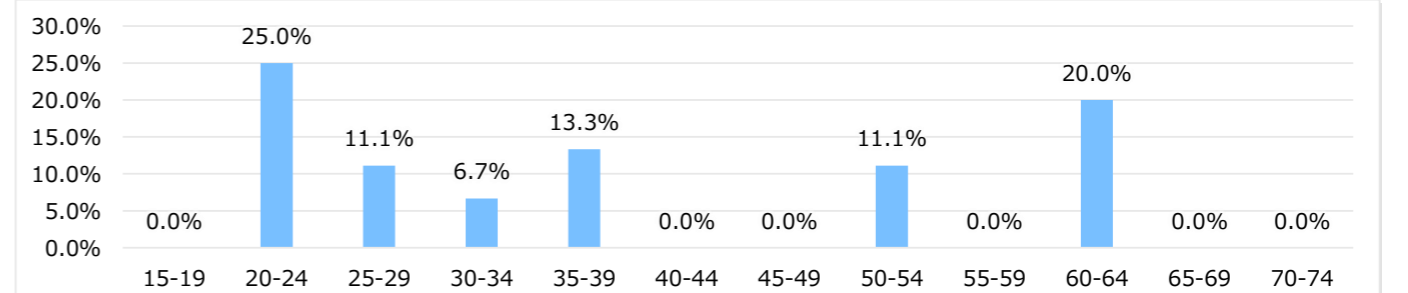
【罹患率：男性】 図表[1-5]10



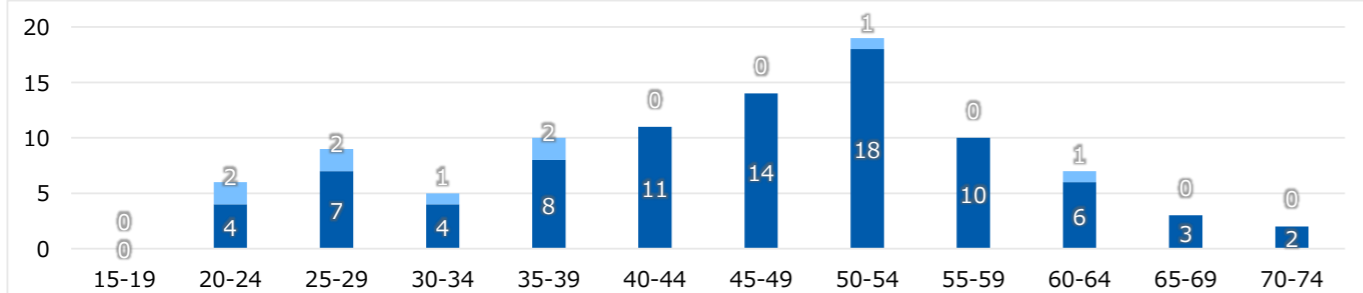
【罹患者数：女性】 図表[1-5]8



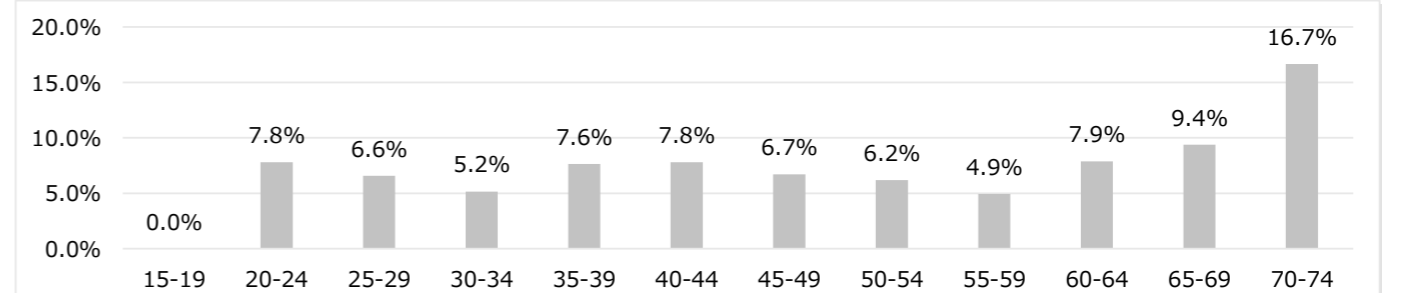
【罹患率：女性】 図表[1-5]11



【罹患者数：全体】 図表[1-5]9



【罹患率：全体】 図表[1-5]12



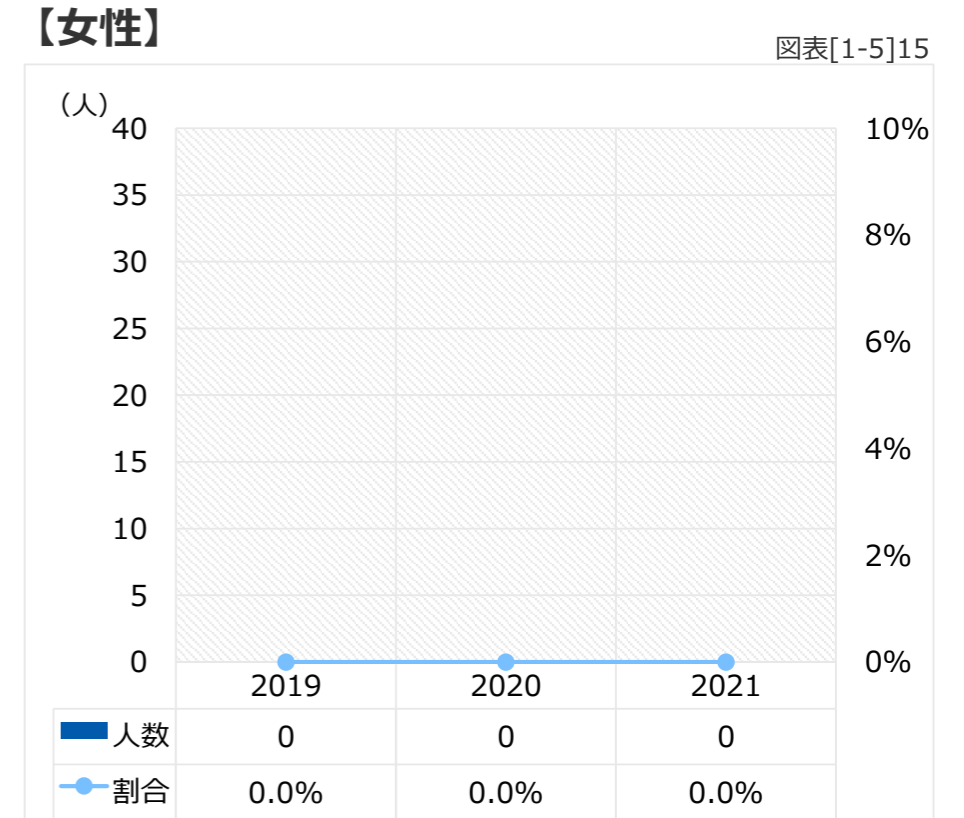
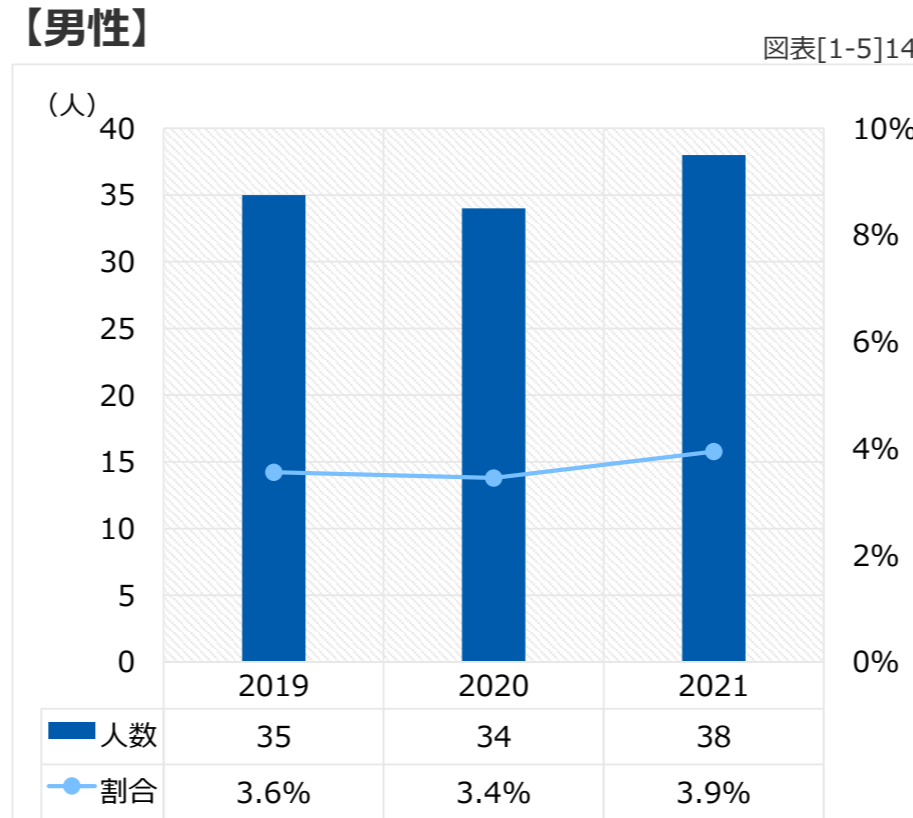
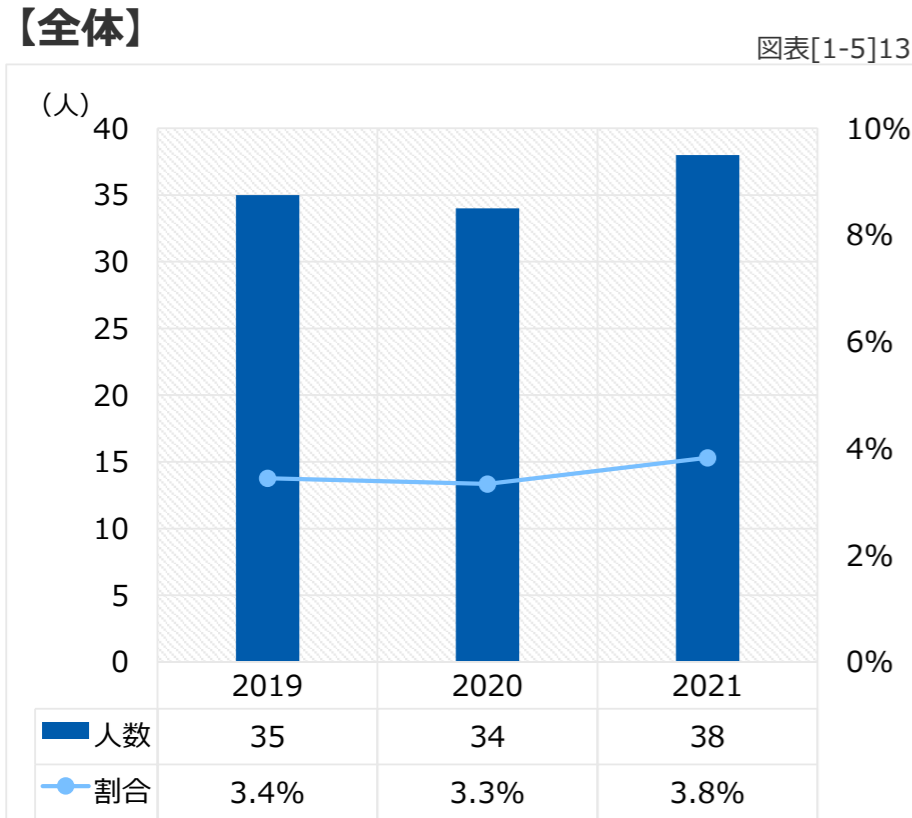
対象範囲	年度	2021	在籍区分	通年在籍者	被扶区分	被保険者	年齢	15～74歳	他要件	-
------	----	------	------	-------	------	------	----	--------	-----	---

1-5.健康起因の企業リスクについて

(4)睡眠時無呼吸症候群 (SAS) について

【睡眠時無呼吸症候群 (SAS) 罹患者の推移 (被保険者)】

「睡眠時無呼吸症候群 (SAS)」は、以下の傷病名を対象に集計しております。
 ・原発性肺泡低換気症候群、睡眠時無呼吸症候群、中枢性睡眠時無呼吸、閉塞性睡眠時無呼吸

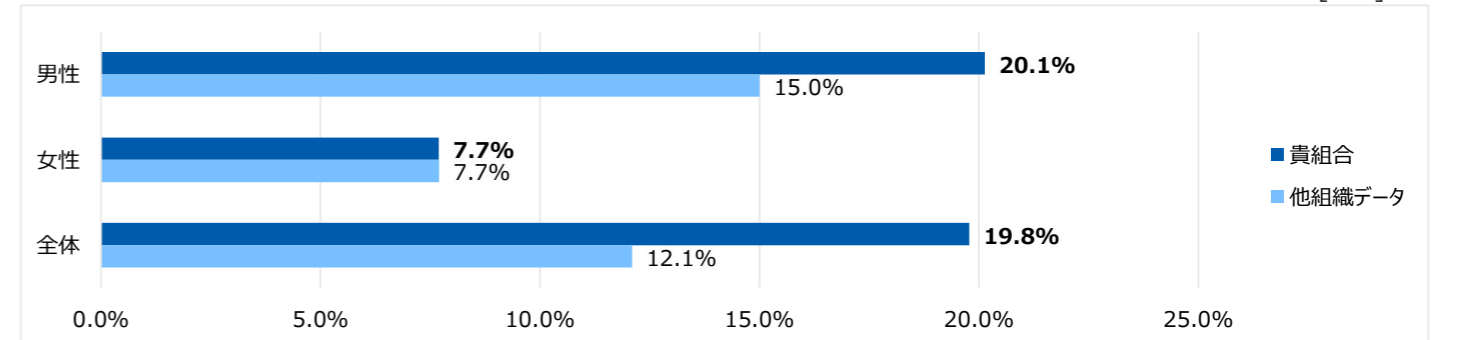


睡眠時無呼吸症候群 (SAS) と診断された者	性別	評価対象者	人数	割合	割合 (他組織データ)
	男性	964人	38人	3.9%	2.7%
	女性	29人	0人	0.0%	0.3%
	全体	993人	38人	3.8%	1.8%

【睡眠時無呼吸症候群に関連するリスク (肥満×睡眠) の該当者 (被保険者)】

「睡眠時無呼吸症候群に関連するリスク (肥満×睡眠) の該当者」の条件は、以下の通りです。
 ・健診結果で「肥満」リスクに該当 (BMI 25以上または腹囲：男性85cm以上、女性90cm以上)、かつ問診「睡眠で十分に休養がとれている」に「いいえ」と回答。

睡眠時無呼吸症候群に関連するリスク (肥満×睡眠) 該当者	性別	評価対象者	人数	割合	割合 (他組織データ)
	男性	879人	177人	20.1%	15.0%
	女性	26人	2人	7.7%	7.7%
	全体	905人	179人	19.8%	12.1%



対象範囲	年度	2019~2021	在籍区分	通年在籍者	被扶区分	被保険者	年齢	40~74歳	他要件	-
------	----	-----------	------	-------	------	------	----	--------	-----	---

1-5.健康起因の企業リスクについて

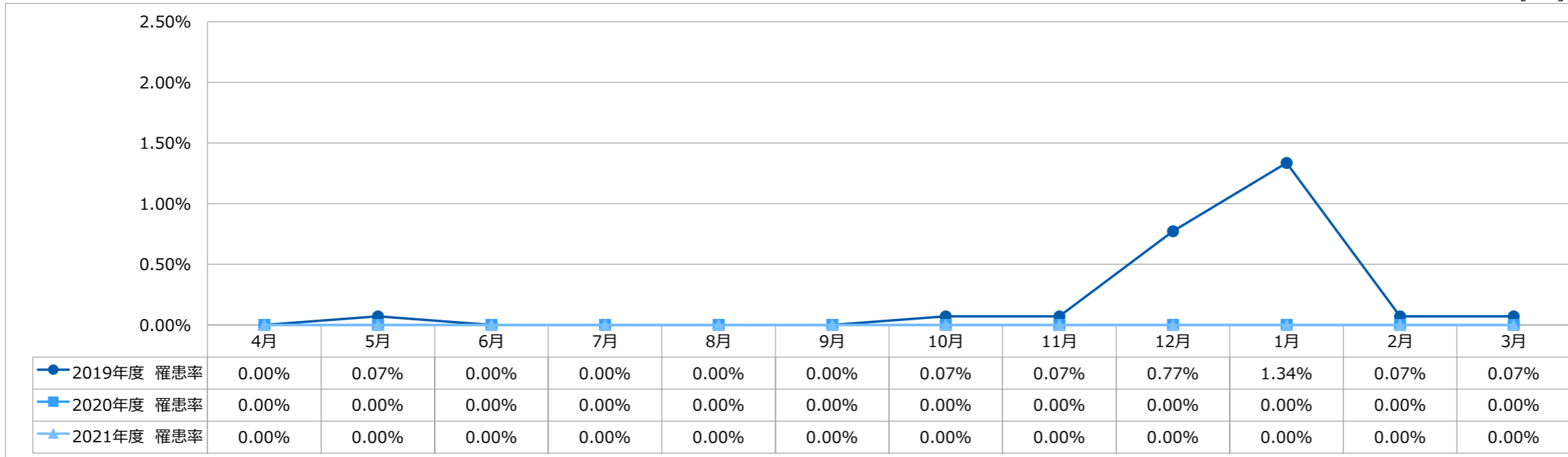
(5)インフルエンザについて

【インフルエンザへの罹患状況 [薬剤処方]】

インフルエンザ罹患率	資格カテゴリー	評価対象者数	罹患人数	罹患率割合	
	被保険者	1,437人	0人	0.00%	0.00%
	被扶養者	1,390人	0人	0.00%	

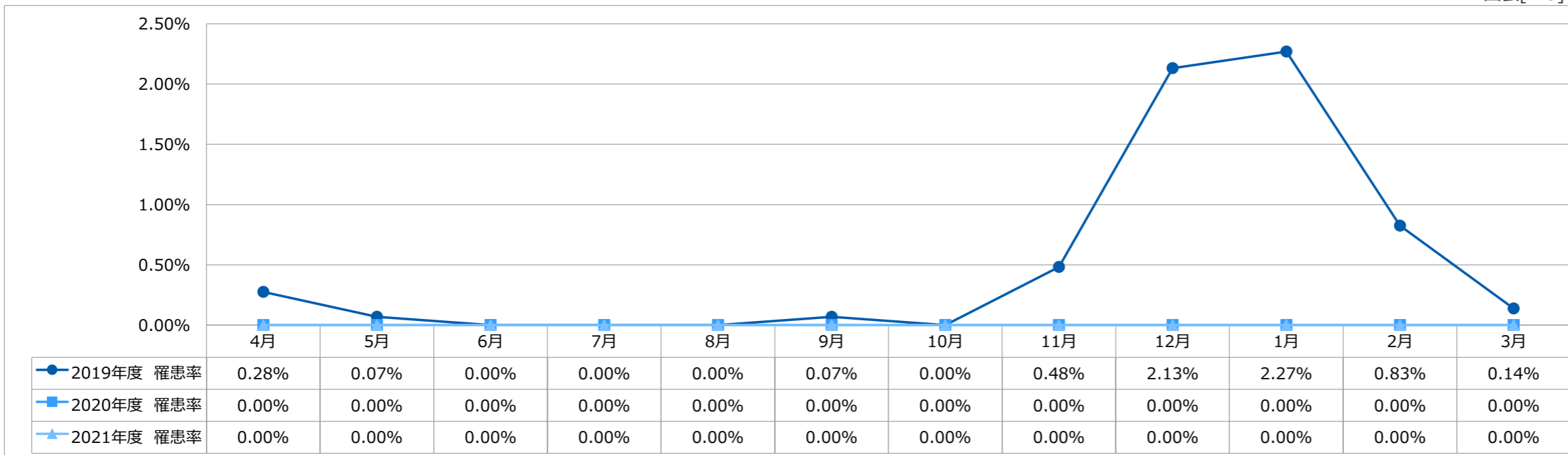
【被保険者】

図表[1-5]17



【被扶養者】

図表[1-5]18



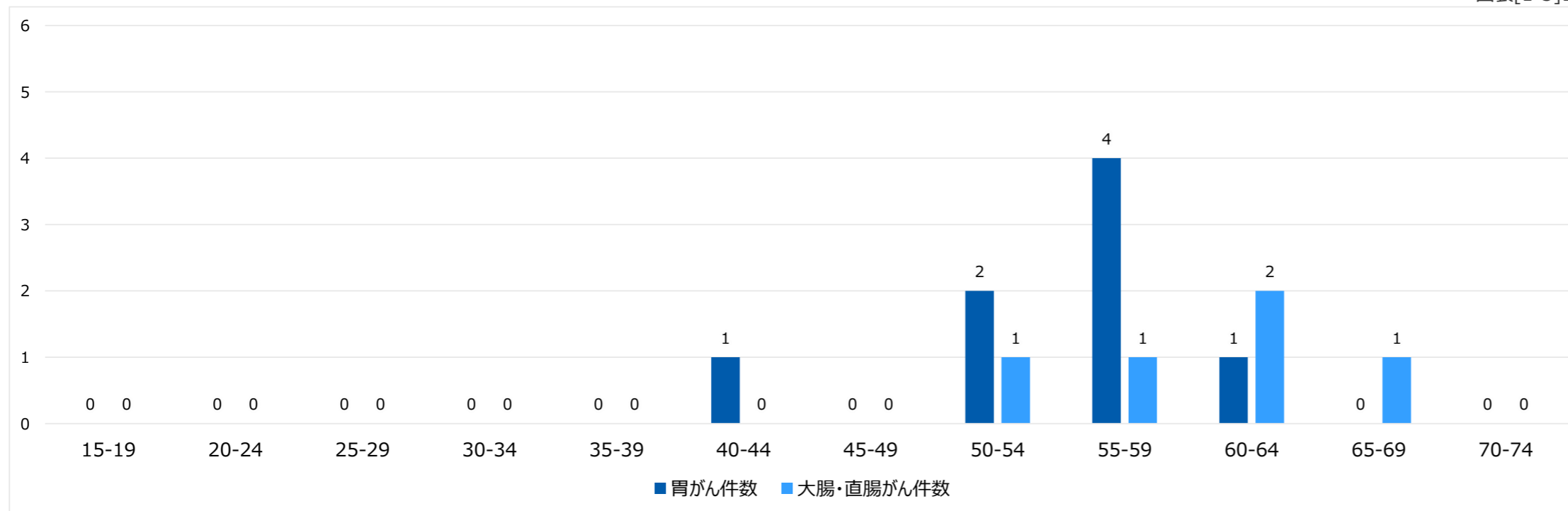
対象範囲	年度	2019~2021	在籍区分	通年在籍者	被扶区分	被保険者・被扶養者	年齢	全年齢	他要件	-
------	----	-----------	------	-------	------	-----------	----	-----	-----	---

1-5.健康起因の企業リスクについて

(6)がんについて

【がんの件数・男性】

図表[1-5]19

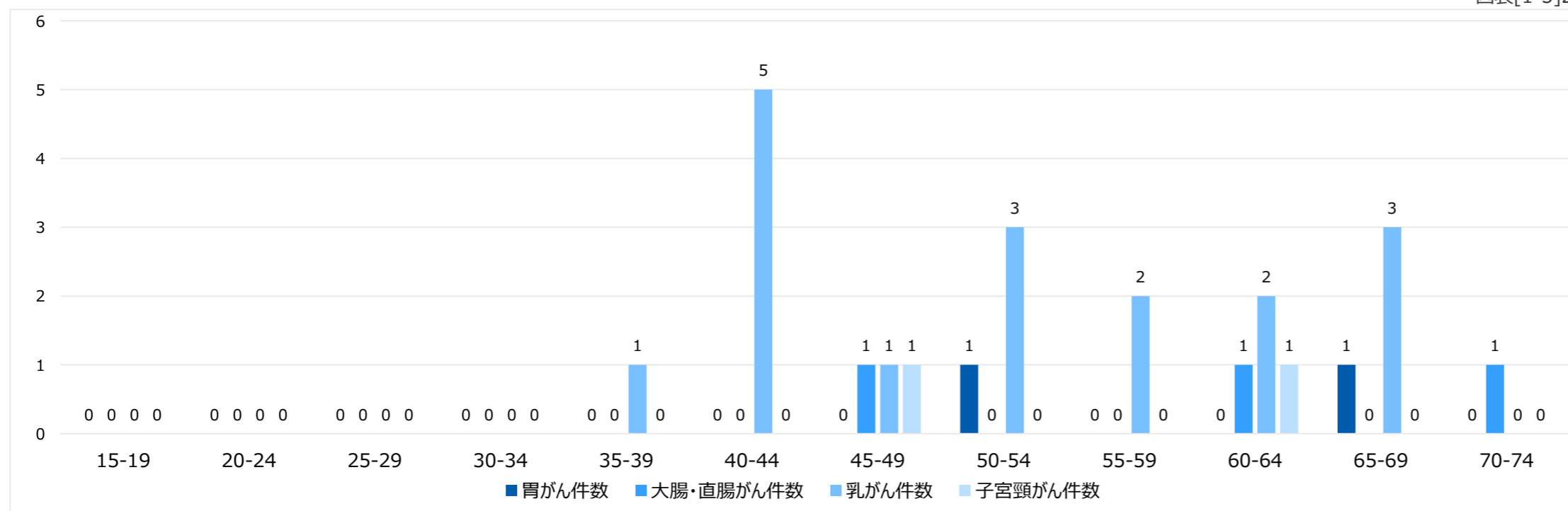


種別	医療費合計	件数
胃がん	¥289,833	8
大腸・直腸がん	¥1,845,794	5

※疑い病名除く

【がんの件数・女性】

図表[1-5]20



種別	医療費合計	件数
胃がん	¥24,647	2
大腸・直腸がん	¥153,539	3
乳がん	¥6,443,540	17
子宮頸がん	¥10,929	2

※疑い病名除く

対象範囲	年度	2021	在籍区分	通年在籍者	被扶区分	被保険者・被扶養者	年齢	全年齢	他要件	-
------	----	------	------	-------	------	-----------	----	-----	-----	---

1-5.健康起因の企業リスクについて

(6)がんについて

【がんの件数・男性 被保険者・被扶養者毎の件数】

(件)

年齢		15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	合計
全体	胃がん	0	0	0	0	0	1	0	2	4	1	0	0	8
	大腸・直腸がん	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	0	5
被保険者	胃がん	0	0	0	0	0	1	0	2	4	1	0	0	8
	大腸・直腸がん	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	1	0	5
被扶養者	胃がん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大腸・直腸がん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【がんの件数・女性 被保険者・被扶養者毎の件数】

(件)

年齢		15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	合計
全体	胃がん	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
	大腸・直腸がん	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	3
	乳がん	0	0	0	0	1	5	1	3	2	2	3	0	17
	子宮頸がん	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2
被保険者	胃がん	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
	大腸・直腸がん	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	3
	乳がん	0	0	0	0	1	5	1	3	2	2	3	0	17
	子宮頸がん	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2
被扶養者	胃がん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大腸・直腸がん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	乳がん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	子宮頸がん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

対象範囲	年度	2021	在籍区分	通年在籍者	被扶区分	被保険者・被扶養者	年齢	全年齢	他要件	-
------	----	------	------	-------	------	-----------	----	-----	-----	---

STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	ウ, エ, オ	被保険者男性において生活習慣病医療費の割合が大きく「肥満」「血圧」「肝機能」の指標のリスク該当率が高い。運動・食事の生活習慣改善等、総合的な対策が必要となる。	➔	<ul style="list-style-type: none"> 各種対策が有効に働くように、まずは、被保険者の健康リテラシーの強化を図る。 被保険者の生活習慣改善に向けた運動習慣や食習慣の改善を支援する。 疾病発症を水際で防げるよう、特定保健指導の実施を強化する。 	✓
2	ウ, エ, オ	生活習慣病による医療費の抑制には、状態悪化の早期発見が欠かせない。法定健診に加え、その他精密検査の利用を促すことで早期発見の強化に努めることが必要となる。	➔	適切な支援を実施できるよう、健診受診を引続き徹底し、健康状態の早期把握を強化する。	✓
3	ウ, エ, オ	生活習慣病発病レベルかつ未受療のケースが(35.6%)を占めている。高血圧症や糖尿病を中心として、重症化予防に向けて適切な受療が必要となる。	➔	高血圧や高血糖の未受療者について、適切な受療がなされるよう受療勧奨を実施する。	✓
4	テ, ト, ナ	一部事業所において、「労災関連基礎疾患」「突然死」「メンタルヘルス疾患」「SAS」のリスク該当率が高くなっている。生活習慣病の予防が当該リスクの軽減にもつながることから、事業所と連携した対策検討・実施の強化も必要となる。	➔	事業主と情報を密に共有し、適切な健康対策を通じた職場環境改善を支援する。	✓
5	ウ, ツ	男性における喫煙率が全年齢層で高い水準にある。将来の生活習慣病の重症化予防に向けて、喫煙対策の検討・実施の強化が必要となる。	➔	喫煙による健康被害軽減に向け、加入者の禁煙活動を支援する。	✓
6	ケ, シ, ヌ	<p>①一定数がん罹患する加入者がいることから、がんに正しく備えるためのリテラシーの向上が必要となる。</p> <p>②がんへの対応力強化は、早期発見が欠かせない。各種がん検診実施の検討も求められる。特に女性は婦人科系疾患の早期発見支援が必要となる。</p> <p>③がんにより早期に適切に対応できるよう、治療選択のサポートや治療の選択肢を増やす等のサポートも考えられる。</p> <p>④被保険者においても、がん罹患が目立つ。働きながらがんの治療を確保するための環境整備も課題となる。</p>	➔	<p>①各種がん検診をはじめ、がんへの対応力を強化するため必要とされるリテラシーの向上を図る。</p> <p>②がん検診の受診を促し、がんの早期発見に努める。</p> <p>③がんの治療法に関するアドバイスや、高額な治療への備えを検討する。</p> <p>④休職が長期に及んだ場合や、フルタイムでの出勤が難しい場合にも安心して治療に専念できるよう環境の整備を検討する。</p>	✓
7	ウ, ト	一部年齢層において、メンタルヘルス不調の該当率が高くなっている。がんと同じく就業への影響が大きく、事業主と連携した総合的な支援が求められる。	➔	<ul style="list-style-type: none"> メンタルヘルスケアの対応力強化に向け、セミナー等を通じてリテラシーの向上を図る。 メンタル不調の早期発見に向け、ストレスチェック等のセルフケアのサポートを行う。 	✓
8	コ, ニ	<p>①季節性疾患等は、被扶養者(子供)の罹患が多い。家庭での予防対策等が徹底されるよう、リテラシーの向上を図る必要がある。</p> <p>②被保険者のインフルエンザの罹患は、1週間程度の業務離脱を伴うことから、予防接種をはじめとした対策強化が必要となる。</p>	➔	<p>①日常的に家庭で予防に取り組めるよう、季節性疾患の予防に関する知識付与が必要となる。</p> <p>②インフルエンザの罹患リスクの軽減に予防接種の接種率の向上を図る。</p>	✓
9	キ, ス	正しい受療行動に関する情報提供を通じたリテラシーの底上げを図りつつ、医療費の抑制に余地のある後発薬活用やセルフメディケーションを促していくことが必要となる。	➔	医療費の更なる抑制に、加入者個人に後発薬利用のメリットを伝え、後発薬の普及促進を図る。	✓
10	コ	被扶養者(子供)での加算受診割合が高い水準となっている。正しい知識を提供することで不要・不急な医療の抑制に協力してもらう必要がある。	➔	不要不急な受療を避け、適切な受療がなされるよう、知識の提供や相談窓口の活用を促す	✓

11	セ	加入者一人当りの歯科医療費単価は、健保連と同水準だが、引続き歯科関連疾患の予防や重症化防止対策が求められる。	➔	歯科医療費の適正化に向け、口腔の不調を早期に発見できるよう健診等の機会提供の検討が必要となる。	✓
----	---	--	---	---	---

基本情報

No.	特徴	対策検討時に留意すべき点

保健事業の実施状況

No.	特徴	対策検討時に留意すべき点

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的

データ分析により当健保組合の現状の把握を行い、課題を洗い出すことによって具体的な対策を立案し、組合加入者の医療費の適正化や健康増進を図る。

事業全体の目標

個別の対策によって得られる実績をアウトプット・アウトカムの適切な目標のもとに実績の数値管理を行い、見える化を図り、正しい評価が行えるようにする。

事業の一覧

職場環境の整備

予算措置なし	健診データの確実な収集
--------	-------------

加入者への意識づけ

その他	加入者への情報の提供と啓蒙
-----	---------------

個別の事業

特定健康診査事業	特定健康診査事業（被保険者）
特定健康診査事業	特定健康診査事業（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導事業
保健指導宣伝	健康増進推進委員会
保健指導宣伝	ホームページによる健康増進等の情報提供
保健指導宣伝	「健保だより」の掲載（社内報）
保健指導宣伝	医療費通知の送付
保健指導宣伝	ジェネリック薬品切り替え促進
保健指導宣伝	育児教育用冊子の配布
保健指導宣伝	禁煙サポートプログラム
保健指導宣伝	適正服薬通知
保健指導宣伝	「健康保険のしおり」配布
保健指導宣伝	健康ポータルを活用した情報提供、健康取組増進とインセンティブ制度の導入
保健指導宣伝	歯磨きキャンペーン、口腔ケアプログラムの推進
疾病予防	重症化予防事業
疾病予防	健診費用補助（被保険者向け）
疾病予防	健診費用補助（配偶者向け：30歳未満）
疾病予防	健診費用補助（被扶養者向け：30～39歳）
疾病予防	インフルエンザの予防接種と費用補助
体育奨励	プール、アイススケート利用
その他	事業主との健康施策相互支援

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	注2) 事業名	対象者				注3) 実施主体	注4) プロセス分類	実施方法	注5) ストラクチャー分類	実施体制	外部委託先	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者										
職場環境の整備										アウトカム指標							
予算措置なし	1,2	既存	健診データの確実な収集	全て	男女	18～74	加入者全員	3	イ,ウ,エ,オ,キ,ク,ケ	<ul style="list-style-type: none"> ・定期健康診断の前に各事業所へ健診データの提供依頼のメールを出す。 ・健診実施後、母体企業から保健師を通じてデータを回収し、事業所からは直接回収する。 ・健診結果がデータ化できない健診機関については、データ化の依頼を行い、データ化ができない場合は、事業所に他の健診機関に代えてもらう。 	ア,イ,キ,サ	<ul style="list-style-type: none"> ・母体企業並びに事業所については、健診データの重要性を説明し、協力を要請する。 ・契約健診機関には、引き続き健診データの提供を依頼していく。 ・健診結果がいただけない健診機関には、協力依頼を行う。 	外部委託しない	0対象外		健診データの取込み漏れは、データヘルス計画の根幹に係る問題であるので、各事業所並びに母体企業の保険師、加えて健診機関にも協力を求め、平成32年度までに100%を実現する。	被保険者男性において生活習慣病医療費の割合が大きく「肥満」「血圧」「肝機能」の指標のリスク該当率が高い。運動・食事の生活習慣改善等、総合的な対策が必要となる。
加入者への意識づけ																	
その他	2,5	既存	加入者への情報の提供と啓蒙	全て	男女	18～74	加入者全員	3	エ,ケ	<ul style="list-style-type: none"> ・紙・メール、イントラネットの掲示板、健康ポータルサイトの活用により情報提供及び教育を行う。 ・外部講師を招いての講習会の開催を行う。 	ア,イ,ケ,コ,シ	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業所並びに母体企業保険師との連携による情報提供の実施。 ・事業毎の外注先との連携による事業計画の策定と実施。 ・健保連神奈川連合会の保険師との連携による講習会の実施。 	外部委託しない	40,223	<ul style="list-style-type: none"> ①「健康保険のしおり」配布 ②「健保だより」の掲載(社内報) ③健康ポータルを活用した情報提供、健康取組増進とインセンティブ制度の導入 ④健康増進講習会 ⑤特定健康診査事業(被保険者) ⑥特定健康診査事業(被扶養者) ⑦健診費用補助①(被保険者向け) ⑧健診費用補助②(配偶者向け30歳未満) ⑨健診費用補助③(被扶養者向け：30～39歳) ⑩特定保健指導事業 ⑪重症化予防事業 ⑫事業主との健康施策相互支援 ⑬インフルエンザの予防接種 ⑭歯磨きキャンペーン、口腔ケアプログラムの推進 ⑮医療費通知の送付(被保険者) ⑯ジェネリック差額通知 ⑰育児教育用冊子配布 ⑱禁煙推進施策の実施 	保健事業の年度事業計画の100%実施を目指し、健保加入者に対する適切な情報提供と健康教育を推進する。	被保険者男性において生活習慣病医療費の割合が大きく「肥満」「血圧」「肝機能」の指標のリスク該当率が高い。運動・食事の生活習慣改善等、総合的な対策が必要となる。
個別の事業																	
特定健康診査事業	3	既存(法定)	特定健康診査事業(被保険者)	全て	男女	40～74	被保険者	3	ク,シ	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施方法について、年度初めに事業主と擦り合わせ確認を行う。 ・5月中旬までに、健診の実施案内を行う。(事業主) ・未受診者(受診の未確認)をリストアップして、事業所と擦り合わせることで、事業所から健保への報告漏れ(データ不備)をなくす。 	ア,コ,サ	<ul style="list-style-type: none"> ・事業主の定期健診にて行う。 ・事業所の指定健診機関にて受診。(一部は個人健診機関) ・未受診者については、事業所から職制を通じてフォロー ・健診結果が紙ベースや問診内容が抜けているデータは、パンチしてデータ取込みを行う。 	外部委託しない	2,500	<ul style="list-style-type: none"> ・事業主健診と合わせて特定健診を実施して受診機会を確保する。 ・事業主と連携しながら健診データ未提出者へのフォロー(健診データの収集)を行うことにより、受診率を向上する。 	特定健康診査の受診により、疾病の早期発見、早期治療により健康の維持・増進を図る。	生活習慣病による医療費の抑制には、状態悪化の早期発見が欠かせない。法定健診に加え、その他精密検査の利用を促すことで早期発見の強化に努めることが必要となる。
特定健康診査事業	3	既存(法定)	特定健康診査事業(被扶養者)	全て	男女	40～74	被扶養者	1	ア,ケ	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて受診案内を行い、受診漏れを防ぐ。 ・未受信者への受診勧奨を行う。 ・他の保険者による健診を受診した方については、受診結果の提出を促す。 	サ	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回、健保組合及び外部業者から被扶養者宛に受診券及び輸送案内の配布。 ・年1回、健保組合から被保険者宛に受診案内送付(社内メール) ・年1回、健保組合から被保険者宛に受診勧奨案内(メール)及び受診勧奨はがきを発送。 	外部委託しない	13,000	<ul style="list-style-type: none"> ・被扶養者について、自宅宛に受診案内はがきを発送する等、通年で特定健診の受診を促す。 ・受診率向上を図るため、外部委託先を活用する。 ・他で受診した者については、受診結果の提出を促す。 	特定健康診査の受診により、疾病の早期発見、早期治療により健康の維持・増進を図る。	生活習慣病による医療費の抑制には、状態悪化の早期発見が欠かせない。法定健診に加え、その他精密検査の利用を促すことで早期発見の強化に努めることが必要となる。

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	注2) 事業名	対象者				注3) 実施主体	注4) プロセス分類	実施方法	注5) ストラクチャー分類	実施体制	外部委託先	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者										
アウトプット指標													アウトカム指標				
特定保健指導事業	4	既存(法定)	特定保健指導事業	全て	男女	40～74	被保険者,基準該当者	3	ク,ケ,シ	・平成30年度までは、被保険者の対象者について事業主と情報を共有し、事業所から指導参加を強く促し、参加を促進する。 ・平成31年度以降、対象者に被扶養者も加え実施率を向上させる。 ・地方拠点でも受診しやすい環境整備を行うなど、利便性の向上を図る。	ア,コ	・事業主と連携して実施体制(対象者への通知、就業中の参加)の構築・環境整備を行う。 ・被扶養者については、平成31年度より健診結果と併せて該当者へ連絡するか(受診券方式)、健診会場にて当日該当者が面談を行う。(全国巡回健診)	外部委託しない	10,000	事業主や健康管理室と連携し、特定保健指導の実施体制の構築及び環境整備を推進し、指導の実施率向上と指導該当者の減少を目指す。	特定健診の結果、各項目の数値を基準に所謂グレーゾーンの者に対して、健康の維持・改善を図るために目標を与え定期的に指導を行う。	被保険者男性において生活習慣病医療費の割合が大きく「肥満」「血圧」「肝機能」の指標のリスク該当率が高い。運動・食事の生活習慣改善等、総合的な対策が必要となる。
保健指導実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：60%)平成35年度実施率60%を目指す。													保健指導該当率(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：20%)平成35年度の特定保健指導該当率を20%までに下げる。				
保健指導宣伝	5	既存	健康増進推進委員会	全て	男女	18～74	被保険者	3	エ,ケ	-	ア,イ,コ	-	外部委託しない	0	事業所と健保組合が共同で各拠点の衛生管理者向けに生活習慣病予防や健康管理に関するセミナーを開催する。	健康増進推進委員に対し、健康に必要な情報の提供や教育を通じて、健康の維持・増進を図る。	被保険者男性において生活習慣病医療費の割合が大きく「肥満」「血圧」「肝機能」の指標のリスク該当率が高い。運動・食事の生活習慣改善等、総合的な対策が必要となる。
開催回数(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：1回)開催実績回数。													開催回数(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：1回)-				
5	新規		ホームページによる健康増進等の情報提供	全て	男女	14～74	加入者全員	1	ス	-	ス	-	外部委託しない	--	-	-	該当なし
5	既存		「健保だより」の掲載(社内報)	全て	男女	18～74	加入者全員,基準該当者,定年退職予定者	3	ケ,ス	季節に応じたイベントや生活習慣改善に関する健康情報・ニュース等を定期的に発信する。	サ	・社内報に「健保だより」の記事を掲載する。 ・健保にて記事原稿を寄稿。(季節性疾患は保険師から案内) ・社内メール・イントラ等を活用して、再周知を図る。	外部委託しない	0	社内報への「健保だより」の記事掲載を通じて、季節に応じたイベントや生活習慣改善に関する健康情報を提供することで、加入者の健康リテラシー向上及び健康増進取組を促進する。	「健保だより」を通じて健保組合員に対し、必要な情報の提供や啓蒙によって、健康リテラシー向上及び健康増進取組を促進する。	被保険者男性において生活習慣病医療費の割合が大きく「肥満」「血圧」「肝機能」の指標のリスク該当率が高い。運動・食事の生活習慣改善等、総合的な対策が必要となる。
情報発信の回数(【実績値】6回 【目標値】令和5年度：6回)-													社内報には、多くの記事が載っており「健保だより」だけについて、掲載の効果測定ができないため。(アウトカムは設定されていません)				
5	既存		医療費通知の送付	全て	男女	18～74	被保険者	1	エ,ス	・年4回、紙通知を送付。(平成30年度まで) ・健康ポータル(WEB)経由で医療費通知を実施。(平成31年以降)	サ,ス	・平成31年以降、健康ポータルのマイページ上で参照可能とする。	外部委託しない	100	・平成30年度までは、年4回紙通知を行い、健康ポータルへの移行の準備期間とする。 ・平成31年以降被保険者宛に、原則WEBによる医療費通知を定期的に提供する。	医療費通知により、加入者の適切な受診を目指し、自身の医療費の利用状況を認識することで、医療費の提言を図る。	正しい受療行動に関する情報提供を通じたりテラシーの底上げを図りつつ、医療費の抑制に余地のある後発薬活用やセルフメディケーションを促していくことが必要となる。
加入者への案内実施率(【実績値】100% 【目標値】令和5年度：100%)-													閲覧人数(【実績値】1,506人 【目標値】令和5年度：1,500人)平成35年までに被保険者全員が健康ポータルで医療費通知を閲覧することを目標とする。				
5	既存		ジェネリック薬品切り替え促進	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ク,ケ	・健康ポータル(WEB)経由でジェネリック差額通知を実施。 ・健康ポータル等でジェネリック利用に関する情報提供を行い、利用促進を図る。	サ	・健康ポータル上で参照可能とする。	外部委託しない	0	定期的に差額通知を掲載するとともに、ジェネリック医薬品に関する情報提供やその他の媒体による情報提供を通じ、ジェネリックの利用を促す。	ジェネリック医薬品の利用率を向上させる。	正しい受療行動に関する情報提供を通じたりテラシーの底上げを図りつつ、医療費の抑制に余地のある後発薬活用やセルフメディケーションを促していくことが必要となる。
通知書の送付率(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：100%)-													数量シェア(【実績値】67% 【目標値】令和5年度：80%)平成35年までに厚生労働省目標値の数量シェア80%以上を目指す。				
2	既存		育児教育用冊子の配布	全て	男女	18～74	基準該当者	1	ク	・1年間定期購読できるように、育児情報誌を出産した加入者宅へ送付する。 ・読者向け満足度調査アンケートを実施する。	サ	・被保険者・被扶養者が出産した際に、委託業者へ定期購読のための情報提供を行う。 ・健保組合にて外部業者と契約、費用を負担する。	外部委託しない	170	出産を迎えた被保険者・被扶養者宛に育児誌「赤ちゃんともママ」「同季刊紙」を配布する。	乳児の健康維持と健康リテラシーの高い親の人数の増加。	被扶養者(子供)での加算受診割合が高い水準となっている。正しい知識を提供することで不要・不急な医療の抑制に協力してもらう必要がある。
案内実施率(【実績値】100% 【目標値】令和5年度：100%)-													満足度調査(【実績値】50% 【目標値】令和5年度：50%)満足度は、読者はがきの回収によってはかる。				
5	新規		禁煙サポートプログラム	全て	男女	20～74	加入者全員	3	ク,ケ,シ	・禁煙関連ポスターの掲示。 ・社内イントラで健康情報の提供を行う。 ・各事業所/職場に対して、禁煙キャンペーンの取組を働きかける。 ・禁煙外来の費用補助を行う。	ア,イ,ス	・健康増進委員会で禁煙対策の必要性を共有する。 ・禁煙外来費用について、健保負担。	外部委託しない	60	・禁煙サポートの取組として、禁煙キャンペーンの実施や禁煙外来の費用補助を行う。 ・禁煙外来の費用補助を行い、禁煙に成功する人の数を増やす。	・平成31年度まで、健康増進委員会を開催し事業所との連携の強化を図る。 ・平成32年度以降、禁煙に取組む人の増加。	男性における喫煙率が全年齢層で高い水準にある。将来の生活習慣病の重症化予防に向けて、喫煙対策の検討・実施の強化が必要となる。
健康増進委員会の開催回数(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：1回)-													喫煙率(40歳以上)(【実績値】39.6% 【目標値】令和5年度：26%)-				
禁煙キャンペーンの実施回数(【実績値】 - 【目標値】 令和5年度：1回)-																	
8	新規		適正服薬通知	全て	男女	18～74	基準該当者	1	ク	-	ス	-	外部委託しない	--	-	-	正しい受療行動に関する情報提供を通じたりテラシーの底上げを図りつつ、医療費の抑制に余地のある後発薬活用やセルフメディケーションを促していくことが必要となる。

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	注2) 事業名	対象者				注3) 実施主体	注4) プロセス分類	実施方法	注5) ストラクチャー分類	実施体制	外部委託先	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者										
アウトプット指標													アウトカム指標				
5		既	「健康保険のしおり」配布	全て	男女	18～74	被保険者	1	ケ	・「健康保険のしおり」の作成配布・周知等を通じて、健保の仕組みや保健事業内容の周知・広報を行う。 ・作成・配布は原則1年おきに実施する。 ・大きな法令変更がない場合は、新規発行は行わず、改正点のみを差分配布する。	サ	・健保にて「健康保険のしおり」冊子内容の見直し・改定を定期的に行う。 ・職場経由で被保険者に配布。(自宅に持ち帰るよう指導) ・情報の鮮度管理含め、内部の管理体制の強化を進める。 ・社内メールやイントラ掲示板等で更なる周知・浸透を図る	外部委託しない	1,200	「健康保険のしおり」冊子の見直しによって改定部分の差分配布や新規改訂版の配布等により、保健事業の周知広報を図ることで、加入者の健康リテラシー向上及び健康増進取組を促進する。 今年度実施しない理由:-	「健康保険のしおり」冊子の見直しによって改定部分の差分配布や新規改訂版の配布等により、保健事業の周知広報を図ることで、加入者の健康リテラシー向上及び健康増進取組を促進する。	被保険者男性において生活習慣病医療費の割合が大きく「肥満」「血圧」「肝機能」の指標のリスク該当率が高い。運動・食事の生活習慣改善等、総合的な対策が必要となる。
保健事業案内冊子の見直し・改定(【実績値】1回 【目標値】令和5年度:1回)-													改正差分又は最新版しおりの配布率(【実績値】100% 【目標値】令和5年度:100%)-				
2,5		新規	健康ポータルを活用した情報提供、健康取組増進とインセンティブ制度の導入	全て	男女	18～74	加入者全員	1	ア,エ,ケ	・健康ポータルの導入・活用を通じて、加入者の健康増進をサポート。 ・健康ポータルサイトでは、以下サービス機能の利用が可能。 ①各種健診データの参照(健診データ、医療費通知など) ②個人の健康データに応じたお勧めコンテンツ等の閲覧 ③健康ポイントプログラム ・健康ポイントに応じてインセンティブプログラムを提供。(平成31年度以降、商品交換可能) ・健康ポイントが獲得できるプログラム・イベント等を検討。	ア,サ	・健保組合にてベネフィットワン・ヘルスケアと契約、費用負担。 ・「健保だより」や社内メール等を活用しながら、更なる周知・浸透を図る。 ・健康づくり取組施策の参加毎にポイントが付与。 ・健康ポータル管理画面で管理	外部委託しない	5,600	・健康ポータルを活用し、分かり易い情報提供と課題の可視化、支援メニューの提案等を通じ加入者の生活習慣改善につなげる。 ・インセンティブプログラムを提供し、加入者の健康づくり取組みへの積極的かつ継続的参加を促す。 ・被保険者の継続的な利用率を向上させる。 今年度実施しない理由:-	・加入者全員の健康意識向上、行動変容による疾病リスクの低減。 ・継続利用を図るため、健康インセンティブを導入し、加入者が健康づくりの取組みに参加することでポイントが付与され、商品との交換も可能。	被保険者男性において生活習慣病医療費の割合が大きく「肥満」「血圧」「肝機能」の指標のリスク該当率が高い。運動・食事の生活習慣改善等、総合的な対策が必要となる。 ①一定数がん罹患する加入者がいることから、がんに正しく備えるためのリテラシーの向上が必要となる。 ②がんへの対応力強化は、早期発見が欠かせない。各種がん検診実施の検討も求められる。特に女性は婦人科系疾患の早期発見支援が必要となる。 ③がん早期に適切に対応できるよう、治療選択のサポートや治療の選択肢を増やす等のサポートも考えられる。 ④被保険者においても、がん罹患が目立つ。働きながらがんの治療を確保するための環境整備も課題となる。
被保険者のログイン率(【実績値】- 【目標値】令和5年度:100%)・実績把握は、管理者画面より集計。 ・平成35年までにログイン率100%を目指す。													ポイント申請人数(【実績値】- 【目標値】令和5年度:300人)・平成35年度で被保険者1,500名の約2割が申請。 ・管理者画面で集計。				
管理画面での集計回数(【実績値】- 【目標値】令和5年度:12回)毎月1回、管理者画面にて実績を管理													各事業への参加者数(【実績値】- 【目標値】令和5年度:450人)・平成35年度で被保険者1,500名の約3割が参加。 ・管理者画面で集計。				
2		新規	歯磨きキャンペーン、口腔ケアプログラムの推進	全て	男女	7～74	基準該当者	1	ケ	・健康ポータル等を活用しながら、歯周病等に関する健康情報の提供を行い、加入者に対して口腔ケアのニーズ喚起を行う。 ・口腔ケアプログラムの企画・実施について検討する。	ス	・健康ポータルや社内イントラ等を活用して、健保組合からタイムリーに情報提供を行う。 ・口腔ケアプログラムの実施費用等を健保組合にて負担する。	外部委託しない	500	歯周病等に関する健康情報の提供及び口腔ケアプログラムの提供を通じて、加入者の口腔ケアに関する取組を推進する。 今年度実施しない理由:-	口腔ケア・歯周病予防に関する取組参加者の増加。	加入者一人当りの歯科医療費単価は、健保連と同水準だが、引続き歯科関連疾患の予防や重症化防止対策が求められる。
案内・情報発信の回数(【実績値】- 【目標値】令和5年度:1回)年1回													コンテンツ利用者(閲覧者)(【実績値】- 【目標値】令和5年度:50人)50人				
疾病予防	2,4	既	重症化予防事業	全て	男女	18～74	基準該当者	3	ク,ケ	・医療機関受診勧奨の対象者リストを作成。 ・各事業所及び母体企業保険師との打合せの場にて、対象者情報を共有。 ・保険師から該当者に電話またはメールにて連絡し、個別指導・面談をする。	ア,コ	・事業主に実施委託。	外部委託しない	0	生活習慣病リスク保有者に対し、個別面談を行い、適切な受療を促す。	事業所及び母体企業保険師との間で、生活習慣病リスク保有者で未受療の被保険者の情報を共有し、重症化の予防と医療費抑制を図る。	生活習慣病発病レベルかつ未受療のケースが(35.6%)を占めている。高血圧症や糖尿病を中心として、重症化予防に向けて適切な受療が必要となる。
対象者への受療勧奨の実施率(【実績値】50% 【目標値】令和5年度:100%)30年度は、事業所・保険師への情報提供環境を整え、31年度より実質稼働となる。													対象者の受診率(【実績値】- 【目標値】令和5年度:50%)平成34年度までに、対象者の受診率を50%まで高める。				
3		既	健診費用補助(被保険者向け)	全て	男女	18～74	被保険者,基準該当者	3	ク,ケ	事業主診断と合わせて、がん検診・精密検査等を実施。	サ	・事業主健診と合わせて、各種健診の実施と費用補助を実施。 ・母体企業の保険師から受診勧奨。	外部委託しない	8,800	・事業主健診と合わせて、各種検査に対する費用補助を実施。 ・事業主と連携しながら未受信者へのフォロー(健診データの収集)を行う等して、受診率を向上させる。	事業主の実施する定期健康診断とのコラボレーションで組合員の健康の維持・増進を図る。	生活習慣病による医療費の抑制には、状態悪化の早期発見が欠かせない。法定健診に加え、その他精密検査の利用を促すことで早期発見の強化に努めることが必要となる。 ①一定数がん罹患する加入者がいることから、がん正しく備えるためのリテラシーの向上が必要となる。 ②がんへの対応力強化は、早期発見が欠かせない。各種がん検診実施の検討も求められる。特に女性は婦人科系疾患の早期発見支援が必要となる。 ③がん早期に適切に対応できるよう、治療選択のサポートや治療の選択肢を増やす等のサポートも考えられる。 ④被保険者においても、がん罹患が目立つ。働きながらがんの治療を確保するための環境整備も課題となる。
未受信者への受診勧奨実施率(【実績値】60% 【目標値】令和5年度:100%)-													健診受診率(【実績値】99% 【目標値】令和5年度:99%)-				

予算科目	注1)事業分類	新規既存	注2)事業名	対象者				注3)実施主体	注4)プロセス分類	実施方法	注5)ストラクチャー分類	実施体制	外部委託先	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者										
アウトプット指標													アウトカム指標				
3		既	健診費用補助(配偶者向け:30歳未満)	全て	男女	18~29	被扶養者,基準該当者	1	ク,ケ	5月中旬までに、配偶者向けの健診費用補助制度について案内を行う。	ア,サ	・「健康保険のしおり」、イントラネット掲示板等を通じて、対象者宛に案内。 ・健診費用の一部を健保にて負担。(上限1万円)	外部委託しない	100	病気の早期発見・早期対策の強化に向け、健診費用の補助を通じて配偶者健診の受診を促す。	30歳未満の配偶者に対し、健診の費用補助を行うことで健診の受診率を上げ、病気の早期発見・治療を図る。	生活習慣病による医療費の抑制には、状態悪化の早期発見が欠かせない。法定健診に加え、その他精密検査の利用を促すことで早期発見の強化に努めることが必要となる。 ①一定数がん罹患する加入者がいることから、がんに正しく備えるためのリテラシーの向上が必要となる。 ②がんへの対応力強化は、早期発見が欠かせない。各種がん検診実施の検討も求められる。特に女性は婦人科系疾患の早期発見支援が必要となる。 ③がんにより早期に適切に対応できるよう、治療選択のサポートや治療の選択肢を増やす等のサポートも考えられる。 ④被保険者においても、がん罹患が目立つ。働きながらがんの治療を確保するための環境整備も課題となる。
補助金制度の案内実施回数(【実績値】1回 【目標値】令和5年度:1回)-													受診者数(【実績値】0人 【目標値】令和5年度:10人)-				
3		既	健診費用補助(被扶養者向け:30~39歳)	全て	男女	30~39	被扶養者,基準該当者	1	ク,ケ	5月中旬までに、被扶養者向け検診費用補助制度について案内を行う。	ア,サ	・「健康保険のしおり」、イントラネット掲示板等を通じて、対象者宛に案内。 ・健診費用の一部を健保にて負担。(上限2万円)	外部委託しない	2,900	病気の早期発見・早期治療の強化に向け、健診費用の補助を通じて被扶養者の健診受診を促す。	30歳以上39歳までの被扶養者に対し、健診の費用補助を行うことで健診の受診率を上げ、病気の早期発見・治療を図る。	生活習慣病による医療費の抑制には、状態悪化の早期発見が欠かせない。法定健診に加え、その他精密検査の利用を促すことで早期発見の強化に努めることが必要となる。 ①一定数がん罹患する加入者がいることから、がんに正しく備えるためのリテラシーの向上が必要となる。 ②がんへの対応力強化は、早期発見が欠かせない。各種がん検診実施の検討も求められる。特に女性は婦人科系疾患の早期発見支援が必要となる。 ③がんにより早期に適切に対応できるよう、治療選択のサポートや治療の選択肢を増やす等のサポートも考えられる。 ④被保険者においても、がん罹患が目立つ。働きながらがんの治療を確保するための環境整備も課題となる。
補助制度の案内実施回数(【実績値】1回 【目標値】令和5年度:1回)-													受診者数(【実績値】10人 【目標値】令和5年度:60人)平成35年度までに、受診者60人を目標。				
2,5		新規	インフルエンザの予防接種と費用補助	全て	男女	18~74	被保険者	3	ケ	・被保険者を対象に11月、12月の時期にインフルエンザの予防接種を行う。	ア,コ	・実施による費用補助は、1人・1回で1,000円を健保組合が行う。 ・事業所・拠点単位で集団予防接種の実施も検討。	外部委託しない	1,300	各事業所との連携をしながら、インフルエンザの罹患リスクの軽減及び重症化予防のため、予防接種の利用促進を図る。	インフルエンザの感染予防並びに重症化予防に向けた予防接種の利用者数増加。	①季節性疾患等は、被扶養者(子供)の罹患が多い。家庭での予防対策等が徹底されるよう、リテラシーの向上を図る必要がある。 ②被保険者のインフルエンザの罹患は、1週間程度の業務離脱を伴うことから、予防接種をはじめとした対策強化が必要となる。
案内回数(【実績値】- 【目標値】令和5年度:1回)-													接種率(【実績値】- 【目標値】令和5年度:40%)-				
体育奨励	8	既	プール、アイススケート利用	全て	男性	18~74	加入者全員	1	ス		ケ		外部委託しない	--			該当なし
その他	1	既	事業主との健康施策相互支援	全て	男女	18~74	被保険者	3	キ,シ	・年1回「健康管理事業推進委員会」を開催する。 ・各事業所における健康課題の共有、保健事業の実施・展開方法等について、議論・検討を行う。	ア	・「健康管理事業推進委員会」は、健保組合が事務局を担い、産業医・健保・保険師・労組・人事の各メンバーが参加する。 ・健康課題の共有は、分析レポート資料を活用する。	外部委託しない	50	健康管理事業推進委員会を開催し、各事業所の健康課題の共有及び各職場における健康施策の推進方法について、意見交換・協議を行う。	健保組合と事業所との協力体制の構築と事業主の職場環境や健康対策事業を把握し、情報共有を図る。	一部事業所において、「労災関連基礎疾患」「突然死」「メンタルヘルス疾患」「SAS」のリスク該当率が高くなっている。生活習慣病の予防が当該リスクの軽減にもつながることから、事業所と連携した対策検討・実施の強化も必要となる。
健康管理事業推進委員会の開催回数(【実績値】- 【目標値】令和5年度:1回)年1回開催													健康管理事業推進委員会の開催が目的で、アウトカムは設定しない。(アウトカムは設定されていません)				

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 事業名の後に「*」がついている事業は共同事業を指しています。

注3) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注4) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用(情報作成又は情報提供でのICT活用など) オ. 専門職による対面での健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施
キ. 定量的な効果検証の実施 ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 シ. 事業主と健康課題を共有 ス. その他

注5) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 専門職との連携体制の構築(産業医・産業保健師を除く) エ. 他の保険者との共同事業 オ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 カ. 自治体との連携体制の構築 キ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 ク. 保険者協議会との連携体制の構築
ケ. その他の団体との連携体制の構築 コ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) サ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) シ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) ス. その他

STEP 4-1 事業報告

事業の一覧

職場環境の整備

- 1 健診データの確実な収集

加入者への意識づけ

- 1 加入者への情報の提供と啓蒙

個別の事業

- 1 特定健康診査事業（被保険者）
- 2 特定健康診査事業（被扶養者）
- 3 特定保健指導事業
- 4 重症化予防事業
- 5 健診費用補助（被保険者向け）
- 6 健診費用補助（配偶者向け：30歳未満）
- 7 健診費用補助（被扶養者向け：30～39歳）
- 8 インフルエンザの予防接種と費用補助
- 9 事業主との健康施策相互支援
- 10 健康増進推進委員会
- 11 ホームページによる健康増進等の情報提供
- 12 「健保だより」の掲載（社内報）
- 13 医療費通知の送付
- 14 ジェネリック薬品切り替え促進
- 15 育児教育用冊子の配布
- 16 禁煙サポートプログラム
- 17 適正服薬通知
- 18 プール、アイススケート利用

【保健事業の基盤】 職場環境の整備

1 事業名	健診データの確実な収集								
健康課題との関連	被保険者男性において生活習慣病医療費の割合が大きく「肥満」「血圧」「肝機能」の指標のリスク該当率が高い。 運動・食事の生活習慣改善等、総合的な対策が必要となる。								
分類									
注1)事業分類	計画	1-エ,2	実施主体	計画	3. 健保組合と事業主との共同事業	予算科目	(予算措置なし)	新規・既存区分	既存
	実績	1-エ,2		実績	3. 健保組合と事業主との共同事業				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 加入者全員							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 加入者全員							
注2)プロセス分類	計画	イ,ウ,エ,オ キ,ク,ケ	実施方法	計画	<ul style="list-style-type: none"> ・定期健康診断の前に各事業所へ健診データの提供依頼のメールを出す。 ・健診実施後、母体企業から保健師を通じてデータを回収し、事業所からは直接回収する。 ・健診結果がデータ化できない健診機関については、データ化の依頼を行い、データ化ができない場合は、事業所に他の健診機関に代えてもらう。 	予算額	0千円		
	実績	イ,ウ,エ,オ キ,ク,ケ		実績	<ul style="list-style-type: none"> ・定期健康診断の前に各事業所へ健診データの提供依頼のメールを出す。 ・健診実施後、母体企業から保健師を通じてデータを回収し、事業所からは直接回収する。 ・健診結果がデータ化できない健診機関については、データ化の依頼を行い、データ化ができない場合は、事業所に他の健診機関に代えてもらう。 				
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,イ,キ,サ	実施体制	計画	<ul style="list-style-type: none"> ・母体企業並びに事業所については、健診データの重要性を説明し、協力を要請する。 ・契約健診機関には、引続き健診データの提供を依頼していく。 ・健診結果がいただけない健診機関には、協力依頼を行う。 	決算額	0千円		
	実績	ア,イ,キ,サ		実績	<ul style="list-style-type: none"> ・母体企業並びに事業所については、健診データの重要性を説明し、協力を要請する。 ・契約健診機関には、引続き健診データの提供を依頼していく。 ・健診結果がいただけない健診機関には、協力依頼を行う。 				
実施計画 (令和5年度)	対象外								
振り返り	実施状況・時期		<ul style="list-style-type: none"> ・母体人事部と定期健康診断、特定健康診査の打合せを持ち、データ受領についての現状を説明し、人事部からも事業所に対しデータ提供の依頼を行った。 ・データ受領ができていない事業所には、健診結果報告書から手入力を行った。 						
	成功・推進要因		<ul style="list-style-type: none"> ・人事部との事前打合せ等を複数回実施することで、データ提供が早期に行われた。 						
	課題及び阻害要因		<ul style="list-style-type: none"> ・課題としては、データが健診部分と問診部分が分かれていて両方が揃わないと1件のデータとして登録できない。 ・XMLデータを提供できない医療機関に対する対応方法を検討する必要があります。 						
評価	4. 80%以上								
事業目標									

健診データの取込み漏れは、データヘルス計画の根幹に係る問題であるので、各事業所並びに母体企業の保険師、加えて健診機関にも協力を求め、平成32年度までに100%を実現する。

アウトプット指標

健診データの取込み率（【平成29年度末の実績値】50%【計画値/実績値】令和5年度：100%/80% 【達成度】80%）-[関西地区、中部地区の検診結果データの収集が、課題となっている。]

アウトカム指標

健診データの収集・取込みは、データヘルス計画の基本事項である。 まず、体制や環境を整えることでアウトカム指標は省略したい。
(アウトカムは設定されていません)

外部委託先	計画	外部委託しない
	実績	委託の有無 外部委託しない

【保健事業の基盤】 加入者への意識づけ

1 事業名	加入者への情報の提供と啓蒙								
健康課題との関連	被保険者男性において生活習慣病医療費の割合が大きく「肥満」「血圧」「肝機能」の指標のリスク該当率が高い。 運動・食事の生活習慣改善等、総合的な対策が必要となる。								
分類									
注1)事業分類	計画	2,5-ア,5-イ,5-ウ,5-エ,5-キ	実施主体	計画	3. 健保組合と事業主との共同事業	予算科目	その他	新規・既存区分	既存
	実績	2,5-ア,5-イ,5-ウ,5-エ,5-キ		実績	3. 健保組合と事業主との共同事業				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 加入者全員							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 加入者全員							
注2)プロセス分類	計画	エ,ケ	実施方法	計画	・紙・メール、イントラネットの掲示板、健康ポータルサイトの活用により情報提供及び教育を行う。 ・外部講師を招いての講習会の開催を行う。	予算額	40,223千円		
	実績	エ,ケ		実績	・紙・メール、イントラネットの掲示板、健康ポータルサイトの活用により情報提供及び教育を行う。 ・外部講師を招いての講習会の開催を行う。				
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,イ,ケ,コ,シ	実施体制	計画	・各事業所並びに母体企業保険師との連携による情報提供の実施。 ・事業毎の外注先との連携による事業計画の策定と実施。 ・健保連神奈川連合会の保険師との連携による講習会の実施。	決算額	17,902 千円		
	実績	ア,イ,ケ,コ,シ		実績	・各事業所並びに母体企業保険師との連携による情報提供の実施。 ・事業毎の外注先との連携による事業計画の策定と実施。 ・健保連神奈川連合会の保険師との連携による講習会の実施。				

実施計画 (令和5年度)	<ul style="list-style-type: none"> ①「健康保険のしおり」配布 ②「健保だより」の掲載(社内報) ③健康ポータルを活用した情報提供、健康取組増進とインセンティブ制度の導入 ④健康増進講習会 ⑤特定健康診査事業（被保険者） ⑥特定健康診査事業（被扶養者） ⑦健診費用補助①（被保険者向け） ⑧健診費用補助②（配偶者向け30歳未満） ⑨健診費用補助③（被扶養者向け：30～39歳） ⑩特定保健指導事業 ⑪重症化予防事業 ⑫事業主との健康施策相互支援 ⑬インフルエンザの予防接種 ⑭歯磨きキャンペーン、口腔ケアプログラムの推進 ⑮医療費通知の送付（被保険者） ⑯ジェネリック差額通知 ⑰育児教育用冊子配布 ⑱禁煙推進施策の実施
振り返り	<p>実施状況・時期 社内報の「健保だより」、ホームページの「健保からのお知らせ」を利用して、適宜、被保険者、被扶養者に対してヘルスリテラシー向上のための情報提供を実施した。</p> <p>成功・推進要因 事業主とコラボヘルスを推進することで、順調に実施できた。特に、健康増進講習会は、テーマを決めて実施しているので、参加者から評価を頂いている。</p> <p>課題及び阻害要因 実施できなかった項目については、コラボヘルスだけでは簡単に進められず、実施までに時間をかけて検討をする必要がある。</p>
評価	4. 80%以上
事業目標	
保健事業の年度事業計画の100%実施を目指し、健保加入者に対する適切な情報提供と健康教育を推進する。	
アウトプット指標	
<p>年度計画の達成率（【平成29年度末の実績値】90%【計画値/実績値】令和5年度：100%/90% 【達成度】90%）-[歯科に関わる事業については、令和6年度以降、再度、実施内容を検討し、計画を練り直す予定。]</p>	
アウトカム指標	
<p>加入者への情報の提供と啓蒙とすることで、内容が異なる事業が多いためアウトカムは、個々の事業にて設定するのでここでは省略します。 (アウトカムは設定されていません)</p>	
計画	外部委託しない

外部委託先

実績

委託の有無

外部委託しない

【個別の事業】

1 事業名	特定健康診査事業（被保険者）						
健康課題との関連	生活習慣病による医療費の抑制には、状態悪化の早期発見が欠かせない。法定健診に加え、その他精密検査の利用を促すことで早期発見の強化に努めることが必要となる。						
分類							
注1)事業分類	計画 3-ア,3-イ,3-ウ	実施主体	計画 3. 健保組合と事業主との共同事業	予算科目	特定健康診査事業	新規・既存区分	既存(法定)
	実績 3-ア, 3-イ, 3-ウ		実績 3. 健保組合と事業主との共同事業				
共同事業	共同事業ではない						
事業の内容							
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被保険者					
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被保険者					
注2)プロセス分類	計画	ク,シ	実施方法	計画	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施方法について、年度初めに事業主と擦り合わせ確認を行う。 ・5月中旬までに、健診の実施案内を行う。（事業主） ・未受診者（受診の未確認）をリストアップして、事業所と擦り合わせることで、事業所から健保への報告漏れ（データ不備）をなくす。 	予算額	2,500千円
	実績	ク,シ		実績			
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,コ,サ	実施体制	計画	<ul style="list-style-type: none"> ・事業主の定期健診にて行う。 ・事業所の指定健診機関にて受診。（一部は個人健診機関） ・未受診者については、事業所から職制を通じてフォロー ・健診結果が紙ベースや問診内容が抜けているデータは、パンチしてデータ取込みを行う。 	決算額	2,018千円
	実績	ア,コ,サ		実績			
実施計画 (令和5年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業主健診と合わせて特定健診を実施して受診機会を確保する。 ・事業主と連携しながら健診データ未提出者へのフォロー（健診データの収集）を行うことにより、受診率を向上する。 						

振り返り	実施状況・時期
	被保険者は、事業主の定期健康診査とタイアップしているため、被保険者については、高い実施率となっているが、被扶養者については、39.2%であり、全体では、82.6%となる。 被保険者対象者 1,024名 →受診率 100% 被扶養者対象者 413名 被扶養者受診者 163名 →受診率 39.5%
	※決裁額は、被保険者、被扶養者の合計額
	成功・推進要因
	被保険者の検診が高い達成率となっているのは、事業主の定期健康診断とのタイアップによるものと事業主及び管理職の遵法精神並びに職制を通じた働きかけによるものが大きい。 被扶養者の受診率の向上に向け、巡回健診の導入や受診券の配布を早めたことによるものである。
	課題及び阻害要因
	課題は、被扶養者の特定健康診査の受診率向上。阻害要因は、被扶養者の健康に対する意識付けが足りないことが上げられることから、分かり易い通知文とポイント付与等によるインセンティブ等の工夫が必要である。
評価	5. 100%

事業目標

特定健康診査の受診により、疾病の早期発見、早期治療により健康の維持・増進を図る。

アウトプット指標	健診データ未提出者への対策実施率（【平成29年度末の実績値】70%【計画値/実績値】令和5年度：100%/100% 【達成度】100.0%）・健診データ未提出者のいる事業所及び受診機関への督促実施率。[-]
アウトカム指標	特定健診受診率（【平成29年度末の実績値】99%【計画値/実績値】令和5年度：99%/100% 【達成度】101.0%）-[-]

外部委託先	計画	外部委託しない
	実績	外部委託した
	外部委託先事業者	登録されていないサービスを利用した ※データヘルス・ポータルサイトに登録されていないサービスを利用した場合には、評価の入力はできません。評価を入力する場合には、事業者にてデータヘルス・ポータルサイトに登録いただくようお願いください。

2 事業名 特定健康診査事業（被扶養者）

健康課題との関連 生活習慣病による医療費の抑制には、状態悪化の早期発見が欠かせない。法定健診に加え、その他精密検査の利用を促すことで早期発見の強化に努めることが必要となる。

分類									
注1)事業分類	計画	3-ア,3-イ,3-ウ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	特定健康診査事業	新規・既存区分	既存(法定)

	実績	3-ア, 3-イ, 3-ウ		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被扶養者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被扶養者							
注2)プロセス分類	計画	ア,ケ	実施方法	計画	<ul style="list-style-type: none"> 年間を通じて受診案内を行い、受診漏れを防ぐ。 未受信者への受診勧奨を行う。 他の保険者による健診を受診した方については、受診結果の提出を促す。 			予算額	13,000千円
	実績	ア,ケ		実績	<ul style="list-style-type: none"> ホームページからも情報提供や受診案内を行い、受診促進を図った。 未受信者への受診勧奨を行った。 				
注3)ストラクチャー分類	計画	サ	実施体制	計画	<ul style="list-style-type: none"> 年1回、健保組合及び外部業者から被扶養者宛に受診券及び輸送案内の配布。 年1回、健保組合から被保険者宛に受診案内送付（社内メール） 年1回、健保組合から被保険者宛に受診勧奨案内（メール）及び受診勧奨はがきを発送。 			決算額	3,040千円
	実績	サ		実績	<ul style="list-style-type: none"> 健保組合及び外部業者から被扶養者宛に受診券及び巡回健診の案内を実施した。 				
実施計画 (令和5年度)	<ul style="list-style-type: none"> 被扶養者について、自宅宛に受診案内はがきを発送する等、通年で特定健診の受診を促す。 受診率向上を図るため、外部委託先を活用する。 他で受診した者については、受診結果の提出を促す。 								
振り返り	実施状況・時期								
	<p>被保険者は、事業主の定期健康診査とタイアップしているため、被保険者については、高い実施率となっているが、被扶養者については、39.5%であり、全体では、82.6%となる。</p> <p>被保険者対象者 1,024名 →受診率 100%</p> <p>被扶養者対象者 413名 被扶養者受診者 163名 →受診率 39.5%</p>								
	<p>※決裁額は、被保険者、被扶養者の合計 ※被扶養者は、オプション受診料を含む</p>								
振り返り	成功・推進要因								
	<p>被保険者の検診が高い達成率となっているのは、事業主の定期健康診断とのタイアップによるものと事業主及び管理職の遵法精神並びに職制を通じた働きかけによるものが大きい。</p> <p>被扶養者の受診率が向上傾向なのは、巡回健診の導入や受診券の配付を早めたことによるものである。</p>								
	課題及び阻害要因								
振り返り	<p>課題は、被扶養者の特定健康診査の受診率向上。阻害要因は、被扶養者の健康に対する意識付けが足りないことが上げられることから、分かり易い通知文とポイント付与等によるインセンティブ等の工夫が必要である。</p>								
評価	1. 39%以下								

事業目標	
特定健康診査の受診により、疾病の早期発見、早期治療により健康の維持・増進を図る。	
アウトプット指標	未受信者への案内実施回数（【平成29年度末の実績値】1回【計画値/実績値】令和5年度：1回/1回 【達成度】100.0%）モニタリングの実施[-]
アウトカム指標	特定健診受診率（【平成29年度末の実績値】30%【計画値/実績値】令和5年度：80%/39.5% 【達成度】49.4%）-[-]
外部委託先	計画 外部委託しない
	実績 委託の有無 外部委託した
	外部委託先事業者 株式会社あまの創健（特定健診）、株式会社あまの創健（特定保健指導）、株式会社あまの創健（がん検診）

3	事業名	特定保健指導事業							
健康課題との関連	被保険者男性において生活習慣病医療費の割合が大きく「肥満」「血圧」「肝機能」の指標のリスク該当率が高い。運動・食事の生活習慣改善等、総合的な対策が必要となる。								
分類									
注1)事業分類	計画	4-イ	実施主体	計画	3. 健保組合と事業主との共同事業	予算科目	特定保健指導事業	新規・既存区分	既存(法定)
	実績	4-イ		実績	3. 健保組合と事業主との共同事業				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被保険者,基準該当者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被保険者,基準該当者							
注2)プロセス分類	計画	ク,ケ,シ	実施方法	計画	・平成30年度までは、被保険者の対象者について事業主と情報を共有し、事業所から指導参加を強く促し、参加を促進する。 ・平成31年度以降、対象者に被扶養者も加え実施率を向上させる。 ・地方拠点でも受診しやすい環境整備を行うなど、利便性の向上を図る。	予算額	10,000千円		
	実績	ク,ケ,シ		実績	・起用業者を3社として、該当者に希望した業者から特定保健指導を実施 ・本社地区の病院と契約し、健康診断当日に該当者に対する初回面談を実施				
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,コ	実施体制	計画	・事業主と連携して実施体制（対象者への通知、就業中の参加）の構築・環境整備を行う。 ・被扶養者については、平成31年度より健診結果と併せて該当者へ連絡するか（受診券方式）、健診会場にて当日該当者が面談を行う。（全国巡回健診）	決算額	1,196千円		
	実績	ア,コ		実績	・起用業者を3社として、該当者に希望した業者から特定保健指導を実施 ・本社地区の病院と契約し、健康診断当日に該当者に対する初回面談を実施				

実施計画 (令和5年度)	事業主や健康管理室と連携し、特定保健指導の実施体制の構築及び環境整備を推進し、指導の実施率向上と指導該当者の減少を目指す。		
振り返り	実施状況・時期	<ul style="list-style-type: none"> 対象者：1,437名 積極的支援対象者：173名 積極的支援実施者：19名 積極的支援対象者実施率：11.0% <ul style="list-style-type: none"> 動機付け支援対象者：77名 動機付け支援実施者：7名 動機付け支援対象者実施率：9.1% <ul style="list-style-type: none"> 合計実施率：10.4% 	
	成功・推進要因	本社地区において、該当となった被保険者に対して、健康診断当日、健康診断を受診した病院で、初回面談実施の可否を打診する方法を実施した。	
	課題及び阻害要因	<ul style="list-style-type: none"> 特定健康審査データを100%取込むことが課題である。（データの不備） 同一対象者に対するの二年目以降の指導方法が課題である。 	
	評価	4. 80%以上	

事業目標

特定健診の結果、各項目の数値を基準に所謂グレーゾーンの者に対して、健康の維持・改善を図るために目標を与え定期的に指導を行う。

アウトプット指標 保健指導実施率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：60%/10.4% 【達成度】 17.3%）平成35年度実施率60%を目指す。[-]

アウトカム指標

保健指導該当率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：20%/17.4% 【達成度】 87.0%）平成35年度の特定保健指導該当率を20%までに下げる。[173名+77名/1437名 17.4%]

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託した
		外部委託先事業者	登録されていないサービスを利用した ※データヘルス・ポータルサイトに登録されていないサービスを利用した場合には、評価の入力はできません。評価を入力する場合には、事業者にてデータヘルス・ポータルサイトに登録いただくようお願いください。

4 事業名 重症化予防事業

健康課題との関連 生活習慣病発病レベルかつ未受療のケースが(35.6%)を占めている。 高血圧症や糖尿病を中心として、重症化予防に向けて適切な受療が必要となる。

分類

注1)事業分類	計画	2,4-オ,4-カ	実施主体	計画	3. 健保組合と事業主との共同事業	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
---------	----	-----------	------	----	-------------------	------	------	---------	----

実績	2,4-才,4-カ	実績	3. 健保組合と事業主との共同事業			
----	-----------	----	-------------------	--	--	--

共同事業 共同事業ではない

事業の内容

対象者	計画	対象事業所	全て	性別	男女	年齢	18～74	対象者分類	基準該当者
	実績	対象事業所	全て	性別	男女	年齢	18～74	対象者分類	基準該当者

注2)プロセス分類	計画	ク,ケ	実施方法	計画	・医療機関受診勧奨の対象者リストを作成。 ・各事業所及び母体企業保険師との打合せの場にて、対象者情報を共有。 ・保険師から該当者に電話またはメールにて連絡し、個別指導・面談をする。	予算額	0千円
	実績	ク,ケ		実績	・事業主に実施委託。 ・産業保健師から該当者に電話またはメールにて連絡し、個別指導・面談を実施した。		
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,コ	実施体制	計画	・事業主に実施委託。	決算額	0千円
	実績	ア,コ		実績	・事業主に実施委託。 ・産業保健師から該当者に電話またはメールにて連絡し、個別指導・面談を実施した。		

実施計画 (令和5年度) 生活習慣病リスク保有者に対し、個別面談を行い、適切な受療を促す。

振り返り	実施状況・時期	重症化予防事業は、コラボヘルスにて母体人事部の産業看護師が受診勧奨を行い、産業医の就労判定をお願いしています。
	成功・推進要因	母体人事部の産業看護師が行うので、説得力があり、ほとんどの人が通院する傾向にある。
	課題及び阻害要因	会社全体としてのヘルスリテラシーを向上させる必要があります。

評価 4. 80%以上

事業目標

事業所及び母体企業保険師との間で、生活習慣病リスク保有者で未受療の被保険者の情報を共有し、重症化の予防と医療費抑制を図る。

アウトプット指標

対象者への受療勧奨の実施率（【平成29年度末の実績値】50%【計画値/実績値】令和5年度：100%/100% 【達成度】100.0%）30年度は、事業所・保険師への情報提供環境を整え、31年度より実質稼働となる。[-]

アウトカム指標

対象者の受診率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】令和5年度：50%/100% 【達成度】200.0%）平成34年度までに、対象者の受診率を50%まで高める。[-]

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託しない

5 事業名 健診費用補助（被保険者向け）

健康課題との関連	生活習慣病による医療費の抑制には、状態悪化の早期発見が欠かせない。法定健診に加え、その他精密検査の利用を促すことで早期発見の強化に努めることが必要となる。								
	①一定数がんに罹患する加入者がいることから、がんに正しく備えるためのリテラシーの向上が必要となる。 ②がんへの対応力強化は、早期発見が欠かせない。各種がん検診実施の検討も求められる。特に女性は婦人科系疾患の早期発見支援が必要となる。 ③がんが早期に適切に対応できるよう、治療選択のサポートや治療の選択肢を増やす等のサポートも考えられる。 ④被保険者においても、がん罹患が目立つ。働きながらがんの治療を確保するための環境整備も課題となる。								
分類									
注1)事業分類	計画	3-ア,3-ウ	実施主体	計画	3. 健保組合と事業主との共同事業	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	3-ア,3-ウ		実績	3. 健保組合と事業主との共同事業				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 被保険者,基準該当者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 被保険者,基準該当者							
注2)プロセス分類	計画	ク,ケ	実施方法	計画	事業主診断と合わせて、がん検診・精密検査等を実施。	予算額	8,800千円		
	実績	ク,ケ		実績	事業主診断と合わせて、がん検診・精密検査等を実施。				
注3)ストラクチャー分類	計画	サ	実施体制	計画	<ul style="list-style-type: none"> 事業主健診と合わせて、各種健診の実施と費用補助を実施。 母体企業の保険師から受診勧奨。 	決算額	9,834千円		
	実績	サ		実績	<ul style="list-style-type: none"> 事業主健診と合わせて、各種健診の実施と費用補助を実施。 母体企業の産業保健師から受診勧奨。 				
実施計画 (令和5年度)	<ul style="list-style-type: none"> 事業主健診と合わせて、各種検査に対する費用補助を実施。 事業主と連携しながら未受信者へのフォロー（健診データの収集）を行う等して、受診率を向上させる。 								

振り返り	実施状況・時期 被保険者に対しては、事業主(母体)が労働安全衛生法に基づく定期健康診断にコラボレーションする形でがん検診等をコースに組み入れ実施しているため、対象者はほとんどが受診している。 <ul style="list-style-type: none"> 胃検診(30歳以上) 1,012名 大腸がん糖尿病健診(30歳以上) 974名 前立腺健診(50歳以上男性) 629名 胸部CT・XP(30歳以上) 1,119名 乳がん検診(年齢不問女性) 65名 子宮がん健診(年齢不問女性) 45名 精密検査 5名
	成功・推進要因 事業主(母体)が実施する定期健康診断のため、遵法意識や職制を通じた働きかけにより、対象者のほぼ100%が受診する要因となっている。 また、産業看護師による受診勧奨も受診率を上げる要因となっている。 更に定期健康診断の結果の情報の集約を、グループ含めた全事業所より事業主(母体)で集約することとした。事業主の看護師が受診勧奨を行うと同時に産業医による就労判定も実施する体制が整備された。
	課題及び阻害要因 定期健康診断の結果に基づく受診勧奨後の後追いが必要

評価	3. 60%以上
----	----------

事業目標 事業主の実施する定期健康診断とのコラボレーションで組合員の健康の維持・増進を図る。	
--	--

アウトプット指標	未受信者への受診勧奨実施率(【平成29年度末の実績値】60%【計画値/実績値】令和5年度:100%/100%【達成度】100.0%) -[-]
アウトカム指標	健診受診率(【平成29年度末の実績値】99%【計画値/実績値】令和5年度:99%/100%【達成度】101.0%) -[-]

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託した
		外部委託先事業者	登録されていないサービスを利用した ※データヘルス・ポータルサイトに登録されていないサービスを利用した場合には、評価の入力はできません。評価を入力する場合には、事業者にてデータヘルス・ポータルサイトに登録いただくようお願いください。

6	事業名	健診費用補助(配偶者向け:30歳未満)
健康課題との関連	生活習慣病による医療費の抑制には、状態悪化の早期発見が欠かせない。法定健診に加え、その他精密検査の利用を促すことで早期発見の強化に努めることが必要となる。	
	<ol style="list-style-type: none"> ①一定数がん罹患する加入者がいることから、がんに正しく備えるためのリテラシーの向上が必要となる。 ②がんへの対応力強化は、早期発見が欠かせない。各種がん検診実施の検討も求められる。特に女性は婦人科系疾患の早期発見支援が必要となる。 ③がんにより早期に適切に対応できるよう、治療選択のサポートや治療の選択肢を増やす等のサポートも考えられる。 ④被保険者においても、がん罹患が目立つ。働きながらがんの治療を確保するための環境整備も課題となる。 	

分類									
注1)事業分類	計画	3-イ,3-ウ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	3-イ,3-ウ		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～29 対象者分類 被扶養者,基準該当者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～29 対象者分類 被扶養者,基準該当者							
注2)プロセス分類	計画	ク,ケ	実施方法	計画	5月中旬までに、配偶者向けの健診費用補助制度について案内を行う。			予算額	100千円
	実績	ク,ケ		実績	5月中旬までに、配偶者向けの検診案内（受診券・巡回健診）を実施した。				
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,サ	実施体制	計画	<ul style="list-style-type: none"> 「健康保険のしおり」、イントラネット掲示板等を通じて、対象者宛に案内。 健診費用の一部を健保にて負担。（上限1万円） 			決算額	0千円
	実績	ア,サ		実績	<ul style="list-style-type: none"> ホームページを通じて、対象者に受診勧奨を実施。 健診費用の一部を健保にて負担。（上限2万円） 				
実施計画 (令和5年度)	病気の早期発見・早期対策の強化に向け、健診費用の補助を通じて配偶者健診の受診を促す。								
振り返り	実施状況・時期		被扶養者に対しては、特定健診項目を含む健診受診者に健診補助を実施						
			<ul style="list-style-type: none"> 被扶養者の特定健診受診時のオプション受診 → 112名 30歳以上40歳未満の被扶養者の特定健診 基本項目を含む健診を受診 → 1名 30歳未満被扶養者である配偶者が特定健診 基本項目を含む健診を受診 → 0名 						
	成功・推進要因		未受診者に対する受診督促通知を発送しました。						
課題及び阻害要因		俗に岩盤層と呼ばれる未受診者に対する対応を検討する必要があります。							
評価	3. 60%以上								

事業目標	
30歳未満の配偶者に対し、健診の費用補助を行うことで健診の受診率を上げ、病気の早期発見・治療を図る。	
アウトプット指標	補助金制度の案内実施回数（【平成29年度末の実績値】1回【計画値/実績値】令和5年度：1回/1回 【達成度】100.0%）-[-]
アウトカム指標	受診者数（【平成29年度末の実績値】0人【計画値/実績値】令和5年度：10人/0人 【達成度】0.0%）-[-]
外部委託先	計画 外部委託しない
	実績 委託の有無 外部委託した
	外部委託先事業者 株式会社あまの創健（特定健診）、株式会社あまの創健（特定保健指導）、株式会社あまの創健（がん検診）

7	事業名	健診費用補助（被扶養者向け：30～39歳）							
健康課題との関連	生活習慣病による医療費の抑制には、状態悪化の早期発見が欠かせない。法定健診に加え、その他精密検査の利用を促すことで早期発見の強化に努めることが必要となる。								
	①一定数がん罹患する加入者がいることから、がんに正しく備えるためのリテラシーの向上が必要となる。								
	②がんへの対応力強化は、早期発見が欠かせない。各種がん検診実施の検討も求められる。特に女性は婦人科系疾患の早期発見支援が必要となる。								
	③がんにより早期に適切に対応できるよう、治療選択のサポートや治療の選択肢を増やす等のサポートも考えられる。								
④被保険者においても、がん罹患が目立つ。働きながらがんの治療を確保するための環境整備も課題となる。									
分類									
注1)事業分類	計画	3-イ,3-ウ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	3-イ,3-ウ		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 30～39 対象者分類 被扶養者,基準該当者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 30～39 対象者分類 被扶養者,基準該当者							
注2)プロセス分類	計画	ク,ケ	実施方法	計画	5月中旬までに、被扶養者向け検診費用補助制度について案内を行う。		予算額	2,900千円	

注3)ストラクチャー分類	実績	ク,ケ	実施体制	実績	5月中旬までに、配偶者向けの検診案内（受診券・巡回健診）を実施した。	決算額	16千円
	計画	ア,サ		計画	・「健康保険のしおり」、イントラネット掲示板等を通じて、対象者宛に案内。 ・健診費用の一部を健保にて負担。（上限2万円）		
	実績	ア,サ		実績	・ホームページを通じて、対象者に受診勧奨を実施。 ・健診費用の一部を健保にて負担。（上限2万円）		

実施計画 (令和5年度) 病気の早期発見・早期治療の強化に向け、健診費用の補助を通じて被扶養者の健診受診を促す。

振り返り	実施状況・時期	被扶養者に対しては、特定健診項目を含む健診受診者に健診補助を実施
		<ul style="list-style-type: none"> 被扶養者の特定健診受診時のオプション受診 → 112名 30歳以上40歳未満の被扶養者の特定健診 基本項目を含む健診を受診 → 1名 30歳未満被扶養者である配偶者が特定健診 基本項目を含む健診を受診 → 0名
	成功・推進要因	未受診者に対する受診督促通知を発送しました。
	課題及び阻害要因	俗に岩盤層と呼ばれる未受診者に対する対応を検討する必要があります。

評価 3. 60%以上

事業目標

30歳以上39歳までの被扶養者に対し、健診の費用補助を行うことで健診の受診率を上げ、病気の早期発見・治療を図る。

アウトプット指標 補助制度の案内実施回数（【平成29年度末の実績値】1回【計画値/実績値】令和5年度：1回/1回 【達成度】100.0%）-[-]

アウトカム指標 受診者数（【平成29年度末の実績値】10人【計画値/実績値】令和5年度：60人/1人 【達成度】1.7%）平成35年度までに、受診者60人を目標。[-]

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託した
	実績	外部委託先事業者	株式会社あまの創健（特定健診）、株式会社あまの創健（特定保健指導）、株式会社あまの創健（がん検診）

8 事業名 **インフルエンザの予防接種と費用補助**

健康課題との関連 ①季節性疾患等は、被扶養者(子供)の罹患が多い。家庭での予防対策等が徹底されるよう、リテラシーの向上を図る必要がある。
②被保険者のインフルエンザの罹患は、1週間程度の業務離脱を伴うことから、予防接種をはじめとした対策強化が必要となる。

分類

注1)事業分類	計画	2,5-キ,5-ク	実施主体	計画	3. 健保組合と事業主との共同事業	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	新規
	実績	2,5-キ,5-ク		実績	3. 健保組合と事業主との共同事業				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 被保険者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 被保険者,被扶養者							
注2)プロセス分類	計画	ケ	実施方法	計画	・被保険者を対象に11月、12月の時期にインフルエンザの予防接種を行う。	予算額	1,300千円		
	実績	ケ		実績	・被保険者を対象に11月、12月の時期にインフルエンザの予防接種を実施した。				
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,コ	実施体制	計画	・実施による費用補助は、1人・1回で1,000円を健保組合が行う。 ・事業所・拠点単位で集団予防接種の実施も検討。	決算額	369千円		
	実績	ア,コ		実績	・被保険者に対しては、1人・1回で、1,000円で、費用を補助した。 ・被扶養者に対しては、特定検診受診者に対して、1人・1回で3,000円補助した。				
実施計画 (令和5年度)	各事業所との連携をしながら、インフルエンザの罹患リスクの軽減及び重症化予防のため、予防接種の利用促進を図る。								
振り返り	実施状況・時期		<ul style="list-style-type: none"> インフルエンザ予防接種に対する費用補助 被保険者 1,540名の内、予防接種者 303名 接種率 19.7% 被扶養者 413名の内、予防接種者 22名 接種率 5.1% 						
	合計接種率 324/1953 16.6%		<ul style="list-style-type: none"> 被扶養者は、40歳以上を対象 10月、11月、12月で実施 						
成功・推進要因		母体人事部とのコラボヘルスの一環として実施しました。							
課題及び阻害要因		被扶養者に対する費用補助が、40歳以上の方のみを対象としているので、それ以外の方についても、検討する必要がある。							
評価	5. 100%								
事業目標									

インフルエンザの感染予防並びに重症化予防に向けた予防接種の利用者数増加。

アウトプット指標 案内回数（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：1回/1回 【達成度】 100.0%） -[-]

アウトカム指標 接種率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：40%/16.6% 【達成度】 41.5%） -[-]

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託した
		外部委託先事業者	登録されていないサービスを利用した ※データヘルス・ポータルサイトに登録されていないサービスを利用した場合には、評価の入力はできません。評価を入力する場合には、事業者にてデータヘルス・ポータルサイトに登録いただくようお願いください。

9	事業名	事業主との健康施策相互支援							
健康課題との関連	一部事業所において、「労災関連基礎疾患」「突然死」「メンタルヘルス疾患」「SAS」のリスク該当率が高くなっている。生活習慣病の予防が当該リスクの軽減にもつながることから、事業所と連携した対策検討・実施の強化も必要となる。								
分類									
注1)事業分類	計画	1-ア,1-エ	実施主体	計画	3. 健保組合と事業主との共同事業	予算科目	その他	新規・既存区分	既存
	実績	1-ア,1-エ		実績	3. 健保組合と事業主との共同事業				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 被保険者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 被保険者							
注2)プロセス分類	計画	キ,シ	実施方法	計画	・年1回「健康管理事業推進委員会」を開催する。 ・各事業所における健康課題の共有、保健事業の実施・展開方法等について、議論・検討を行う。	予算額	50千円		
	実績	キ,シ		実績	事業主と共同で、衛生管理者講習会、メンタルヘルス推進委員会を開催した。				
注3)ストラクチャー分類	計画	ア	実施体制	計画	・「健康管理事業推進委員会」は、健保組合が事務局を担い、産業医、健保・保険師・労組・人事の各メンバーが参加する。 ・健康課題の共有は、分析レポート資料を活用する。	決算額	28千円		
	実績	ア		実績	事業主と共同で、衛生管理者講習会、メンタルヘルス推進委員会を開催した。				
実施計画(令和5年度)	健康管理事業推進委員会を開催し、各事業所の健康課題の共有及び各職場における健康施策の推進方法について、意見交換・協議を行う。								

振り返り	実施状況・時期	<ul style="list-style-type: none"> ・衛生講演会（全国衛生週間に開催）を事業主と共催で衛生管理者講習会とメンタルヘルス推進委員会を合同で開催。 ・定期健康診断結果の報告 ・「心臓の不整脈」 AOI国際病院 副院長 熊丸裕也先生 ・生活習慣業について (受講者70名)
	成功・推進要因	<ul style="list-style-type: none"> ・随時、実施内容を見直してコストと効果に見合った事業を展開している。 ・母体人事部とのコラボレーションにより、毎年開催されている。 ・毎年開催しており、本社近隣営業所からの参加、テレビ会議による遠隔地（鹿島支店、中部支店、関西支店）からも出席。
	課題及び阻害要因	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、参加者のニーズ、時代の趨勢にあったテーマ選定が課題となる。 ・TV会議のより積極的な利用による、参加者の増加を目指す。

評価	5. 100%
----	---------

事業目標

健保組合と事業所との協力体制の構築と事業主の職場環境や健康対策事業を把握し、情報共有を図る。

アウトプット指標	健康増進推進委員会の開催回数（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：1回/2回 【達成度】 200.0%）年1回開催[・衛生管理者講習・メンタルヘルス講習 ※健康増進推進委員会は、健康増進推進委員会として、別事業として登録]
アウトカム指標	健康増進推進委員会の開催が目的で、アウトカムは設定しない。 (アウトカムは設定されていません)

外部委託先	計画	外部委託しない
	実績	委託の有無 外部委託しない

10 事業名 健康増進推進委員会

健康課題との関連 被保険者男性において生活習慣病医療費の割合が大きく「肥満」「血圧」「肝機能」の指標のリスク該当率が高い。 運動・食事の生活習慣改善等、総合的な対策が必要となる。

注1)事業分類	計画	5-ア,5-ウ,5-エ,5-オ,5-キ	実施主体	計画	3. 健保組合と事業主との共同事業	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	既存
	実績	5-ア, 5-ウ, 5-エ, 5-オ, 5-キ		実績	3. 健保組合と事業主との共同事業				
共同事業	共同事業ではない								

事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 被保険者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 被保険者							
注2)プロセス分類	計画	エ,ケ	実施方法	計画	-	予算額	0千円		
	実績	エ,ケ		実績	令和6年3月に開催した。				
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,イ,コ	実施体制	計画	-	決算額	0千円		
	実績	ア,イ,コ		実績	令和6年3月に開催した。				
実施計画 (令和5年度)	事業所と健保組合が共同で各拠点の衛生管理者向けに生活習慣病予防や健康管理に関するセミナーを開催する。								
振り返り	実施状況・時期 各事業主の健康増進推進委員を招集し、令和5年度の健康増進推進委員会を開催した。								
	成功・推進要因								
	令和6年度の保健事業、第3期データヘルス計画、特定健診・特定保健指導、健康スコアリングレポートについて、説明を行い、健康保健事業に対する理解増進と推進に努めた。								
	課題及び阻害要因 継続して実施していく予定だが、健康保険組合からの説明だけでなく、健康増進推進委員側からの提案等ができるようにする必要がある。								
評価	5. 100%								
事業目標									
健康増進推進委員に対し、健康に必要な情報の提供や教育を通じて、健康の維持・増進を図る。									
アウトプット指標 開催回数（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：1回/1回 【達成度】 100.0%）開催実績回数。[-]									
アウトカム指標 開催回数（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：1回/1回 【達成度】 100.0%）-[-]									
外部委託先	計画	外部委託しない							
	実績	委託の有無	外部委託しない						
11 事業名	ホームページによる健康増進等の情報提供								
健康課題との関連	該当なし								
分類									
注1)事業分類	計画	5-キ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	新規

	実績	5-キ		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 14～74 対象者分類 加入者全員							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 14～74 対象者分類 加入者全員							
注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	-	予算額	-千円		
	実績	ス		実績	ホームページを利用し、健康に関する様々な情報提供を実施した。 ※決算額は、ホームページ運営費用 25000円x12月				
注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	-	決算額	300千円		
	実績	ス		実績	ホームページを利用し、健康に関する様々な情報提供を実施した。 ※決算額は、ホームページ運営費用 25000円x12月				
実施計画 (令和5年度)	-								
振り返り	実施状況・時期		年間を通じて、様々な健康情報の紹介、保健事業に関する通知を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診・特定保健指導について ・健保連発行「すこやか健保」掲載について ・健保連神奈川連合会「健保連かながわ100キロウォーク」のお知らせ ・「健康づくりのための睡眠ガイド2023」について ・HPVワクチンのキャッチアップ接種について ・マイナ保険証利用促進 ・柔道整復師等の施術にかかる療養費の取扱いについて ・「世界メンタルヘルスデー2023」のお知らせ ・「ピンクリボンライトアップ2023 In かながわ」のお知らせ ・令和5年度 禁煙週間 ・令和5年度 歯と口の健康週間 						
	成功・推進要因		厚生労働省からの通知、健保連からの通知等を通じて、様々な情報提供を実施したこと。						
	課題及び阻害要因		ホームページの閲覧件数が伸び悩んでいること。						
評価	5. 100%								
事業目標									
-									
アウトプット指標 -									
アウトカム指標 -									

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託した
		外部委託先事業者	株式会社オゾンヘルスケアラボラトリー（健康づくり事業）

12事業名	「健保だより」の掲載（社内報）								
健康課題との関連	被保険者男性において生活習慣病医療費の割合が大きく「肥満」「血圧」「肝機能」の指標のリスク該当率が高い。運動・食事の生活習慣改善等、総合的な対策が必要となる。								
分類									
注1)事業分類	計画	5-キ	実施主体	計画	3. 健保組合と事業主との共同事業	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	既存
	実績	5-キ		実績	3. 健保組合と事業主との共同事業				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 加入者全員,基準該当者,定年退職予定者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 加入者全員,基準該当者,定年退職予定者							
注2)プロセス分類	計画	ケ,ス	実施方法	計画	季節に応じたイベントや生活習慣改善に関する健康情報・ニュース等を定期的に発信する。	予算額	0千円		
	実績	ケ,ス		実績	季節に応じたイベントや生活習慣改善に関する健康情報・ニュース等を定期的に発信した。				
注3)ストラクチャー分類	計画	サ	実施体制	計画	・社内報に「健保だより」の記事を掲載する。 ・健保にて記事原稿を寄稿。（季節性疾患は保険師から案内） ・社内メール・イントラ等を活用して、再周知を図る。	決算額	0千円		
	実績	サ		実績	・社内報に「健保だより」の記事を掲載した。 ・健保にて記事原稿を寄稿。				
実施計画 (令和5年度)	社内報への「健保だより」の記事掲載を通じて、季節に応じたイベントや生活習慣改善に関する健康情報を提供することで、加入者の健康リテラシー向上及び健康増進取組を促進する。								

振り返り	実施状況・時期	「健保だより」発行は、事業主の社内報を広報手段として、健保組合財政状況（予算・決算）、被扶養者の卒業時期の喪失手続きの周知、組合会議員改選のお知らせ、夏季契約施設利用促進等を実施した。 ・母体人事部とのコラボレーションにより、人事部より新型コロナウイルス感染症関連、健康診断の案内、メンタルヘルステスト実施案内等が掲載された。 ・年間7件掲載
	成功・推進要因	・随時、実施内容を見直してコストと効果に見合った事業を展開している。 ・毎年健保組合から掲載するものは定期的なものが多いが、コラボヘルスにより定期健康診断について人事部と打合せを行った上での掲載は、健康診断実施に有効なものとなった。
	課題及び阻害要因	・社内報を各家庭まで持ち帰ってもらう工夫が必要。 ・社内報原稿編集の締切日の問題から、急な掲載は難しいこと、掲載スペースに限りがあること。

評価 4. 80%以上

事業目標

「健保だより」を通じて健保組合員に対し、必要な情報の提供や啓蒙によって、健康リテラシー向上及び健康増進取組を促進する。

アウトプット指標 情報発信の回数（【平成29年度末の実績値】6回【計画値/実績値】令和5年度：6回/7回 【達成度】116.7%）-[-]

アウトカム指標 社内報には、多くの記事が載っており「健保だより」だけについて、掲載の効果測定ができないため。
(アウトカムは設定されていません)

外部委託先	計画	外部委託しない
	実績	委託の有無 外部委託しない

13 事業名 医療費通知の送付

健康課題との関連 正しい受療行動に関する情報提供を通じたリテラシーの底上げを図りつつ、医療費の抑制に余地のある後発薬活用やセルフメディケーションを促していくことが必要となる。

分類

注1)事業分類	計画	5-キ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	既存
	実績	5-キ		実績	1. 健保組合				

共同事業 共同事業ではない

事業の内容

対象者	計画	対象事業所 全て	性別 男女	年齢 18～74	対象者分類 被保険者
	実績	対象事業所 全て	性別 男女	年齢 18～74	対象者分類 被保険者

注2)プロセス分類	計画	エ,ス	実施方法	計画	・年4回、紙通知を送付。(平成30年度まで) ・健康ポータル(WE B)経由で医療費通知を実施。(平成31年以降)	予算額	100千円
	実績	エ,ス		実績	・年1回、紙通知を送付。 ※令和4年度より、年4回の通知を年1回の通知に変更		
注3)ストラクチャー分類	計画	サ,ス	実施体制	計画	・平成31年以降、健康ポータルのマイページ上で参照可能とする。	決算額	218千円
	実績	サ,ス		実績	・年1回、紙通知を送付。 ※令和4年度より、年4回の通知を年1回の通知に変更		

実施計画(令和5年度)
 ・平成30年度までは、年4回紙通知を行い、健康ポータルへの移行の準備期間とする。
 ・平成31年以降被保険者宛に、原則WE Bによる医療費通知を定期的に提供する。

振り返り
実施状況・時期 ・医療費通知 加入者の受診者毎に医療費通知を年1回作成し送付(2,799件)
成功・推進要因 ・医療費の削減やセルフメディケーションへの対応が図れた。
課題及び阻害要因 ・医療費通知を事業主経由で発送していたが、令和4年度より、直接、個人別に発送することになり、事務工数が増加している。

評価 5. 100%

事業目標

医療費通知により、加入者の適切な受診を目指し、自身の医療費の利用状況を認識することで、医療費の提言を図る。

アウトプット指標 加入者への案内実施率(【平成29年度末の実績値】100%【計画値/実績値】令和5年度:100%/100% 【達成度】100%) -[-]

アウトカム指標

閲覧人数(【平成29年度末の実績値】1,506人【計画値/実績値】令和5年度:1,500人/0人 【達成度】0%)平成35年までに被保険者全員が健康ポータルで医療費通知を閲覧することを目標とする。[
 ・健康ポータルでの閲覧は、現時点で実施していない。
 ・運用コストの問題がある。]

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託した
		外部委託先事業者	登録されていないサービスを利用した ※データヘルス・ポータルサイトに登録されていないサービスを利用した場合には、評価の入力はできません。評価を入力する場合には、事業者にてデータヘルス・ポータルサイトに登録いただくようお願いください。

14 事業名 ジェネリック薬品切り替え促進

健康課題との関連 正しい受療行動に関する情報提供を通じたりテラシーの底上げを図りつつ、医療費の抑制に余地のある後発薬活用やセルフメディケーションを促していくことが必要となる。

注1)事業分類	計画	5-キ,5-ク	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	既存
---------	----	---------	------	----	---------	------	--------	---------	----

	実績	5-キ, 5-ク		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 加入者全員							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 加入者全員							
注2)プロセス分類	計画	ク,ケ	実施方法	計画	・健康ポータル（WEB）経由でジェネリック差額通知を実施。 ・健康ポータル等でジェネリック利用に関する情報提供を行い、利用促進を図る。			予算額	0千円
	実績	ク,ケ		実績	・レセプトデータから、ジェネリック薬品を使用することにより、医療費削減が可能となる対象者を洗い出し、書面にて通知した。 ・健康ポータル等でジェネリック利用に関する情報提供を行い、利用促進を図った。				
注3)ストラクチャー分類	計画	サ	実施体制	計画	・健康ポータル上で参照可能とする。			決算額	227千円
	実績	ス		実績	・レセプトデータから、ジェネリック薬品を使用することにより、医療費削減が可能となる対象者を洗い出し、書面にて通知した。 ・ホームページ、社内イントラネット、社内報でジェネリック利用に関する情報提供を行い、利用促進を図った。				
実施計画 (令和5年度)	定期的に差額通知を掲載するとともに、ジェネリック医薬品に関する情報提供やその他の媒体による情報提供を通じ、ジェネリックの利用を促す。								
振り返り	実施状況・時期								
	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年2月から令和5年4月の間に、複数回の薬剤処方を受けた被保険者、被扶養者の中で、ジェネリック医薬品に変更すると一定以上の自己負担額の軽減が見込める方を対象。 令和5年9月に「ジェネリック医薬品のお知らせ」を書面にて通知した。 								
	成功・推進要因 <ul style="list-style-type: none"> 毎年実施することで、対象となった方の意識付けが浸透している。 医薬品のほか、諸物価の高騰により、被保険者、被扶養者の費用削減の意識がはたらいっていると思われる。 								
	課題及び阻害要因 <ul style="list-style-type: none"> 継続実施することで、更に、ジェネリック医薬品に対する認識を浸透させる。 								
評価	5. 100%								
事業目標									
ジェネリック医薬品の利用率を向上させる。									
アウトプット指標 通知書の送付率（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：100%/100% 【達成度】 100%） -[-]									
アウトカム指標									
数量シェア（【平成29年度末の実績値】 67%【計画値/実績値】 令和5年度：80%/81.3% 【達成度】 100%）平成35年までに厚生労働省目標値の数量シェア80%以上を目指す。 -[-]									
	計画	外部委託しない							

外部委託先	委託の有無	外部委託した
	実績 外部委託先事業者	登録されていないサービスを利用した ※データヘルス・ポータルサイトに登録されていないサービスを利用した場合には、評価の入力はできません。評価を入力する場合には、事業者にてデータヘルス・ポータルサイトに登録いただくようお願いください。

15 事業名 **育児教育用冊子の配布**

健康課題との関連 被扶養者(子供)での加算受診割合が高い水準となっている。正しい知識を提供することで不要・不急な医療の抑制に協力してもらう必要がある。

分類									
注1)事業分類	計画	2	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	既存
	実績	2		実績	1. 健保組合				

共同事業 共同事業ではない

事業の内容

対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 基準該当者			
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 基準該当者			

注2)プロセス分類	計画	ク	実施方法	計画	・1年間定期購読できるように、育児情報誌を出産した加入者宅へ送付する。 ・読者向け満足度調査アンケートを実施する。	予算額	170千円
	実績	ク		実績	・1年間定期購読できるように、育児情報誌を出産した加入者宅へ送付する。 ・読者向け満足度調査アンケートを実施する。		

注3)ストラクチャー分類	計画	サ	実施体制	計画	・被保険者・被扶養者が出産した際に、委託業者へ定期購読のための情報提供を行う。 ・健保組合にて外部業者と契約、費用を負担する。	決算額	34千円
	実績	サ		実績	・被保険者・被扶養者が出産した際に、委託業者へ定期購読のための情報提供を行う。 ・健保組合にて外部業者と契約、費用を負担する。		

実施計画 (令和5年度) 出産を迎えた被保険者・被扶養者宛に育児誌「赤ちゃんとママ」「同季刊紙」を配布する。

振り返り	実施状況・時期	・育児教育用小冊子の配布は、新生児出産の被保険者や被扶養者に、育児教育用小冊子「赤ちゃんと!」を毎月送付（新生児14名）
	成功・推進要因	・随時、実施内容を見直してコストと効果に見合った事業を展開している。 ・健康保険組合内部の担当者を明確にすることで、出産情報を業者に送付すれば登録され、一定期間育児誌が送付される。
	課題及び阻害要因	・当初、第一子のみ育児誌を送っていたが、第二子以降も送付するようになり、費用増となっている。 ・対象者そのものが、減少してきている。

評価 5. 100%

事業目標

乳児の健康維持と健康リテラシーの高い親の人数の増加。

アウトプット指標 案内実施率（【平成29年度末の実績値】100%【計画値/実績値】令和5年度：100%/100% 【達成度】100%）-[-]

アウトカム指標 満足度調査（【平成29年度末の実績値】50%【計画値/実績値】令和5年度：50%/50% 【達成度】50%）満足度は、読者ががきの回収によってはかる。[-]

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託した
		外部委託先事業者	株式会社赤ちゃんとママ社（健康づくり事業）

16	事業名	禁煙サポートプログラム							
健康課題との関連	男性における喫煙率が全年齢層で高い水準にある。 将来の生活習慣病の重症化予防に向けて、喫煙対策の検討・実施の強化が必要となる。								
分類									
注1)事業分類	計画	5-オ,5-キ,5-ク	実施主体	計画	3. 健保組合と事業主との共同事業	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	新規
	実績	5-オ,5-キ,5-ク		実績	3. 健保組合と事業主との共同事業				
共同事業	共同事業ではない								
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 20～74 対象者分類 加入者全員							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 20～74 対象者分類 加入者全員							
注2)プロセス分類	計画	ク,ケ,シ	実施方法	計画	<ul style="list-style-type: none"> 禁煙関連ポスターの掲示。 社内イントラで健康情報の提供を行う。 各事業所／職場に対して、禁煙キャンペーンの取組を働きかける。 禁煙外来の費用補助を行う。 	予算額	60千円		
	実績	ク,ケ,シ		実績	<ul style="list-style-type: none"> 禁煙関連情報を社内イントラネットで通知し、健康情報の提供を行う。 各事業所／職場に対して、禁煙キャンペーンの取組を働きかける。 禁煙外来の費用補助を行う。 				
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,イ,ス	実施体制	計画	<ul style="list-style-type: none"> 健康増進委員会で禁煙対策の必要性を共有する。 禁煙外来費用について、健保負担。 	決算額	9千円		
	実績	ア,イ,ス		実績	<ul style="list-style-type: none"> 健康増進委員会で禁煙対策の必要性を共有する。 禁煙外来費用について、健保負担。 				

実施計画 (令和5年度)	<ul style="list-style-type: none"> 禁煙サポートの取組として、禁煙キャンペーンの実施や禁煙外来の費用補助を行う。 禁煙外来の費用補助を行い、禁煙に成功する人の数を増やす。
振り返り	<p>実施状況・時期 ・母体人事部と合同で、禁煙プログラムを実施した。</p> <p>成功・推進要因 ・母体看護師から禁煙プログラム参加の勧誘を行ったが、0名で終了した。</p> <p>課題及び阻害要因 ・まだまだ、禁煙者全体に対して、禁煙プログラムを実施する人数が少ない状況であり、継続して実施する必要がある。</p>
評価	3. 60%以上

事業目標

- 平成31年度まで、健康増進委員会を開催し事業所との連携の強化を図る。
- 平成32年度以降、禁煙に取り組む人の増加。

アウトプット指標	健康増進委員会の開催回数（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：1回/1回 【達成度】 100%） -[-] 禁煙キャンペーンの実実施回数（【平成29年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和5年度：1回/2回 【達成度】 100%） -[-]
アウトカム指標	喫煙率（40歳以上）（【平成29年度末の実績値】 39.6% 【計画値/実績値】 令和5年度：26%/43.9% 【達成度】 43.9%） -[禁煙率は、被保険者男性の数値 東京海上DR 2024年2月2日資料より]

外部委託先	計画	外部委託しない				
	実績	<table border="1"> <tr> <td>委託の有無</td> <td>外部委託した</td> </tr> <tr> <td>外部委託先事業者</td> <td>株式会社CureApp（キュア・アップ）（健康づくり事業）</td> </tr> </table>	委託の有無	外部委託した	外部委託先事業者	株式会社CureApp（キュア・アップ）（健康づくり事業）
	委託の有無	外部委託した				
外部委託先事業者	株式会社CureApp（キュア・アップ）（健康づくり事業）					

17 事業名 適正服薬通知

健康課題との関連 正しい受療行動に関する情報提供を通じたりテラシーの底上げを図りつつ、医療費の抑制に余地のある後発薬活用やセルフメディケーションを促していくことが必要となる。

分類

注1)事業分類	計画	8	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	新規
	実績	8		実績	1. 健保組合				

共同事業 共同事業ではない

事業の内容

対象者	計画	対象事業所 全て	性別 男女	年齢 18～74	対象者分類 基準該当者
	実績	対象事業所 全て	性別 男女	年齢 18～74	対象者分類 基準該当者

注2)プロセス分類	計画	ク	実施方法	計画	-	予算額	-千円
	実績	ク		実績	計画通りの方法で実施できた。		
注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	-	決算額	491千円
	実績	ス		実績	計画通りの方法で実施できた。		

実施計画 (令和5年度) -

振り返り

実施状況・時期 ・令和5年7月に、重複投薬や多剤投与に該当する被保険者、被扶養者に対して「お薬の適性服薬に関するお知らせ」を送付した。

成功・推進要因 令和5年度からの新規事業として開始。

課題及び阻害要因 継続して実施することで、被保険者、被扶養者の健康上の悪影響を防止するとともに、効率的、効果的な医療費の実施を目指す。

評価 5. 100%

事業目標

-

アウトプット指標 -

アウトカム指標 -

外部委託先	計画	外部委託しない	
	実績	委託の有無	外部委託した
		外部委託先事業者	登録されていないサービスを利用した ※データヘルス・ポータルサイトに登録されていないサービスを利用した場合には、評価の入力はできません。評価を入力する場合には、事業者にてデータヘルス・ポータルサイトに登録いただくようお願いください。

18 事業名 **プール、アイススケート利用**

健康課題との関連 該当なし

分類

注1)事業分類	計画	8	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	体育奨励	新規・既存区分	既存
	実績	8		実績	1. 健保組合				

共同事業 共同事業ではない

事業の内容				
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男性 年齢 18～74 対象者分類 加入者全員		
	実績	対象事業所 全て 性別 男性 年齢 18～74 対象者分類 加入者全員		
注2)プロセス分類	計画	実施方法	計画	予算額 -千円
	実績		実績	
注3)ストラクチャー分類	計画	実施体制	計画	決算額 191千円
	実績		実績	
実施計画 (令和5年度)	-			
振り返り	実施状況・時期	・社内報、社内イントラネットに、「夏季プール施設のご案内」を掲載し、利用促進を図った。		
	成功・推進要因	従来から継続して実施してきた保健事業であり、利用が定着している。		
	課題及び阻害要因	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が、固定化してきていること。 ・冬季の体育奨励事業として、アイススケートの利用事業を計画したが、実施に至らなかった。 		
評価	5. 100%			
事業目標				
-				
アウトプット指標 -				
アウトカム指標 -				
外部委託先	計画	外部委託しない		
	実績	委託の有無	外部委託した	
外部委託先事業者		登録されていないサービスを利用した ※データヘルス・ポータルサイトに登録されていないサービスを利用した場合には、評価の入力はできません。評価を入力する場合には、事業者にてデータヘルス・ポータルサイトに登録いただくようお願いください。		

- 注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業
- 注2) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用(情報作成又は情報提供でのICT活用など)
 オ. 専門職による対面での健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施 ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など)
 ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 シ. 事業主と健康課題を共有 ス. その他
- 注3) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 専門職との連携体制の構築(産業医・産業保健師を除く) エ. 他の保険者との共同事業 オ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 カ. 自治体との連携体制の構築
 キ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 ク. 保険者協議会との連携体制の構築 ケ. その他の団体との連携体制の構築 コ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) サ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理)
 シ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) ス. その他

STEP 4-2 期末評価

事業全体の目的と目標の確認

事業全体の目的	データ分析により当健保組合の現状の把握を行い、課題を洗い出すことによって具体的な対策を立案し、組合加入者の医療費の適正化や健康増進を図る。
事業全体の目標	個別の対策によって得られる実績をアウトプット・アウトカムの適切な目標のもとに実績の数値管理を行い、見える化を図り、正しい評価が行えるようにする。

健康課題ごとの振り返り

1 被保険者男性において生活習慣病医療費の割合が大きく「肥満」「血圧」「肝機能」の指標のリスク該当率が高い。運動・食事の生活習慣改善等、総合的な対策が必要となる。

対策の達成度 (アウトプットの評価)	B	評価理由 (成功要因や阻害要因など)	・本社地区の被保険者は、健診を受けた病院から健診結果が届くのですが、中部地区、関西地区では、小さな病院、診療所で健康診断を受診しているケースがあり、これらの小さな病院、診療所からは、特に特定保健指導に係るデータが一部不足している場合があり、現実には、健康診断は受診していても、そのデータが全て取り込めていない状況となっている。
健康課題の解決度 (アウトカムの評価)	B		

番号	事業名	アウトプット指標達成度				アウトカム指標達成度			
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	健診データの確実な収集	健診データの取込み率	79.9%	86.6%	80%	設定なし	-	-	-
2	加入者への情報の提供と啓蒙	年度計画の達成率	90%	80%	90%	設定なし	-	-	-
3	特定保健指導事業	保健指導実施率	96.9%	26%	17.3%	保健指導該当率	100%	30%	87.0%
4	健康増進推進委員会	開催回数	100%	100%	100.0%	セミナー開催後の各拠点における水平展開回数	100%	100%	-
						開催回数	-	-	100.0%
5	「健保だより」の掲載（社内報）	情報発信の回数	100%	100%	116.7%	設定なし	-	-	-
6	「健康保険のしおり」配布	保健事業案内冊子の見直し・改定	100%	100%	実施せず	改正差分又は最新版しおりの配布率	100%	100%	実施せず
7	健康ポータルを活用した情報提供、健康取組増進とインセンティブ制度の導入	被保険者のログイン率	0%	実施せず	実施せず	ポイント申請人数	7.5%	実施せず	実施せず
		管理画面での集計回数	75%	実施せず	実施せず	各事業への参加者数	4.3%	実施せず	実施せず

2 生活習慣病による医療費の抑制には、状態悪化の早期発見が欠かせない。法定健診に加え、その他精密検査の利用を促すことで早期発見の強化に努めることが必要となる。

対策の達成度 (アウトプットの評価)	B	評価理由 (成功要因や阻害要因など)	・被保険者の特定健康審査は、100%で推移しているが、被扶養者の受診率が伸び悩んでいる。 ・被扶養者の特定健康審査の受診率向上に向けた施策が必要となっている。
健康課題の解決度 (アウトカムの評価)	B		

番号	事業名	アウトプット指標達成度				アウトカム指標達成度			
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	特定健康診査事業（被保険者）	健診データ未提出者への対策実施率	90%	100%	100.0%	特定健診受診率	100%	100%	101.0%
2	特定健康診査事業（被扶養者）	未受信者への案内実施回数	100%	100%	100.0%	特定健診受診率	50%	56.1%	49.4%

3	健診費用補助（被保険者向け）	未受信者への受診勧奨実施率	100%	100%	100.0%	健診受診率	100%	100%	101.0%
4	健診費用補助（配偶者向け：30歳未満）	補助金制度の案内実施回数	100%	100%	100.0%	受診者数	0%	100%	0.0%
5	健診費用補助（被扶養者向け：30～39歳）	補助制度の案内実施回数	100%	100%	100.0%	受診者数	1%	100%	1.7%

3 生活習慣病発病レベルかつ未受療のケースが(35.6%)を占めている。 高血圧症や糖尿病を中心として、重症化予防に向けて適切な受療が必要となる。

対策の達成度 (アウトプットの評価)	B	評価理由 (成功要因や阻害要因など)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業主の健康管理室の産業保健師から、対象者に対して受診勧奨を実施しており、受診率は高い。 ・一部、未受診の対象者も発生しているため、健康リテラシー向上を図る必要がある。
健康課題の解決度 (アウトカムの評価)	B		

番号	事業名	アウトプット指標達成度				アウトカム指標達成度			
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	重症化予防事業	対象者への受療勧奨の実施率	100%	100%	100.0%	対象者の受診率	56.7%	100%	200.0%

4 一部事業所において、「労災関連基礎疾患」「突然死」「メンタルヘルス疾患」「SAS」のリスク該当率が高くなっている。 生活習慣病の予防が当該リスクの軽減にもつながることから、事業所と連携した対策検討・実施の強化も必要となる。

対策の達成度 (アウトプットの評価)	B	評価理由 (成功要因や阻害要因など)	<ul style="list-style-type: none"> ・メンタルヘルス疾患が増加傾向にある。 ・睡眠時無呼吸症候群への対策は、事業主がドライバー職を対象に、積極的に実施している。
健康課題の解決度 (アウトカムの評価)	B		

番号	事業名	アウトプット指標達成度				アウトカム指標達成度			
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	事業主との健康施策相互支援	健康管理事業推進委員会の開催回数	100%	100%	200.0%	設定なし	-	-	-

5 男性における喫煙率が全年齢層で高い水準にある。 将来の生活習慣病の重症化予防に向けて、喫煙対策の検討・実施の強化が必要となる。

対策の達成度 (アウトプットの評価)	C	評価理由 (成功要因や阻害要因など)	<ul style="list-style-type: none"> ・禁煙サポートプログラムを事業主と共同で実施しているが、参加者の低迷が続いている。 ・喫煙者に対する健康教育、健康リテラシー向上を図らないと、禁煙行動に繋がっていかない。
健康課題の解決度 (アウトカムの評価)	B		

番号	事業名	アウトプット指標達成度				アウトカム指標達成度			
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	禁煙サポートプログラム	健康増進委員会の開催回数	100%	100%	100%	喫煙率（40歳以上）	0%	80%	43.9%
		禁煙キャンペーンの実施回数	0%	100%	100%				

6 ①一定数がんに罹患する加入者がいることから、がんに正しく備えるためのリテラシーの向上が必要となる。
 ②がんへの対応力強化は、早期発見が欠かせない。 各種がん検診実施の検討も求められる。 特に女性は婦人科系疾患の早期発見支援が必要となる。
 ③がんに早期に適切に対応できるよう、治療選択のサポートや治療の選択肢を増やす等のサポートも考えられる。
 ④被保険者においても、がん罹患が目立つ。 働きなががんの治療を確保するための環境整備も課題となる。

対策の達成度 (アウトプットの評価)	B	評価理由 (成功要因や阻害要因など)	<ul style="list-style-type: none"> 定期健康診断時において、がん検診も実施しているので、継続して実施する必要がある。 40歳未満の被保険者、被扶養者に対するがん検診実施に向けた検討が必要となっている。
健康課題の解決度 (アウトカムの評価)	B		

番号	事業名	アウトプット指標達成度				アウトカム指標達成度			
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	健診費用補助（被保険者向け）	未受信者への受診勧奨実施率	100%	100%	100.0%	健診受診率	100%	100%	101.0%
2	健診費用補助（配偶者向け：30歳未満）	補助金制度の案内実施回数	100%	100%	100.0%	受診者数	0%	100%	0.0%
3	健診費用補助（被扶養者向け：30～39歳）	補助制度の案内実施回数	100%	100%	100.0%	受診者数	1%	100%	1.7%
4	健康ポータルを活用した情報提供、健康取組増進とインセンティブ制度の導入	被保険者のログイン率	0%	実施せず	実施せず	ポイント申請人数	7.5%	実施せず	実施せず
		管理画面での集計回数	75%	実施せず	実施せず	各事業への参加者数	4.3%	実施せず	実施せず

7 一部年齢層において、メンタルヘルス不調の該当率が高くなっている。 がんと同じく就業への影響が大きく、事業主と連携した総合的な支援が求められる。

対策の達成度 (アウトプットの評価)	B	評価理由 (成功要因や阻害要因など)	<ul style="list-style-type: none"> 事業主とのコラボヘルスにおいて、メンタルヘルスに関する講習会等を開催している。 メンタルヘルス不調の方が増加傾向にある。 セルフケア、ラインケアの周知をする必要がある。
健康課題の解決度 (アウトカムの評価)	B		

番号	事業名	アウトプット指標達成度				アウトカム指標達成度			
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度

8 ①季節性疾患等は、被扶養者(子供)の罹患が多い。 家庭での予防対策等が徹底されるよう、リテラシーの向上を図る必要がある。
 ②被保険者のインフルエンザの罹患は、1週間程度の業務離脱を伴うことから、予防接種をはじめとした対策強化が必要となる。

対策の達成度 (アウトプットの評価)	B	評価理由 (成功要因や阻害要因など)	<ul style="list-style-type: none"> インフルエンザの罹患は、季節的なものもあるが、予防接種の補助を実施しており、継続して実施する必要がある。 被扶養者に対しては、特定健康診断を受診した方を対象に、補助金を支給している。
健康課題の解決度 (アウトカムの評価)	B		

番号	事業名	アウトプット指標達成度				アウトカム指標達成度			
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	インフルエンザの予防接種と費用補助	案内回数	1%	1%	100.0%	接種率	51%	46%	41.5%

9 正しい受療行動に関する情報提供を通じたリテラシーの底上げを図りつつ、医療費の抑制に余地のある後発薬活用やセルフメディケーションを促していくことが必要となる。

対策の達成度 (アウトプットの評価)	B	評価理由 (成功要因や阻害要因など)	<ul style="list-style-type: none"> ジェネリック薬品切り替え促進も実施しており、ジェネリック薬品の使用率は高い状況となっている。 適正服薬通知は、令和5年度より実施したが、情報提供をすることで、適正な受療行為の推進につながっていると同時に、医療費の削減にも寄与している。

健康課題の解決度 (アウトカムの評価)	B								
番号	事業名	アウトプット指標達成度				アウトカム指標達成度			
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	医療費通知の送付	加入者への案内実施率	100%	100%	100%	閲覧人数	0%	0%	0%
2	ジェネリック薬品切り替え促進	通知書の送付率	-	100%	100%	数量シェア	100%	100%	100%
		促進通知案内	100%	-	-				
3	適正服薬通知								

10	被扶養者(子供)での加算受診割合が高い水準となっている。正しい知識を提供することで不要・不急な医療の抑制に協力してもらう必要がある。								
対策の達成度 (アウトプットの評価)	A	評価理由 (成功要因や阻害要因など)	・新生児出産の際、育児教育用冊子を配付しており、継続して実施する。						
健康課題の解決度 (アウトカムの評価)	B								
番号	事業名	アウトプット指標達成度				アウトカム指標達成度			
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	育児教育用冊子の配布	案内実施率	100%	100%	100%	満足度調査	80%	100%	50%

11	加入者一人当りの歯科医療費単価は、健保連と同水準だが、引き続き歯科関連疾患の予防や重症化防止対策が求められる。								
対策の達成度 (アウトプットの評価)	C	評価理由 (成功要因や阻害要因など)	・歯科に関する施策は、全く実施できていない状況だったが、令和6年度からは順次、実施する計画である。						
健康課題の解決度 (アウトカムの評価)	B								
番号	事業名	アウトプット指標達成度				アウトカム指標達成度			
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	歯磨きキャンペーン、口腔ケアプログラムの推進	案内・情報発信の回数	0%	実施せず	実施せず	コンテンツ利用者(閲覧者)	0%	実施せず	実施せず

健康課題と紐付いていない事業一覧

該当なし(これまでの経緯で実施する事業)									
番号	事業名	アウトプット指標達成度				アウトカム指標達成度			
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度

該当なし									
番号	事業名	アウトプット指標達成度				アウトカム指標達成度			
		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	ホームページによる健康増進等の情報提供								
2	プール、アイススケート利用								

第2期のデータヘルス計画への取り組みに対する振り返り

No	設問	回答		評価理由（成功要因や阻害要因など）
		←全くできなかった	よくできた→	
1	STEP1-3基本分析において、自組合集団としての健康状態を客観的に可視化できたか？	○ — ○ — ● — ○ — ○		<ul style="list-style-type: none"> ・外注先でデータ分析を依頼したことで、表、グラフ等による可視化ができた。 ・外注する分析費用が高い。
2	STEP2健康課題の抽出において、適切に健康課題を抽出することができたか？	○ — ○ — ● — ○ — ○		<ul style="list-style-type: none"> ・外注先でデータ分析を依頼することで、分析報告書の中で、健康課題を抽出できた。 ・外注する分析費用が高い。
3	STEP2健康課題の抽出において、優先すべき健康課題や対策の方向性を的確に定めることができたか？	○ — ○ — ● — ○ — ○		<ul style="list-style-type: none"> ・分析データから、健康課題や対策の方向性を定めることができた。 ・外注する分析費用が高い。
4	STEP3 保健事業の実施計画において、事業全体の目的や目標を適切に掲げることができたか？	○ — ○ — ● — ○ — ○		<ul style="list-style-type: none"> ・事業全体の目的、目標を個別事業においても、設定することができた。
5	STEP3 保健事業の実施計画において、「保健事業の基盤」に関わる保健事業を適切に立案することができたか？	○ — ○ — ● — ○ — ○		<ul style="list-style-type: none"> ・保健事業の基盤については、事業主とのコラボヘルスをすることにより、立案できた。
6	STEP3 保健事業の実施計画において、「個別の事業」に関わる保健事業を適切に立案することができたか？	○ — ○ — ● — ○ — ○		<ul style="list-style-type: none"> ・個別の事業については、具体的に立案することができた。
7	STEP3 保健事業の実施計画において、保健事業の評価指標を適切に設定することができたか？	○ — ● — ○ — ○ — ○		<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な評価指標を設定することは、やや難しかった。
8	STEP4-1 事業報告において、年次の事業進捗やアウトプット、アウトカムを評価することができたか？	○ — ● — ○ — ○ — ○		<ul style="list-style-type: none"> ・アウトプット、アウトカム指標の設定そのものが、やや困難であった。
9	STEP4-1 事業報告を理事会や組合会での報告に活用し、次年度の事業計画に活用することができたか？	○ — ● — ○ — ○ — ○		<ul style="list-style-type: none"> ・理事会、組合会での報告は、十分であったとはいえ、議員に対する説明不足があった。
10	保健事業を実施するにあたって事業主とのコラボヘルスの体制をどの程度構築することができたか？	○ — ○ — ● — ○ — ○		<ul style="list-style-type: none"> ・様々な場面において、事業主とのコラボヘルスを展開しているが、更に強化していく必要がある。
11	加入者のヘルスリテラシー向上に向けた取り組みを行うことができたか？	○ — ○ — ● — ○ — ○		<ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理者講習、メンタルヘルス委員会などを利用して、ヘルスリテラシー向上を図っているが、継続して実施する必要がある。

事業全体の達成状況に関する総括（自由記述）

-